

「受刑者に対する釈放時アンケート」について（平成26年度分）

刑事施設の運営の実情に対する国民の理解を深めることを目的として、平成26年度に実施した「受刑者に対する釈放時アンケート」の集計結果を公表しますので、お知らせします。

1 内容

行刑改革会議の提言を受け、行刑行政の透明化、処遇環境の充実化等を推進するための一方策として、矯正局では、平成17年4月から、出所受刑者を対象として釈放時アンケートを実施しています。

釈放時アンケートは、受刑者の釈放時の感想等を集計し、刑事施設の適正な運営を図るための資料として活用するとともに、その結果を公表し、刑事施設の運営の実情に対する国民の理解を深めるための資料として活用するものです。

2 調査期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日

3 対象者

24,173名

※上記の期間中に、刑事施設を満期釈放又は仮釈放となった受刑者

4 有効回答数（回答率）

22,785名（94.3%）

（男子：20,722名、女子：2,063名）

※対象者のうち、アンケートの実施を拒否した者及び傷病等のためアンケートの実施が困難な者は除いた。

※1項目でも有効な回答があれば有効回答数に計上している。

5 結果

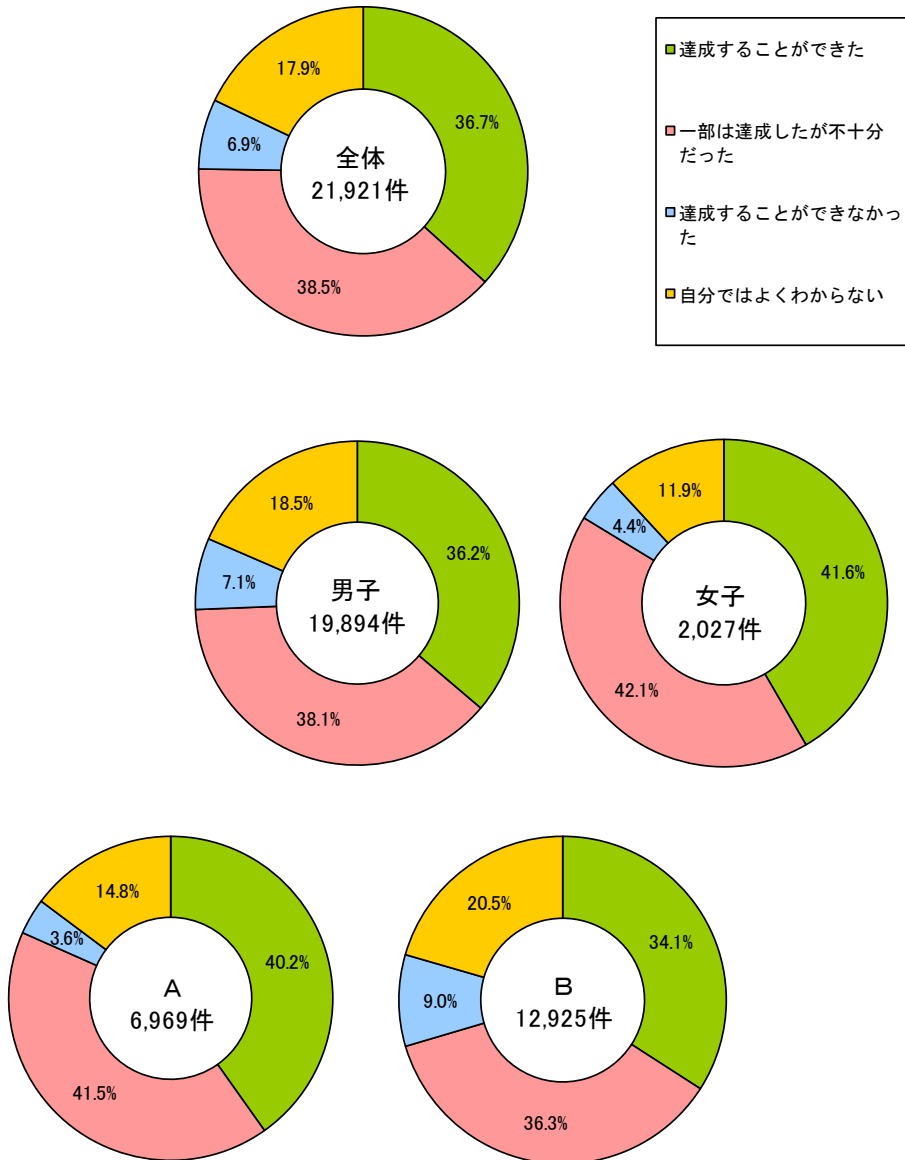
アンケート集計結果は次のとおり。

なお、アンケート結果の図表の構成比は四捨五入したために、構成比の和は100.0%にならない場合がある。

<注>本集計結果において、「男子」は男子刑務所、医療刑務所及び拘置所を出所した者、「女子」（「W」）は女子刑務所を出所したもののことである。また、「A」は「男子」のうち犯罪傾向の進んでいない者、「B」は「男子」のうち犯罪傾向の進んでいる者のことである。

1. 今回の受刑における矯正処遇の目標

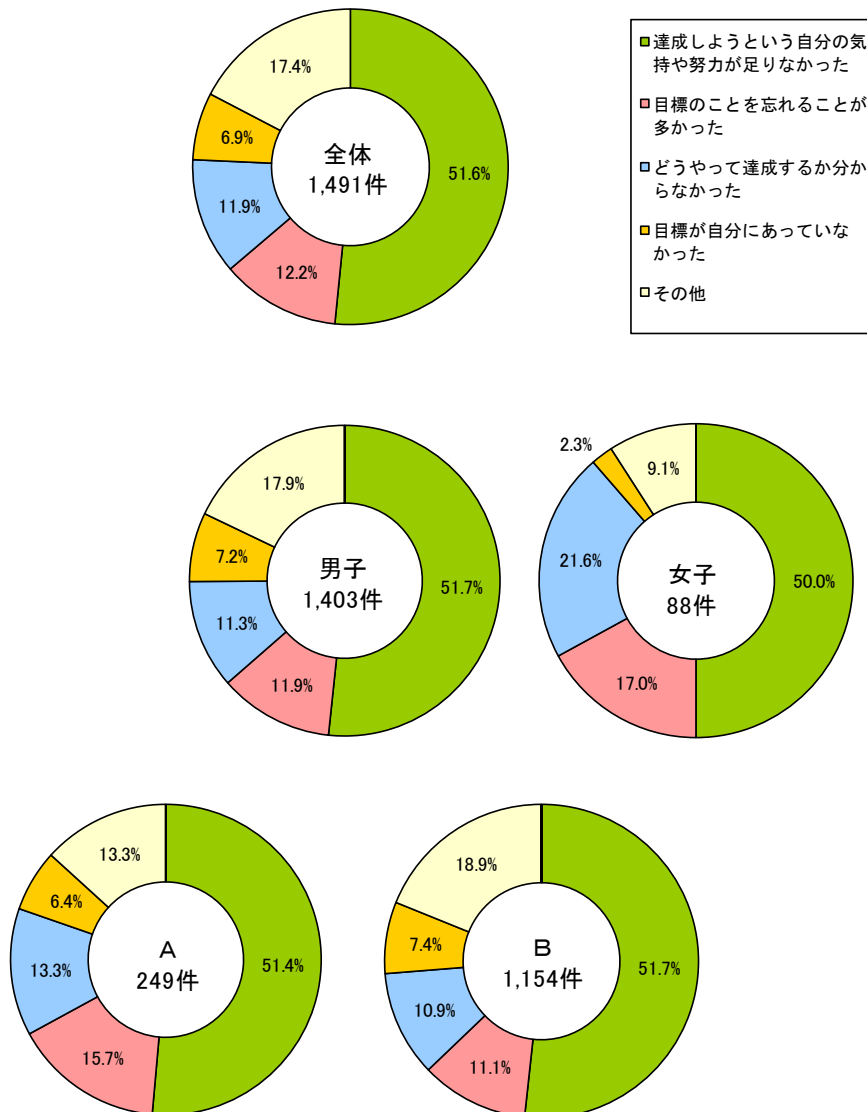
(1)受刑生活を通じて、自分に定められた目標を達成することができましたか。【1つ選択】



矯正処遇目標について、「達成することができた」又は「一部は達成したが不十分だった」とする回答は、男子74.3%、女子83.7%、処遇指標A81.7%、B70.4%、W83.7%であった。

(2)(1)で「③達成することができなかった。」と答えた人に聞きます。その理由。

【1つ選択】

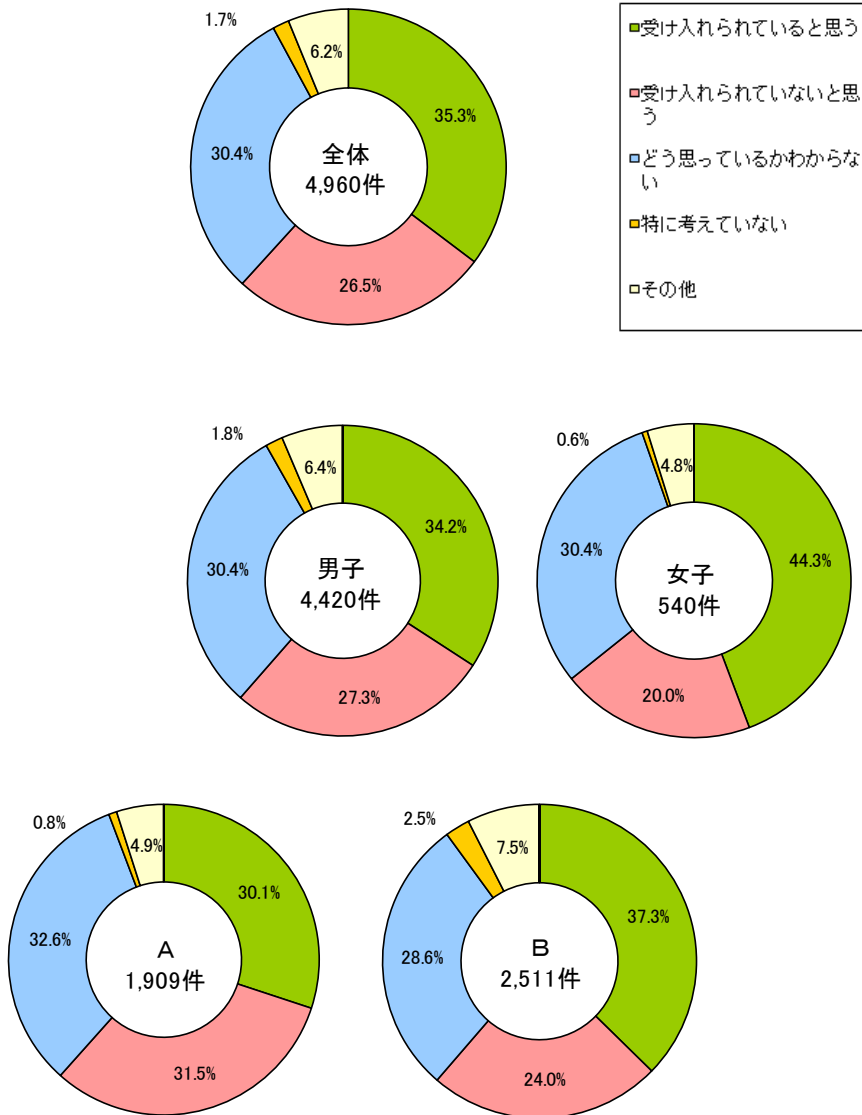


「達成することができなかった」と回答した理由について、性別、処遇指標とも「達成しようという自分の気持ちや努力が足りなかった」の回答が約半数を占めている。なお、女子は「どうやって達成するか分からなかった」が他に比べて多かった。

2. 今回受刑することになった犯罪に被害者がいる人

(1)被害者に謝罪や被害弁償（慰謝料含む）等をした人に聞きます。

被害者はどのように感じていると思いますか。【1つ選択】

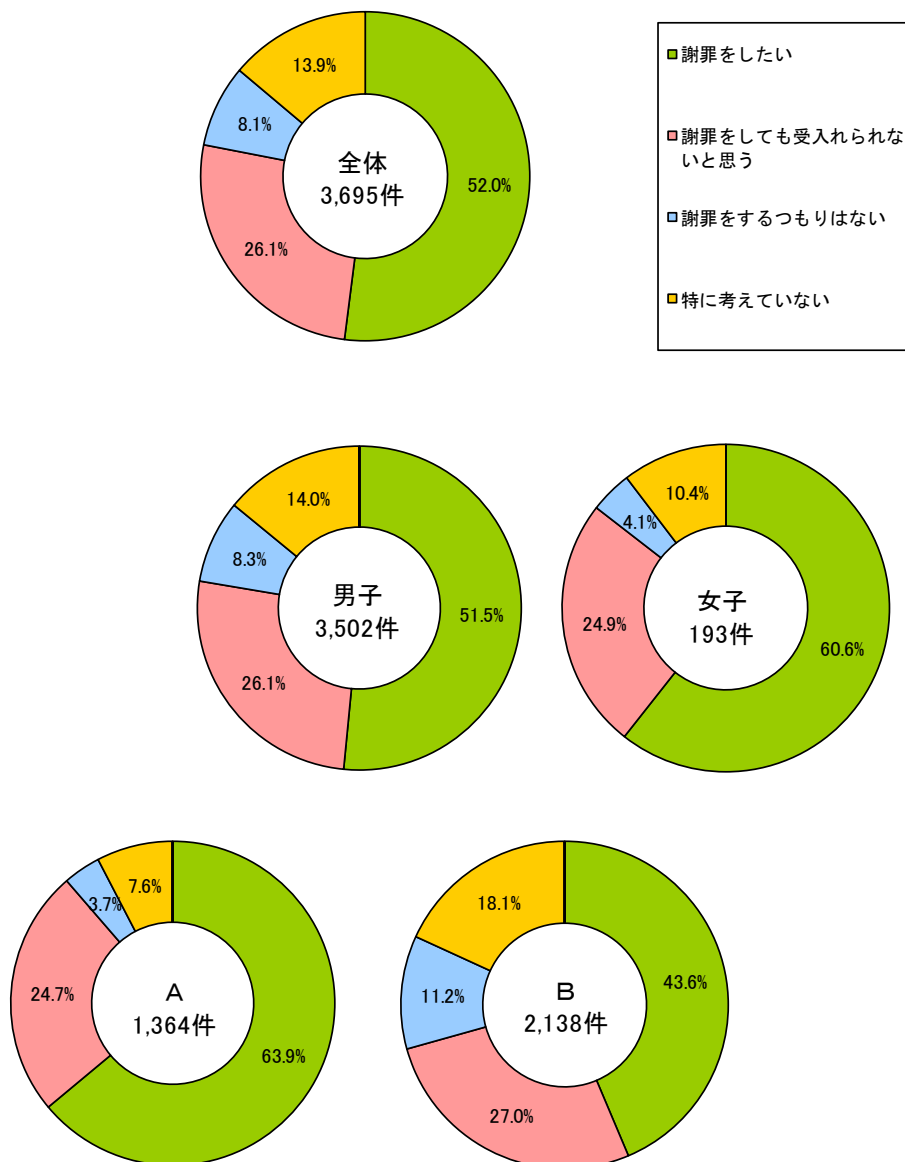


被害者に謝罪や被害弁償（慰謝料含む）等をした人に対し、被害者の感じ方を質問したところ、処遇指標Aを除き、性別、処遇指標とも「受け入れられていると思う」が「受け入れられていないと思う」を上回っている。処遇指標Aもほぼ同率といえる。
 ※2（1）と（2）両方に回答しているものは、いずれの回答にも計上していない。

(2)被害者に謝罪や被害弁償等（慰謝料の支払いを含む。）をしていない人に聞きます。

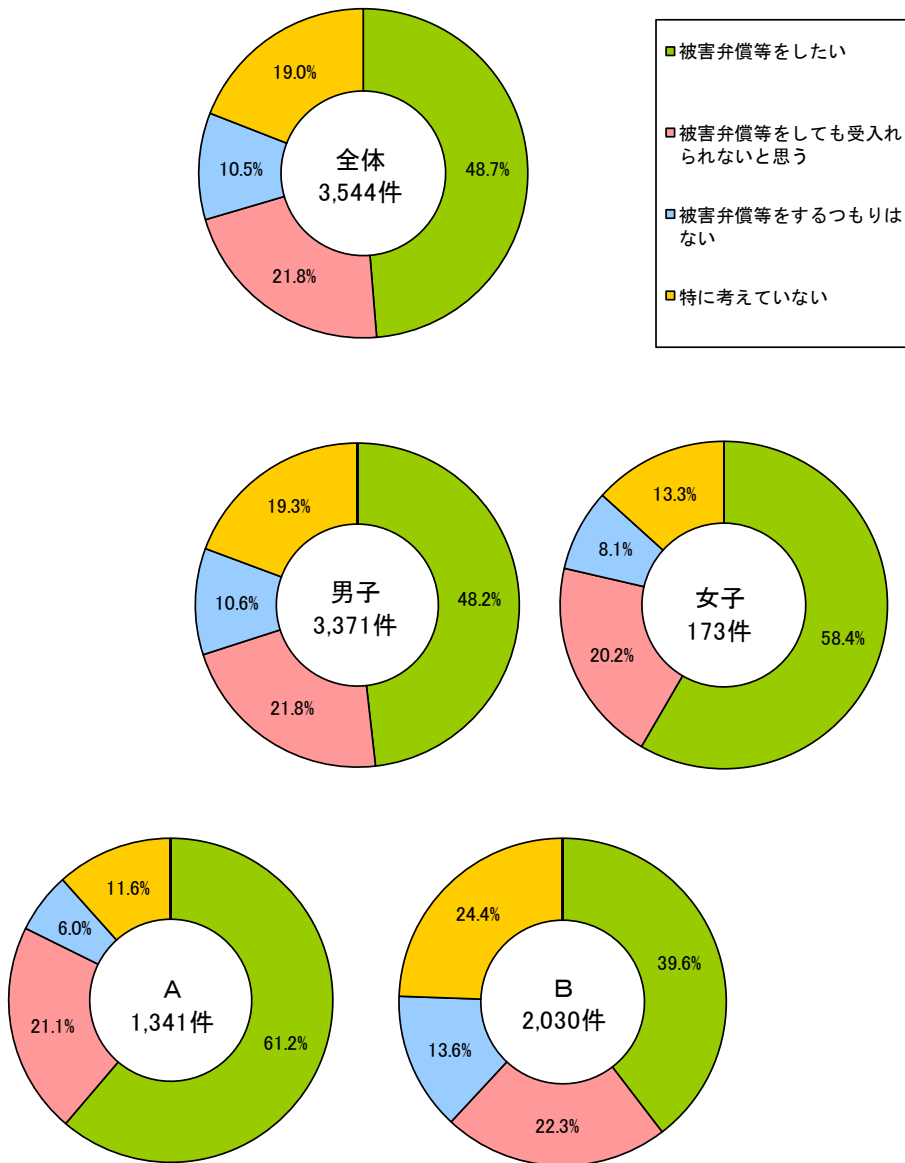
謝罪被害弁償等について、どのように考えていますか。【各1つ選択】

ア 謝罪について



被害者に謝罪や被害弁償（慰謝料含む）等をしていない人に対し、謝罪について質問したところ、「謝罪をしたい」という回答が高率ではあったが、男子の処遇指標Bでは他と比べて低くなっている。

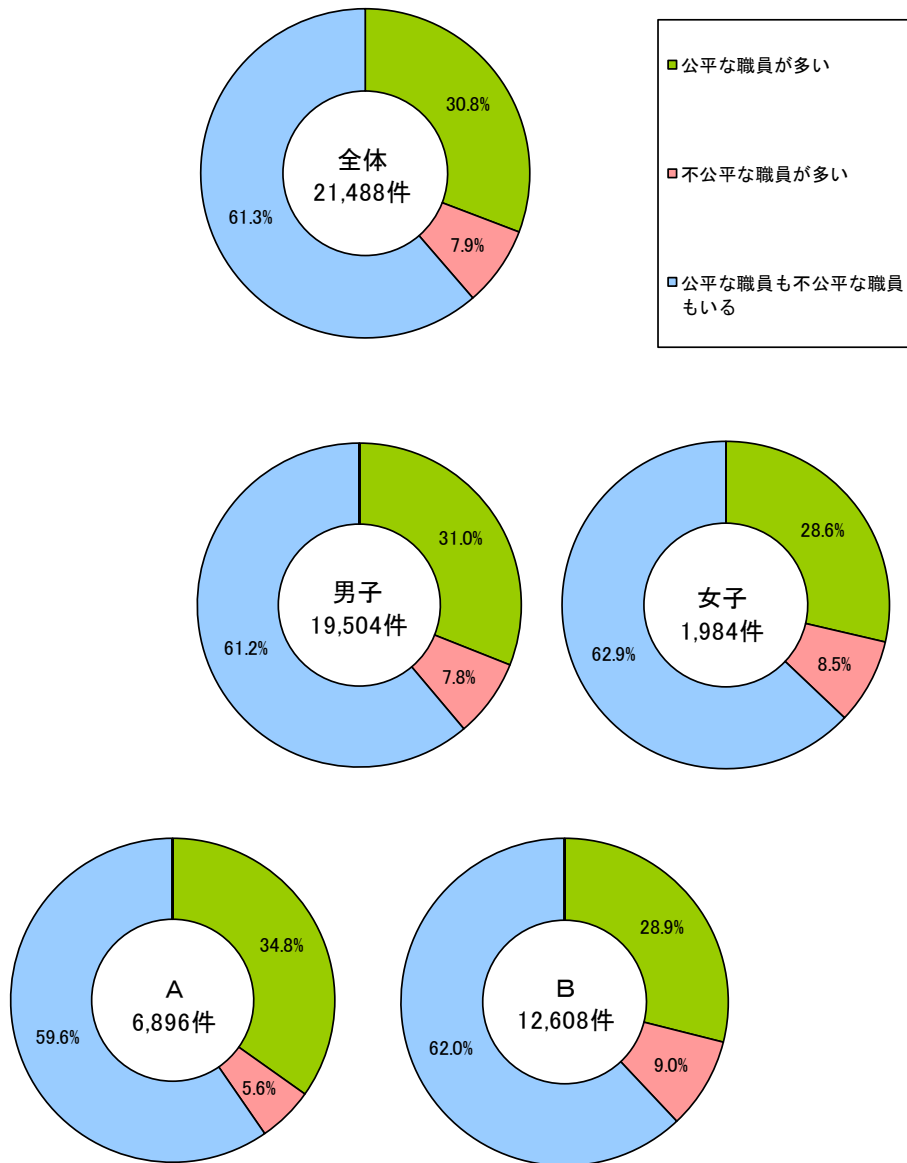
イ 被害弁償等



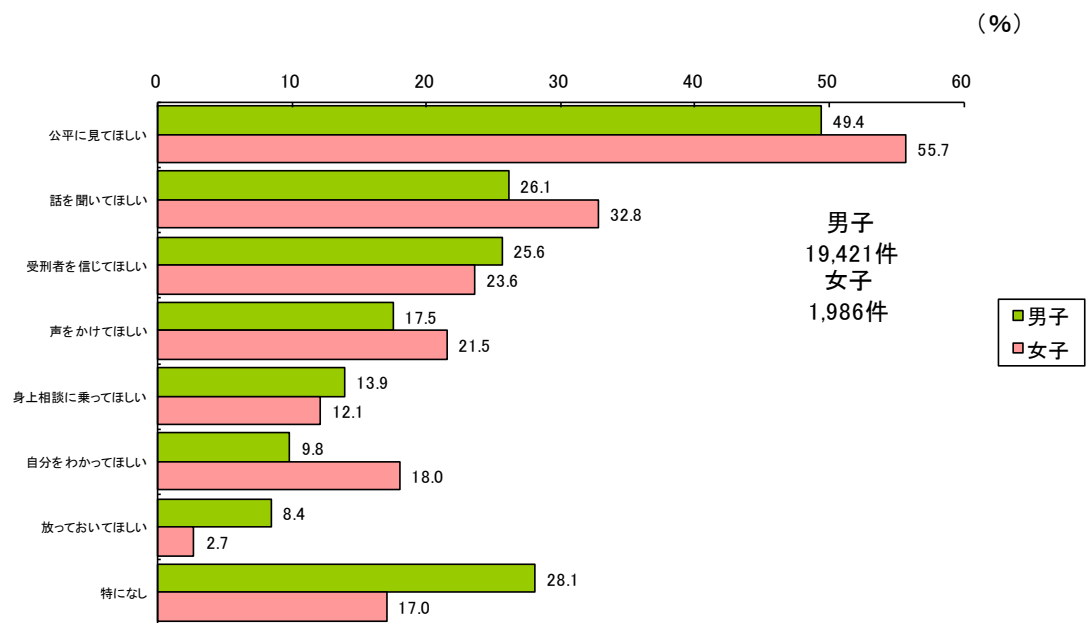
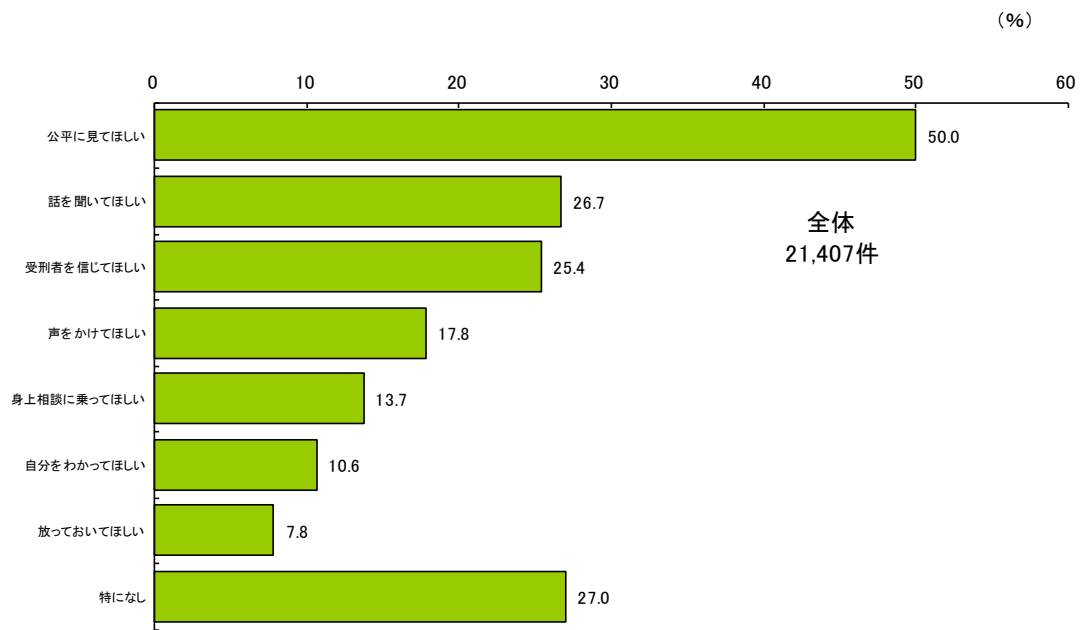
被害者に謝罪や被害弁償（慰謝料含む）等をしていない人に対し、被害弁償等について質問したところ、謝罪についての質問同様、男子の処遇指標Bでは他と比べて低くなっている。

3. 職員

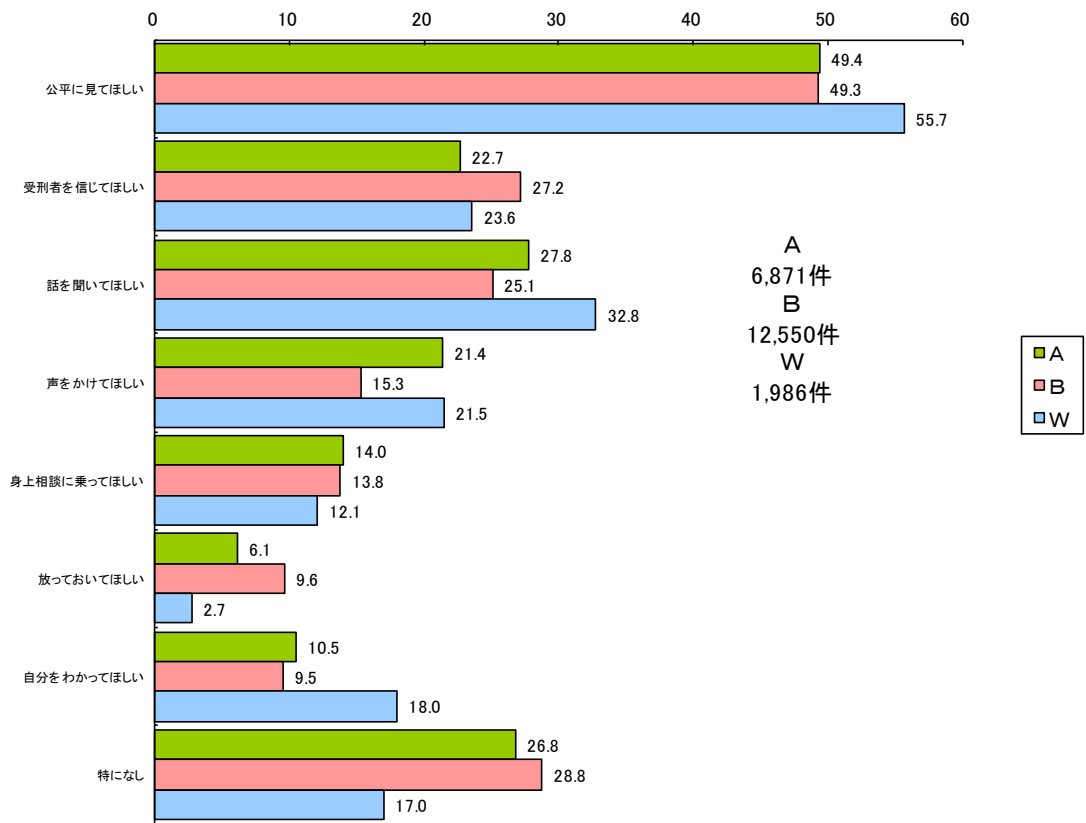
(1) 職員全体の公平さ【1つ選択】



(2) 職員に望むこと【2つ選択】

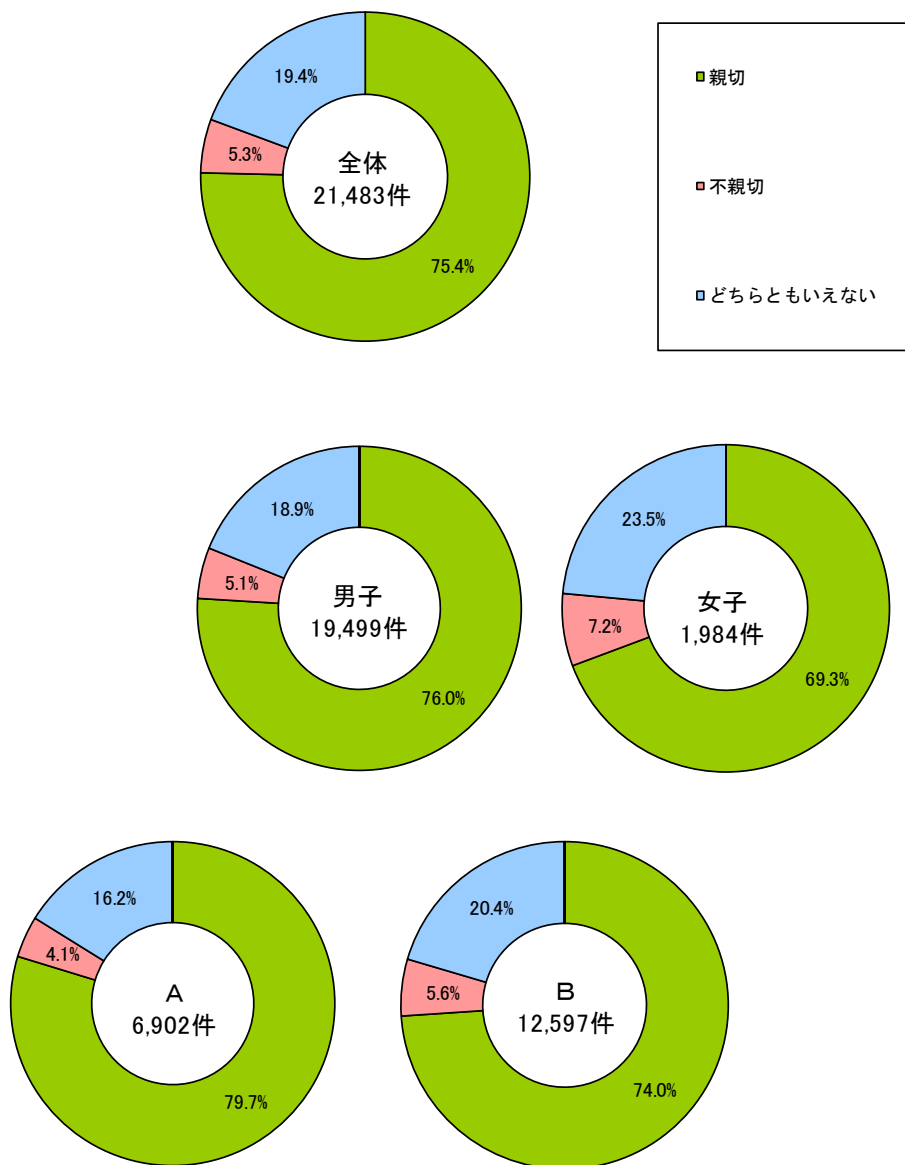


(%)

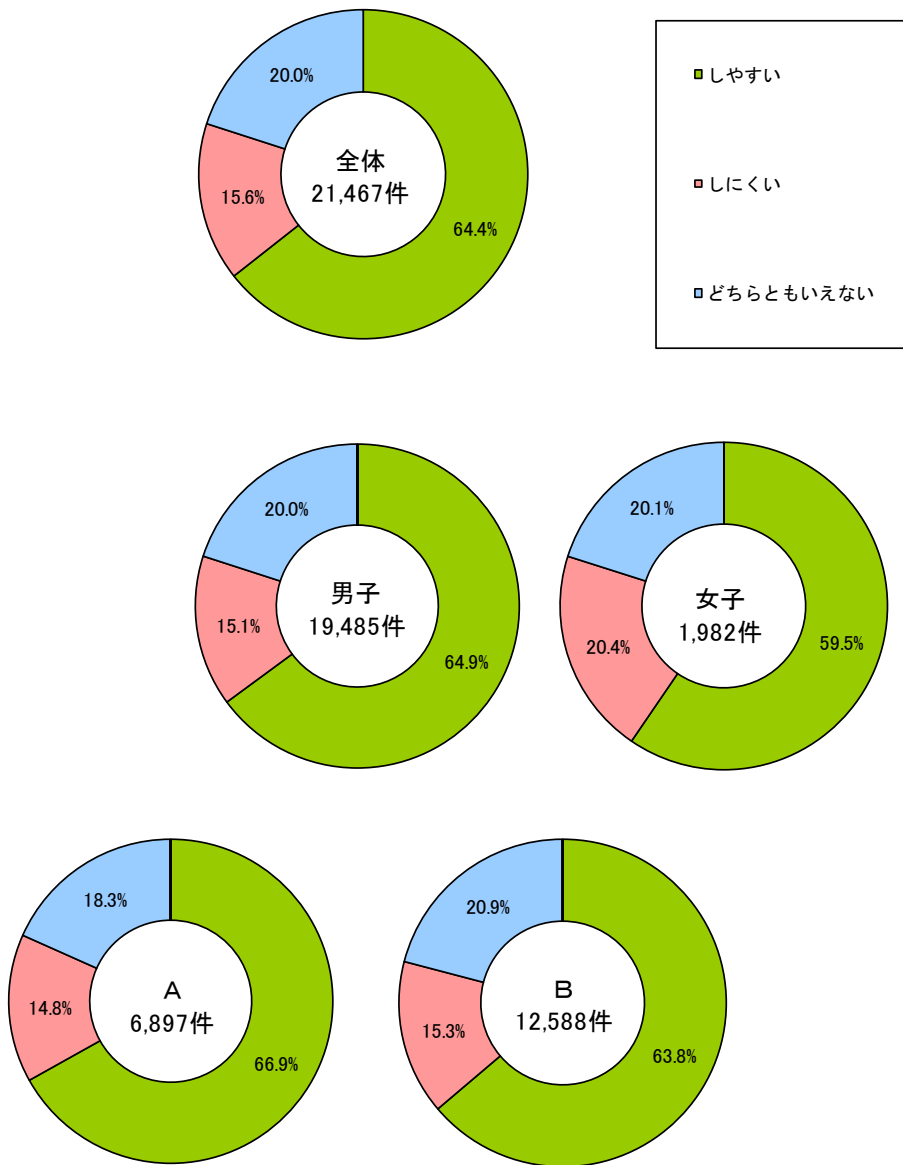


(3) あなたを一番長く担当した職員について【各1つ選択】

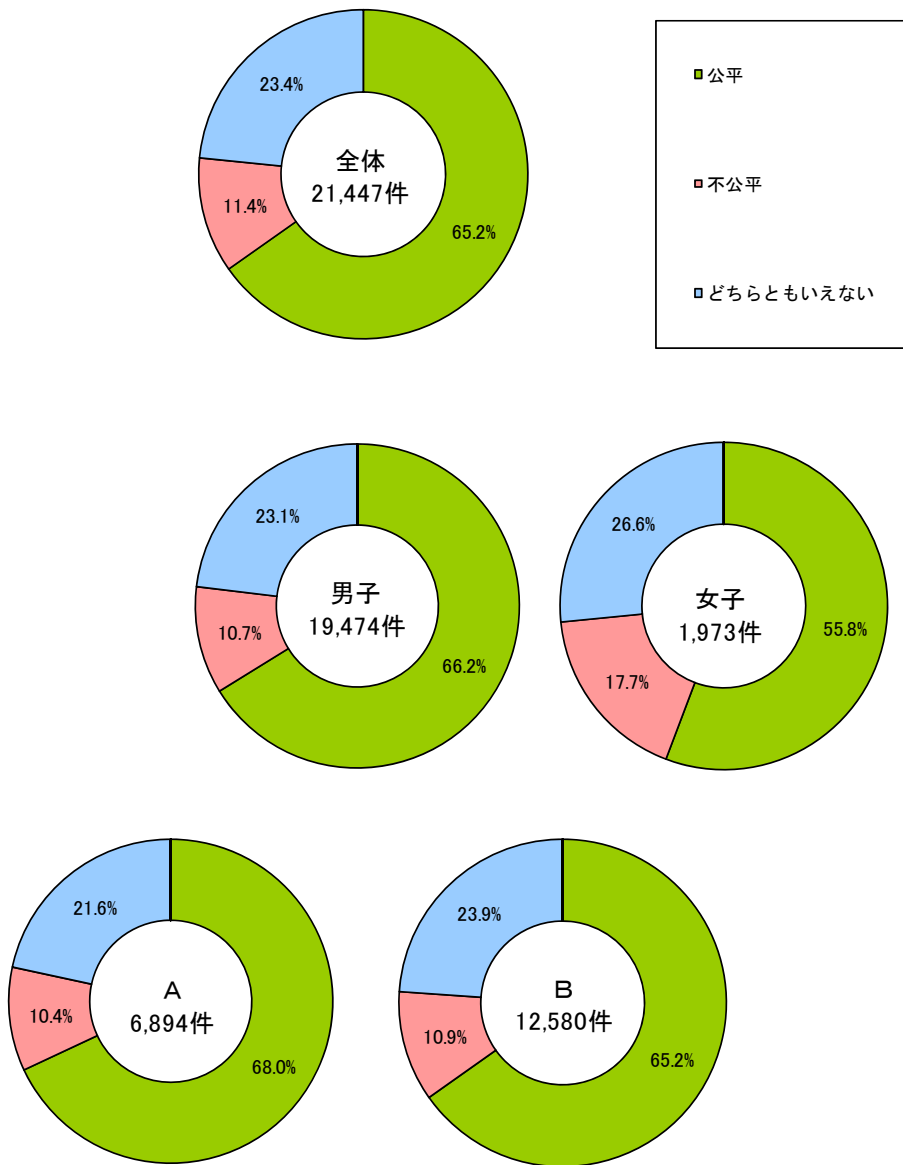
ア. 親切さ



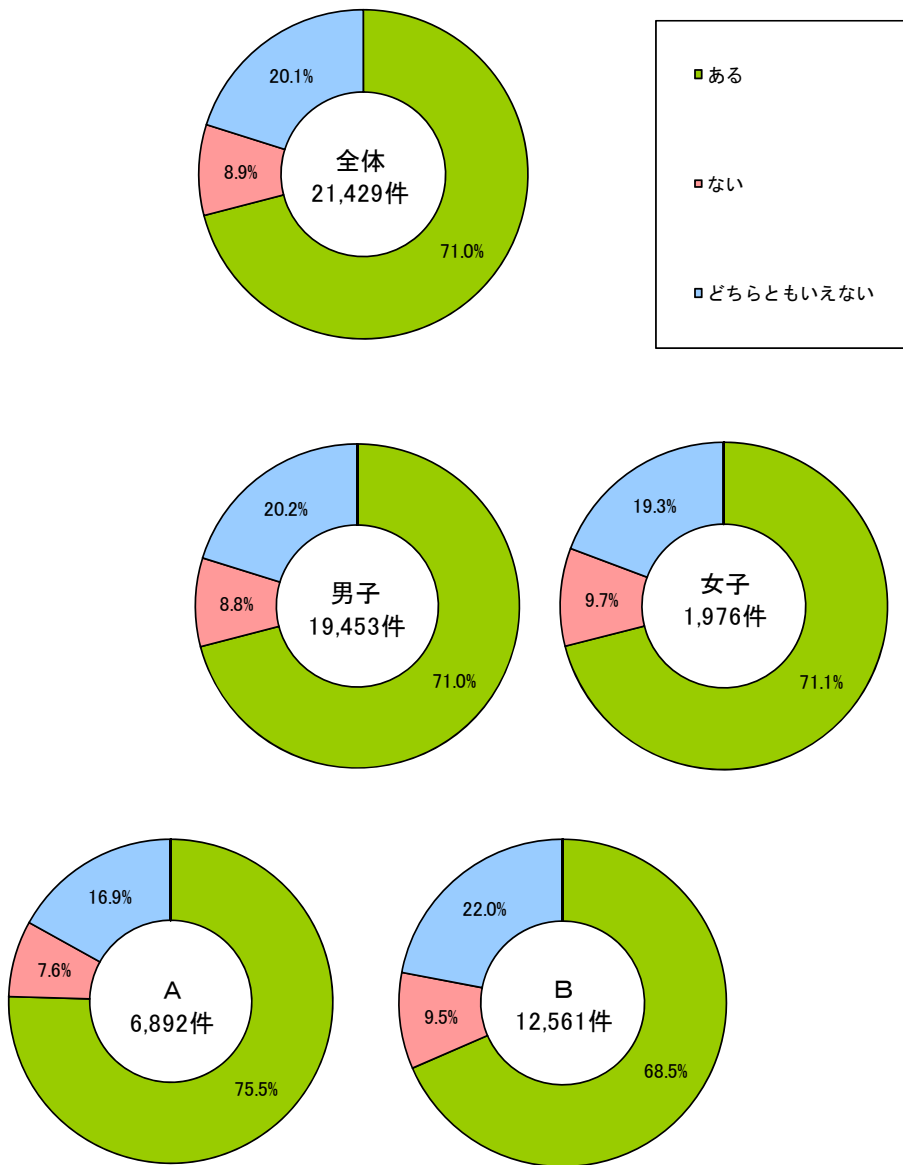
イ. 相談しやすさ



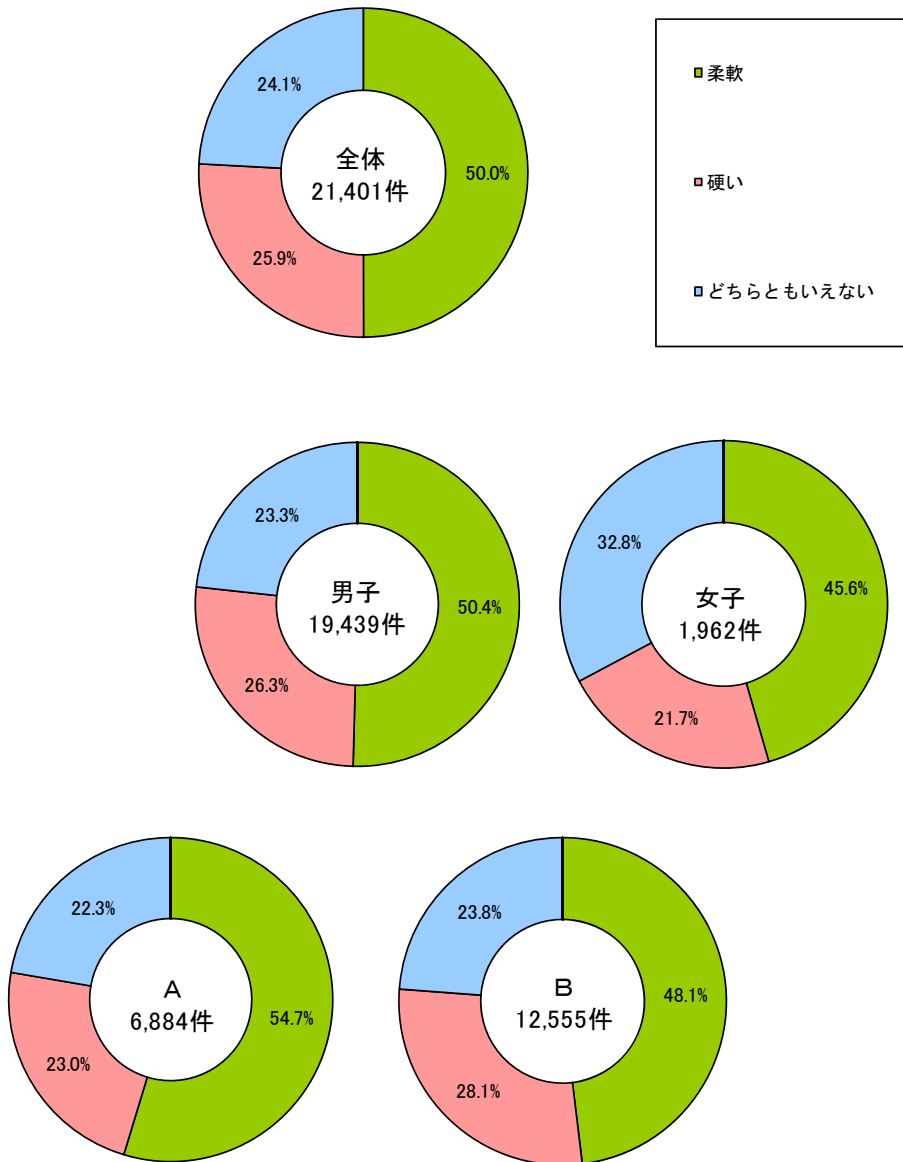
ウ. 公平さ



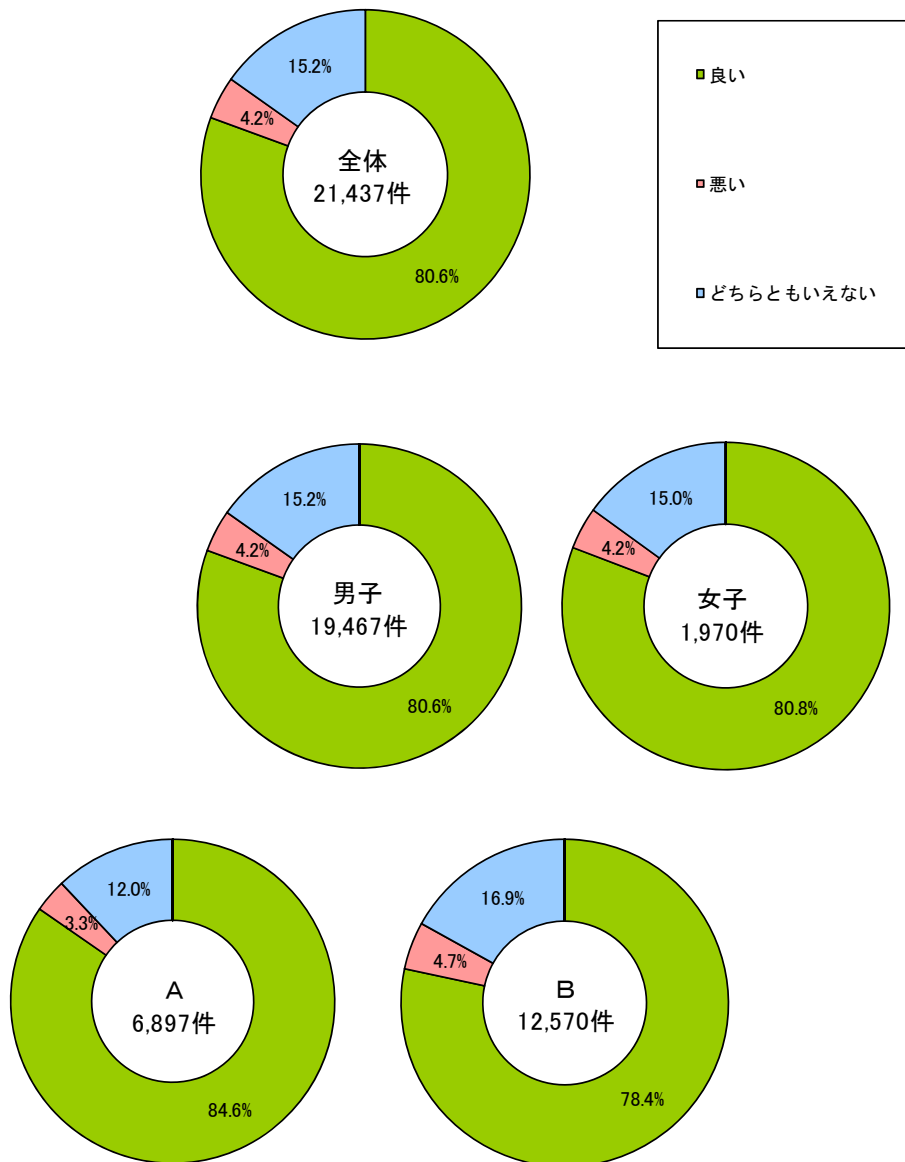
エ. 信頼感



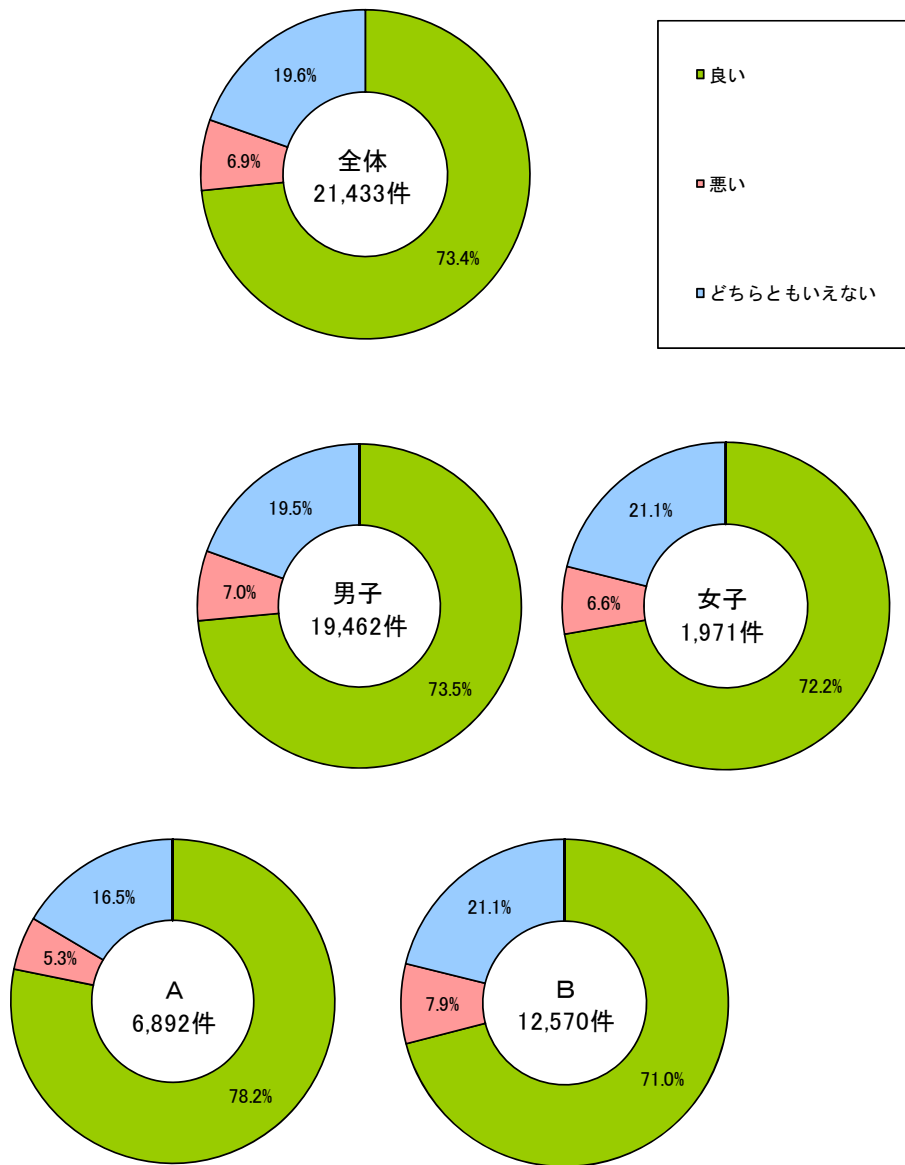
オ. 考え方



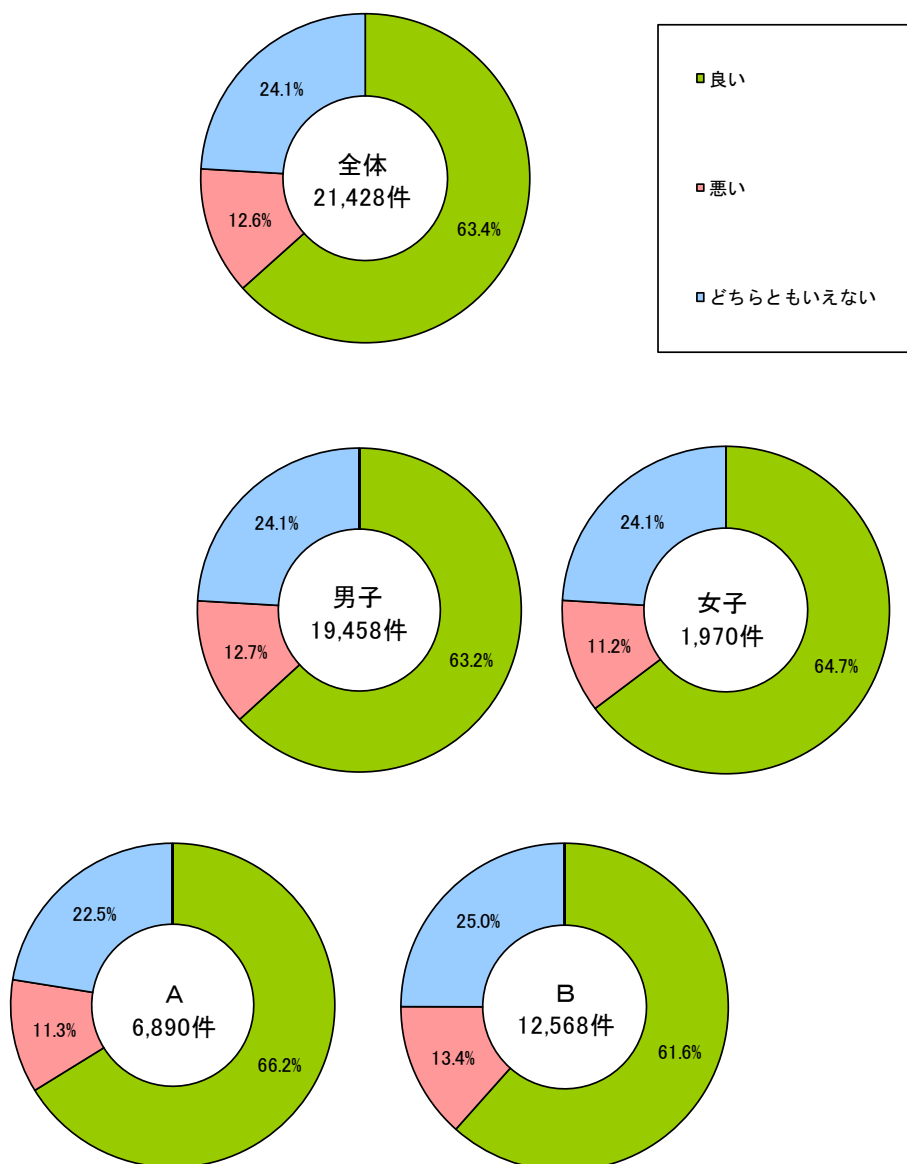
カ. 勤務姿勢



キ. 態度



ク. 言葉遣い



職員全体の公平さについて、「公平な職員が多い」という回答の割合は、男子 31.0%、女子 28.6%であるが、自分を一番長く担当した職員の公平さについては、男子 66.2%、女子 55.8%であった。

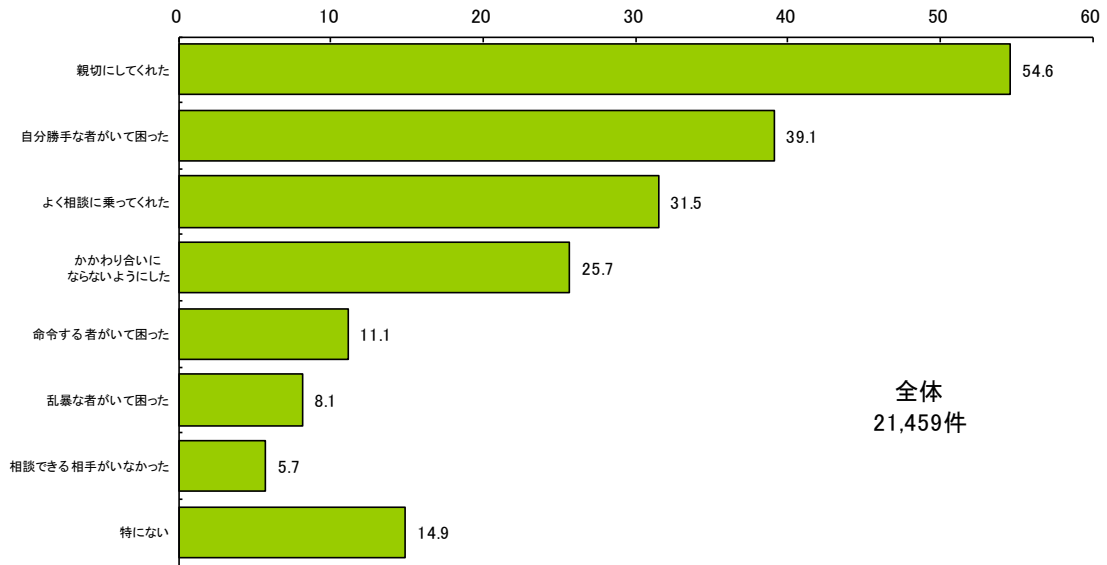
職員に望むこととしては、男女、処遇指標共に「公平に見てほしい」が最も多く、続いて「話を聞いてほしい」「受刑者を信じてほしい」とする回答が多かった。

自分を一番長く担当した職員については、男女、処遇指標とも好意的な回答が多い。

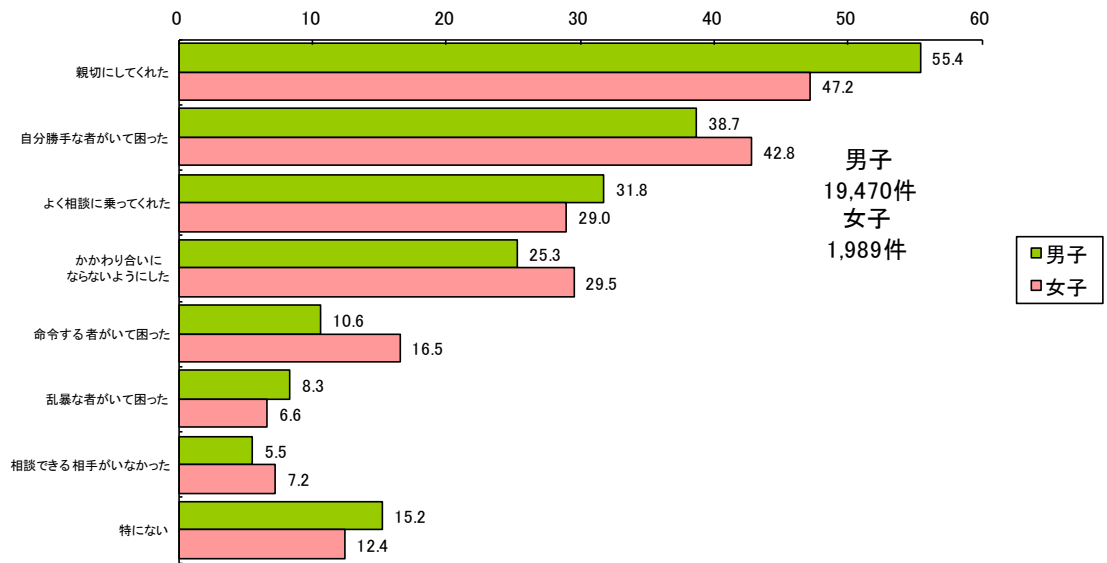
4. 他の受刑者

他の受刑者に対してどのように感じましたか。【2つ選択】

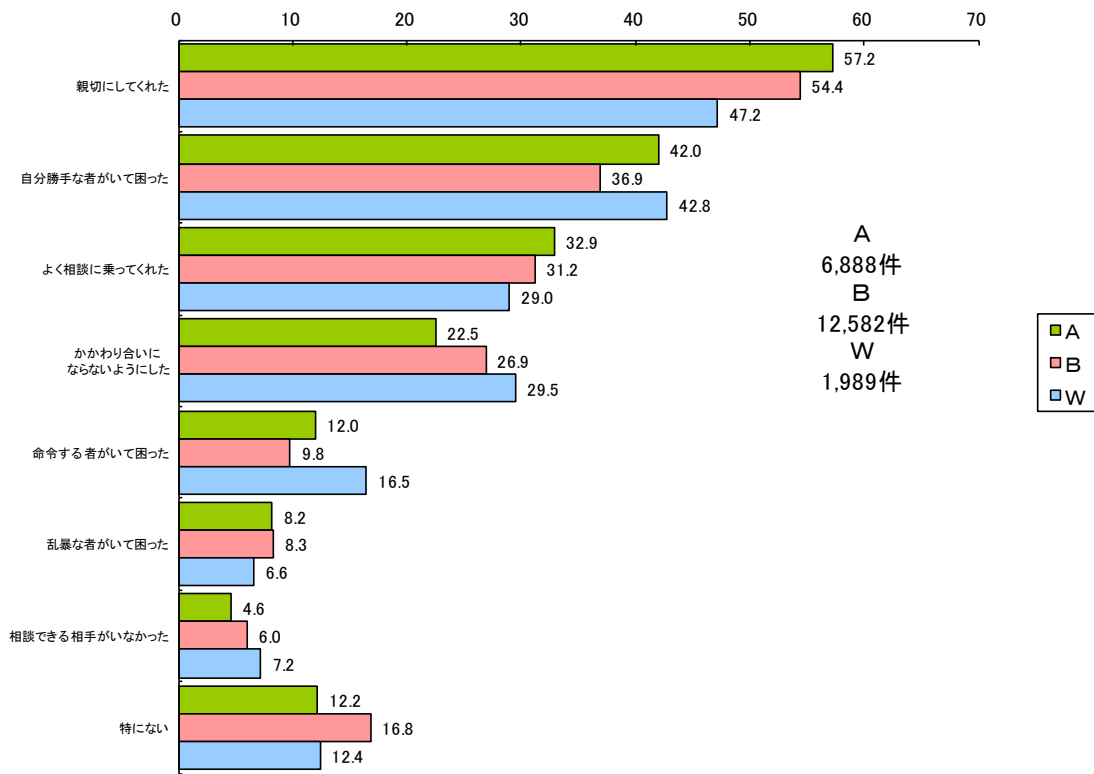
(%)



(%)



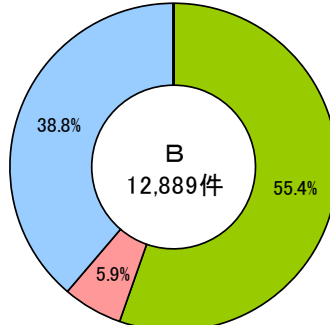
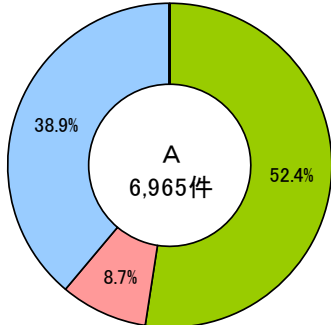
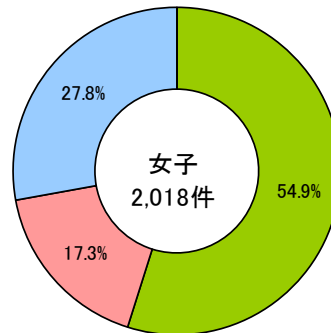
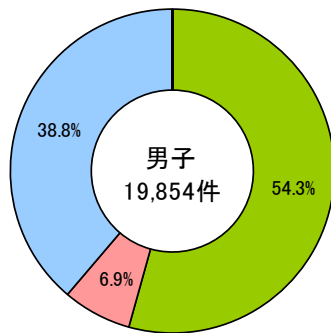
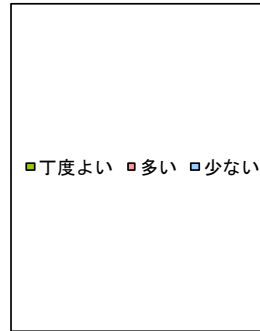
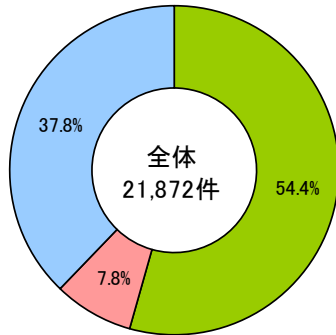
(%)



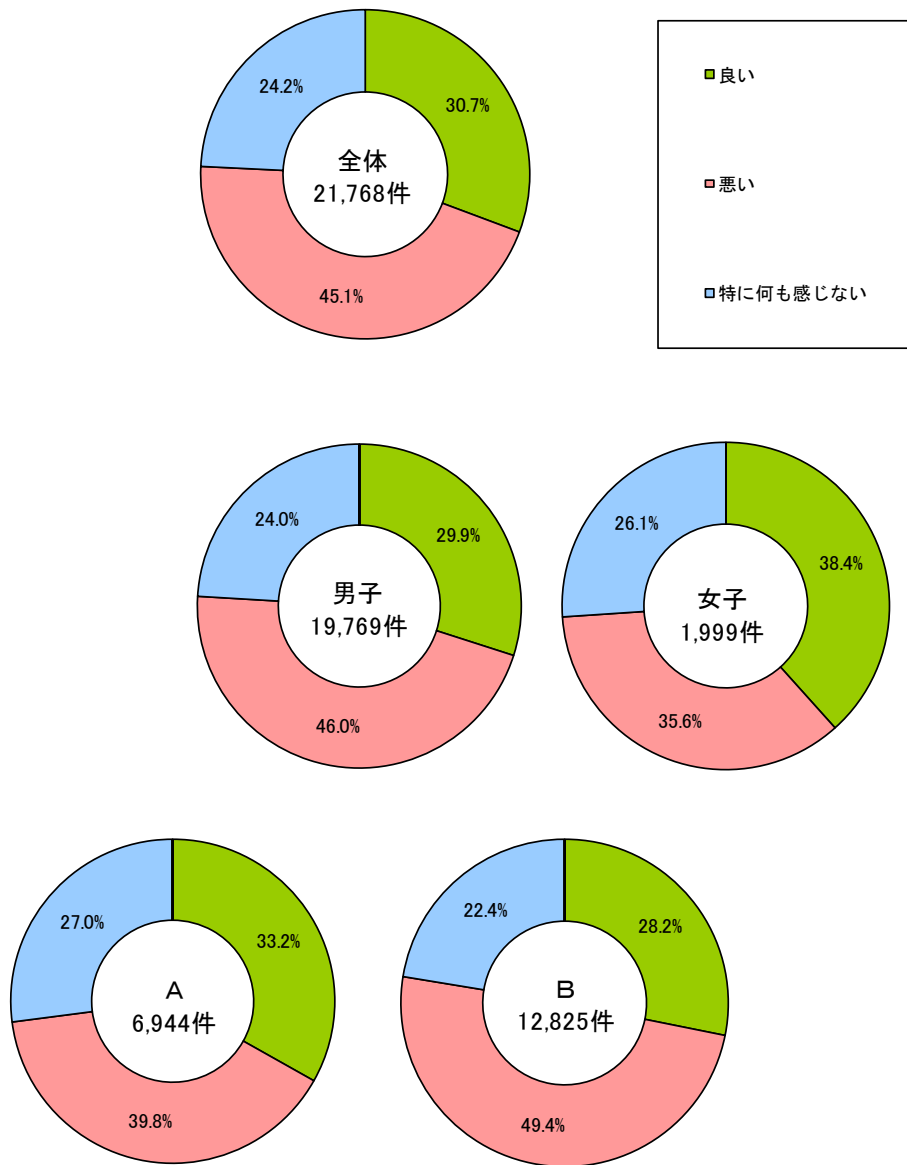
他の受刑者については、男女、処遇指標とも「親切にしてくれた」が最も多く、約半数を占めている。次いで「自分勝手な者がいて困った」も約40%と多かった。

5. 食事関係【各1つ選択】

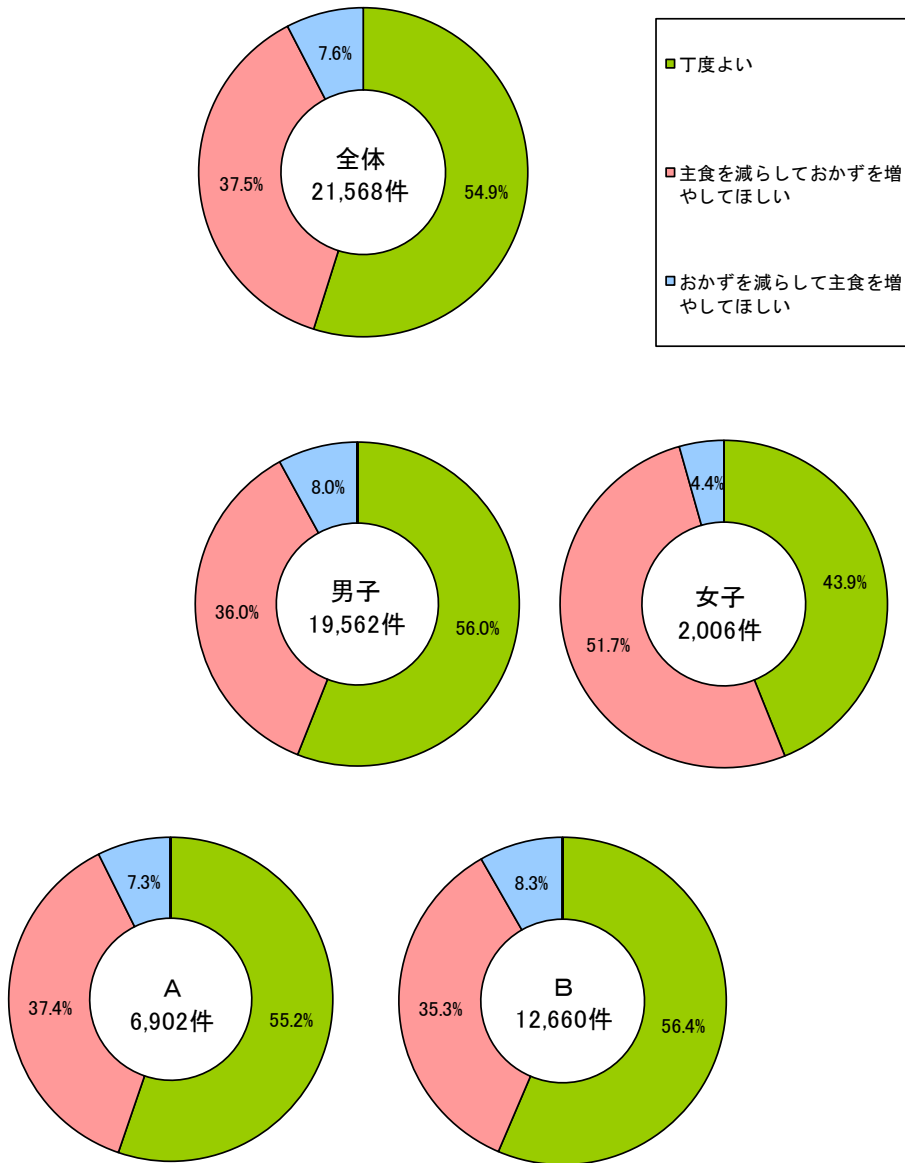
(1) 食事の量



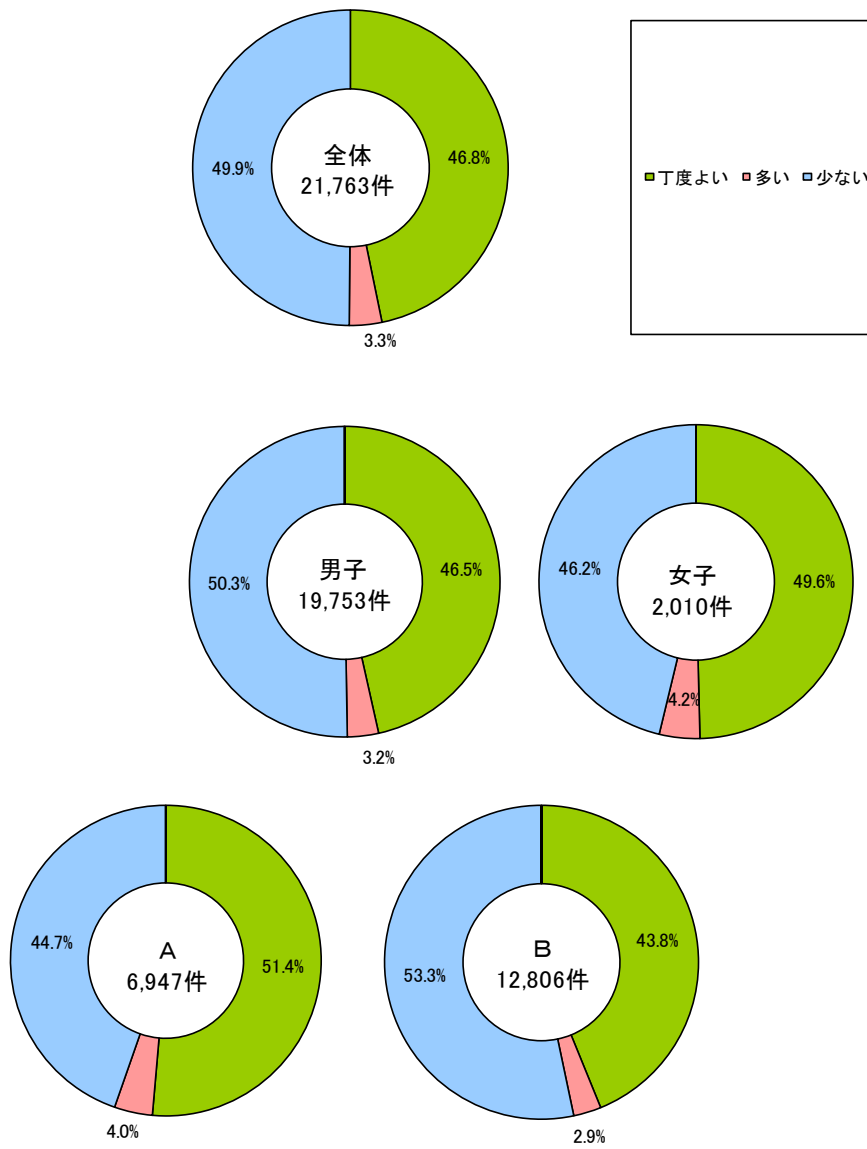
(2) 食事の質



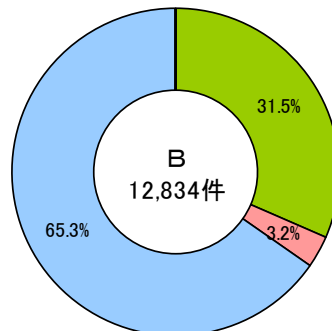
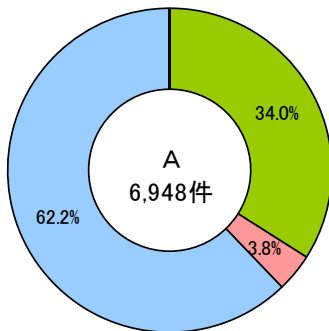
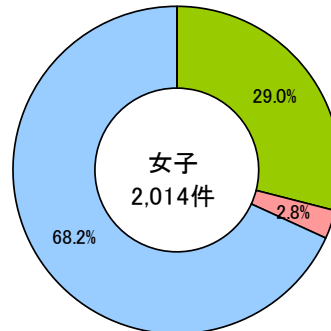
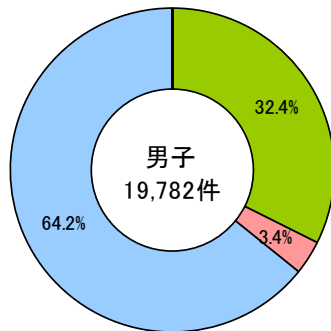
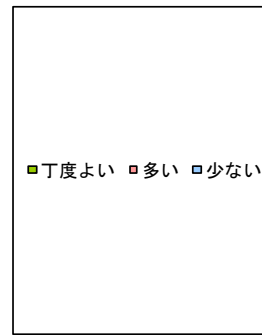
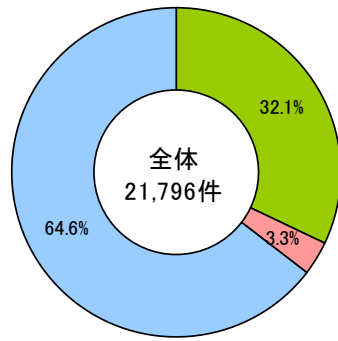
(3) 主食とおかず



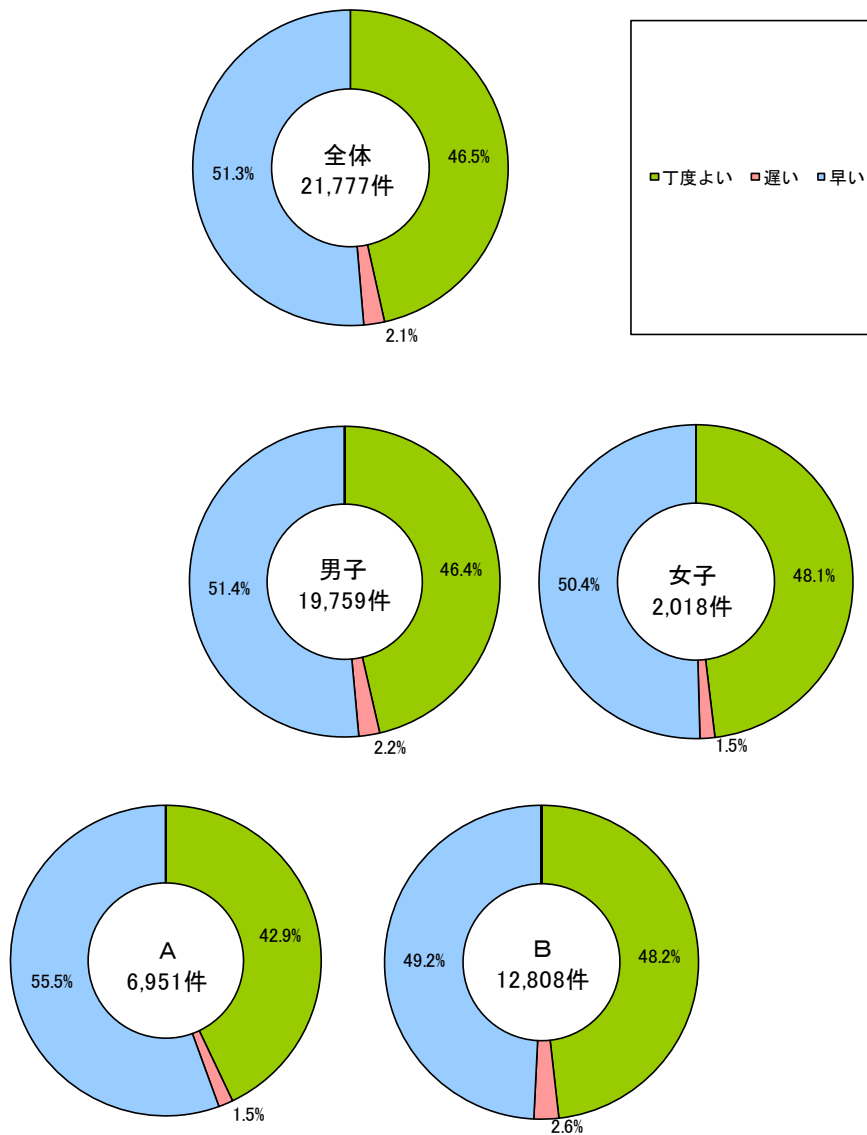
(4) 献立種類



(5) パン食回数



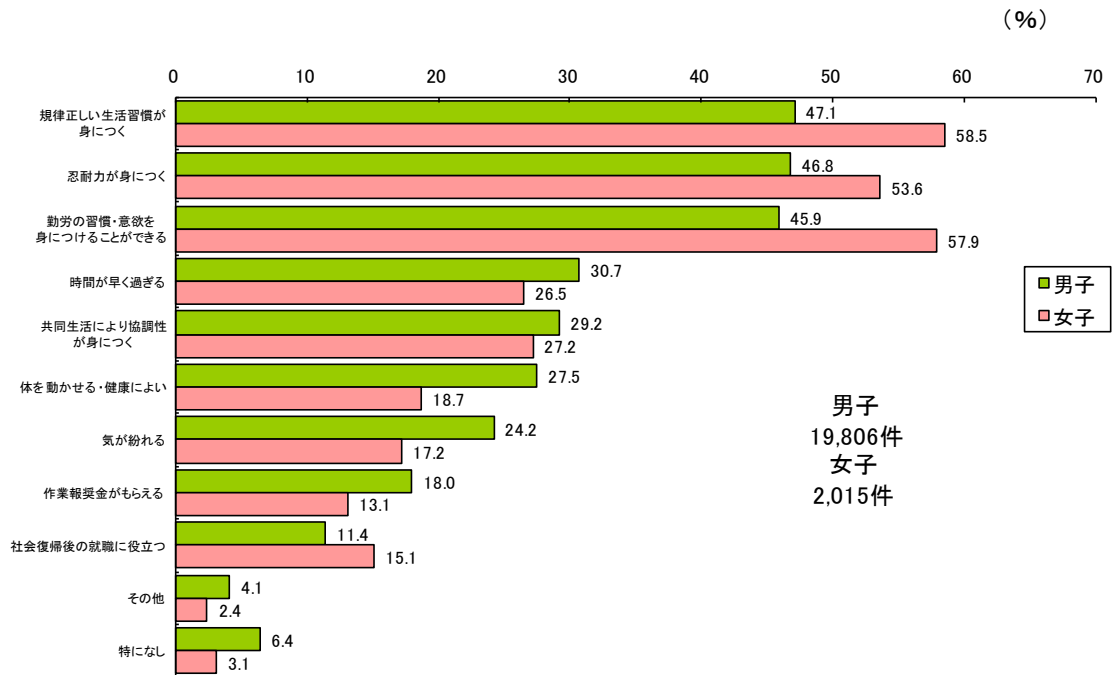
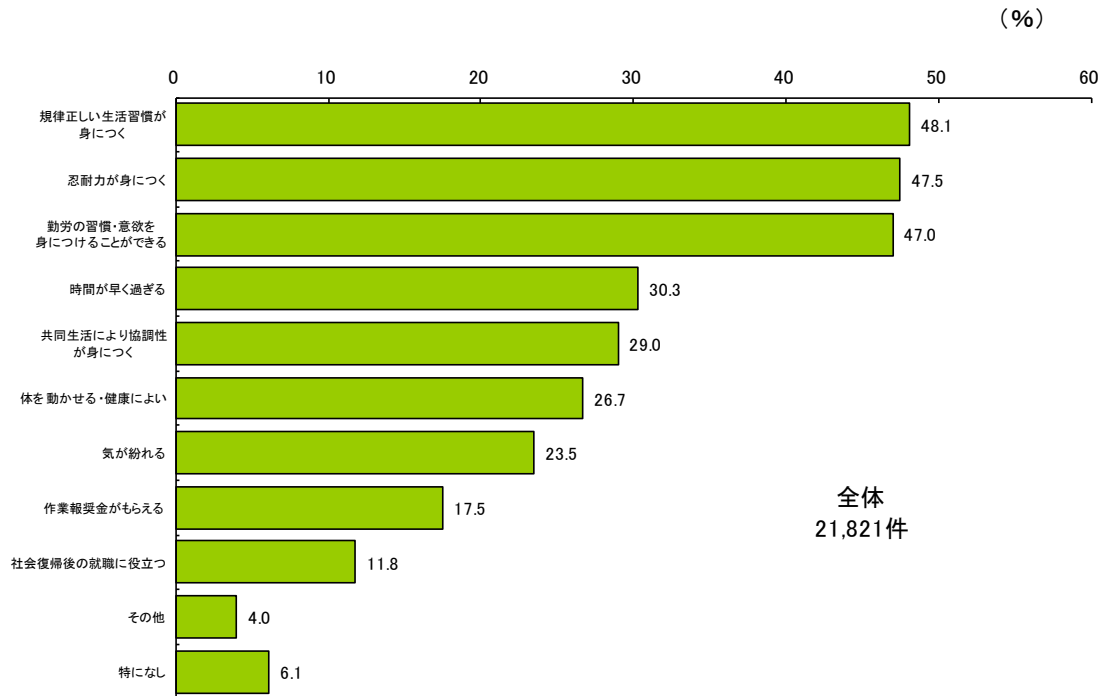
(6) 夕食時間帯

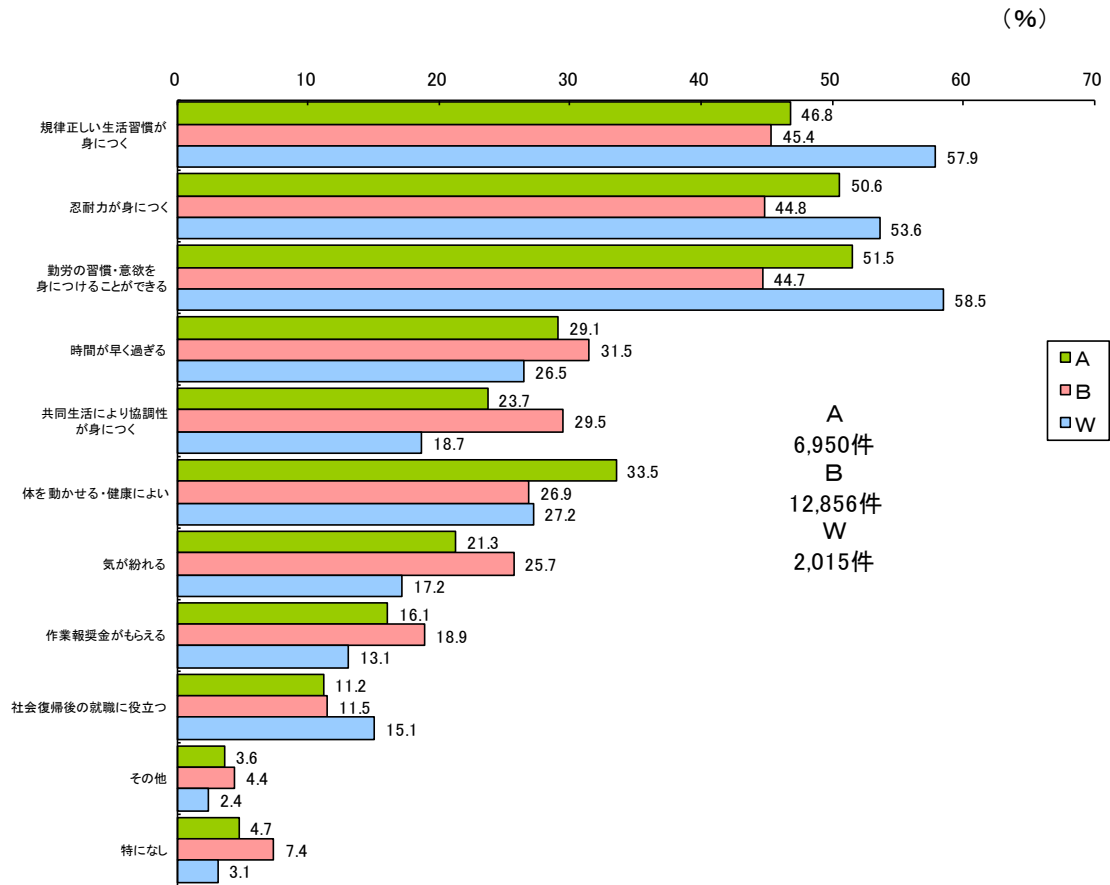


食事について、「食事の量」「主食とおかず」「献立種類」等は「丁度よい」ほぼ半数を占めているが、「食事の質」は「悪い」、「パン食回数」は「少ない」と否定的回答の比率が高くなっている。

6. 刑務作業

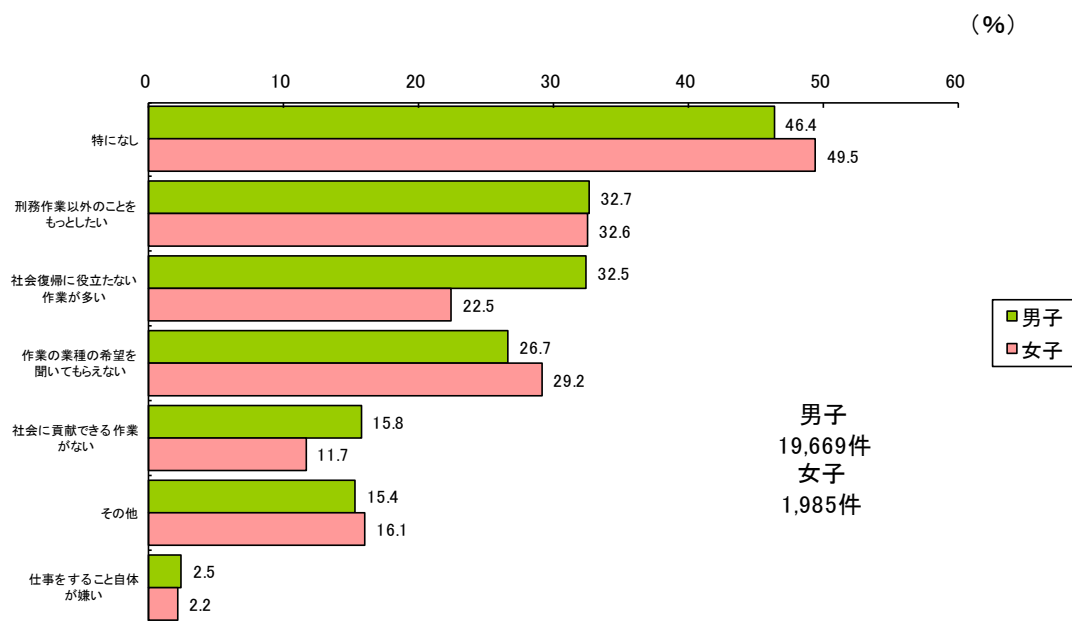
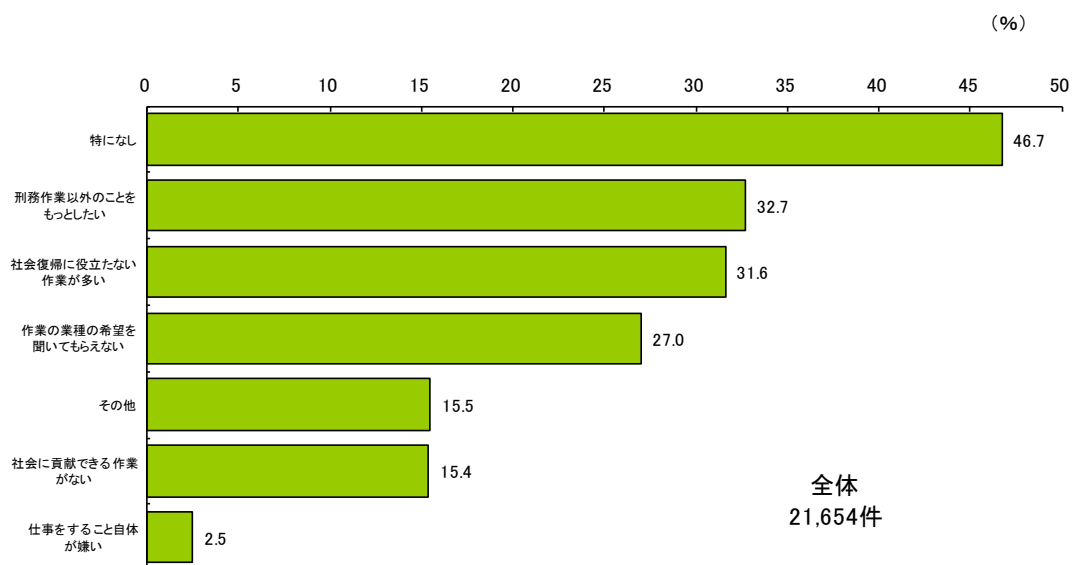
(1) 作業をして良かったこと【3つ選択】



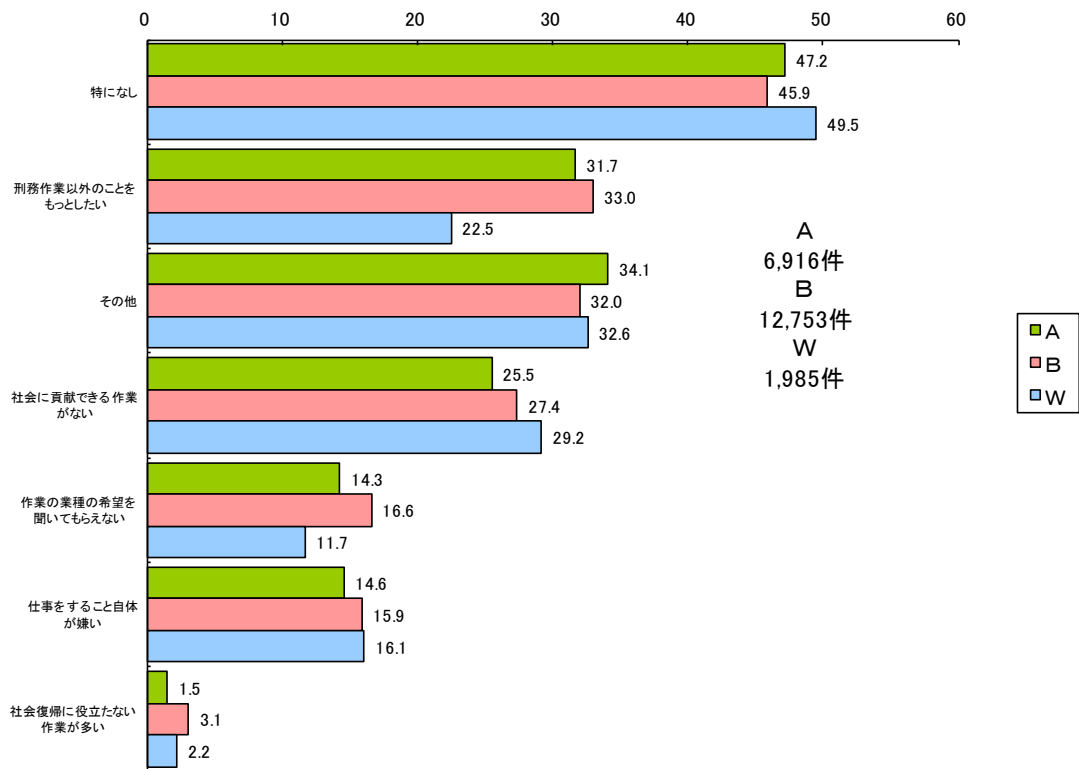


刑務作業について、「作業をして良かったこと」については、男女、処遇指標とも、「規律正しい生活習慣が身につく」「忍耐力が身につく」「勤労の習慣・意欲が身につく」の回答が約半数を占めている。

(2) 作業に関して不満な点【2つ選択】

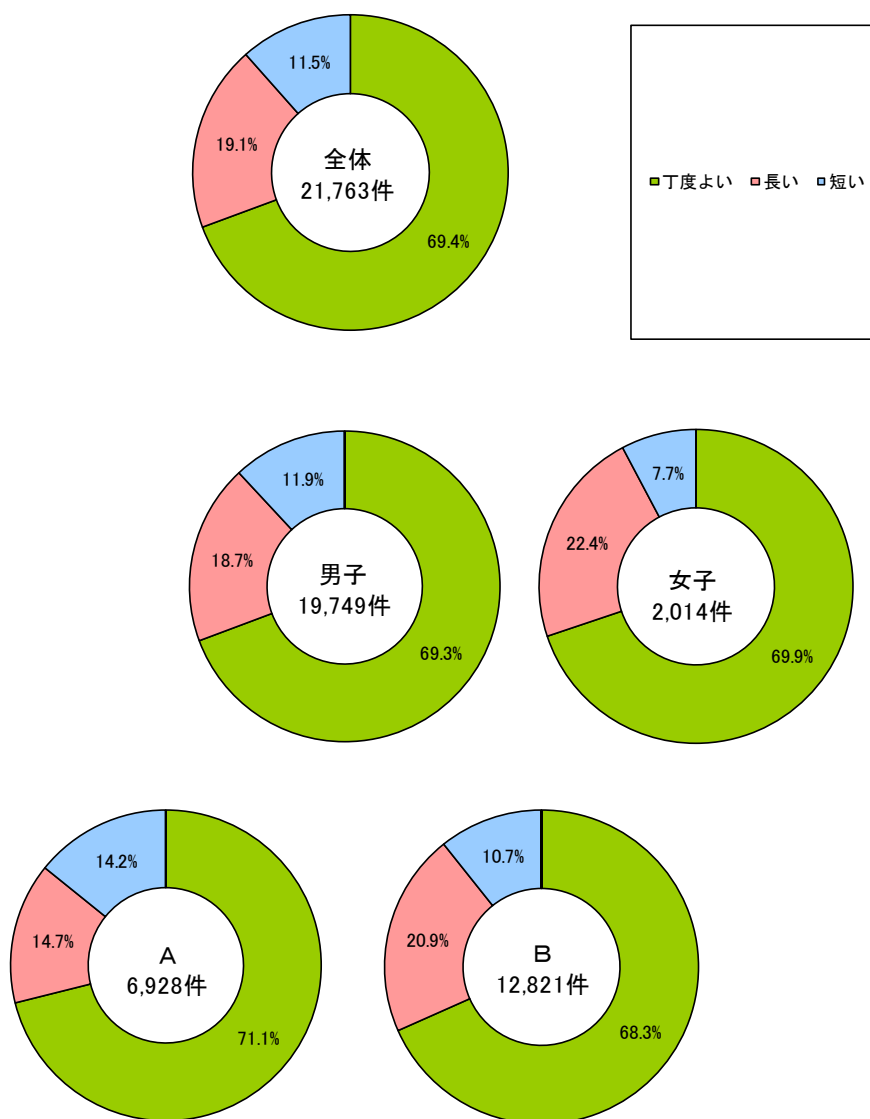


(%)



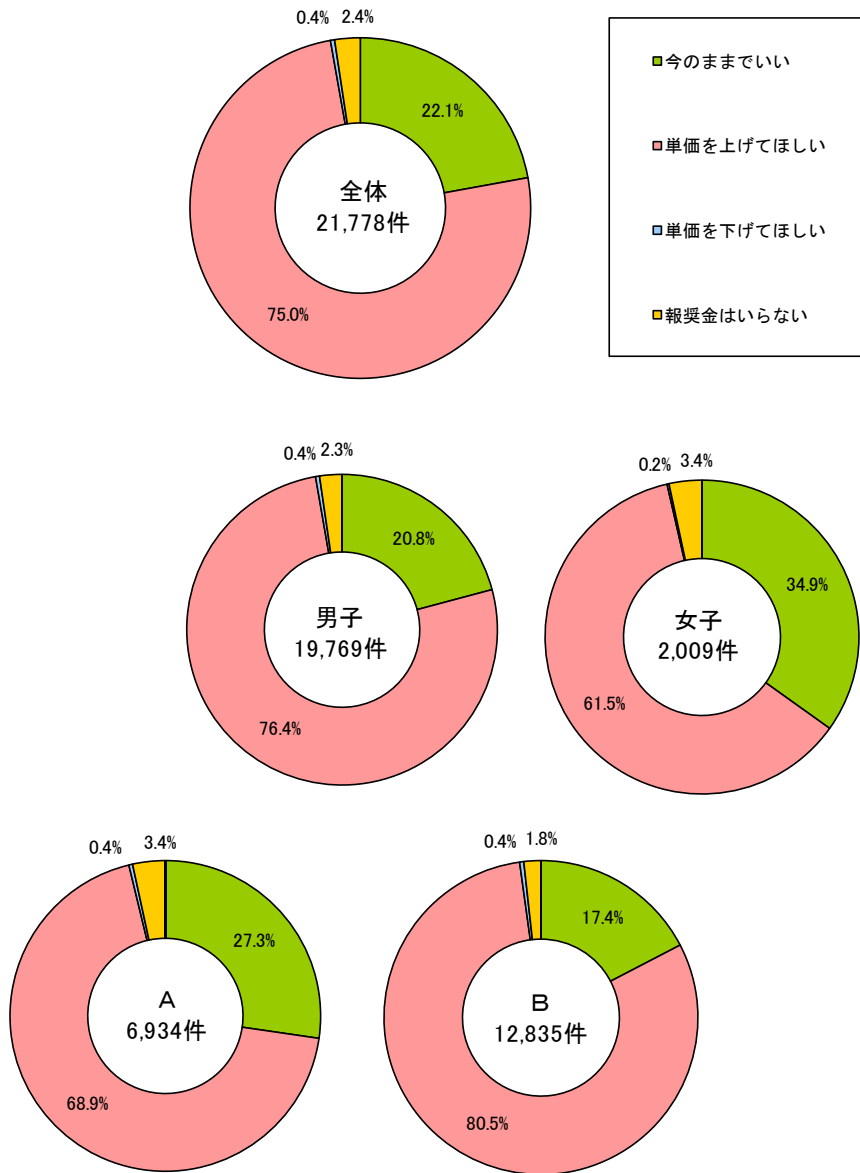
刑務作業について、「作業に関して不満な点」については、男女とも「刑務作業以外のことをもっとしたい」の回答が最も多い。次に多い回答では、男子は「社会復帰に役立たない作業が多い」。女子は「作業の業種の希望を聞いてもらえない」という違いがある。

(3) 作業時間について【1つ選択】



刑務作業について、「作業時間」については、男女、処遇指標ともほぼ同率で「丁度よい」という回答が約70%を占めるが、「短い」という回答も10%前後ある。

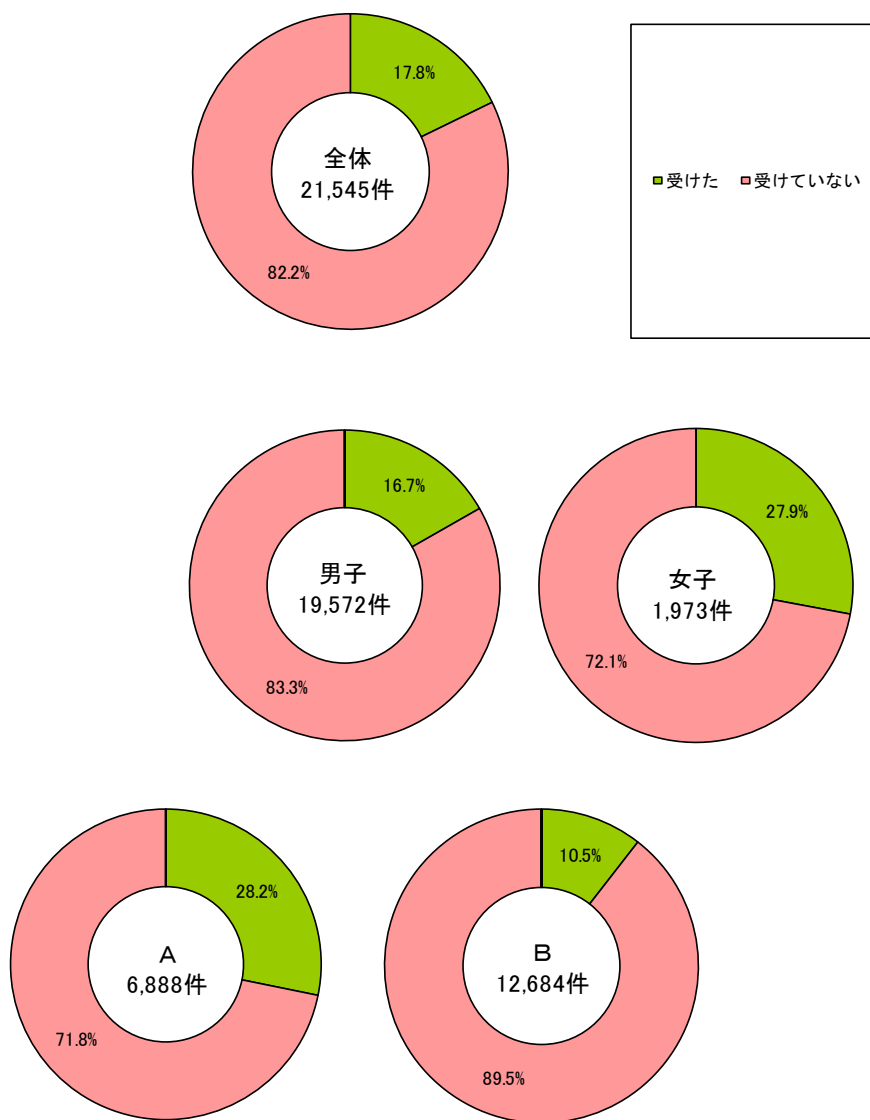
(4) 作業報奨金について【1つ選択】



刑務作業について、「作業報奨金」については、男女、処遇指標とも「単価を上げてほしい」という回答が高率ではあるが、「報奨金はいらない」という回答もある。

7. 職業訓練

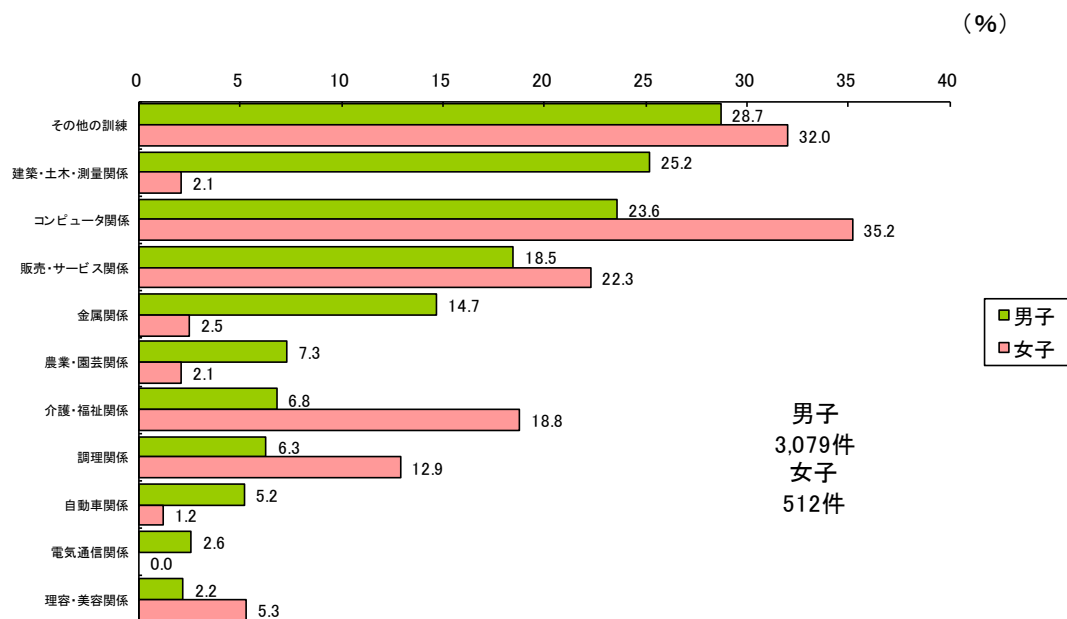
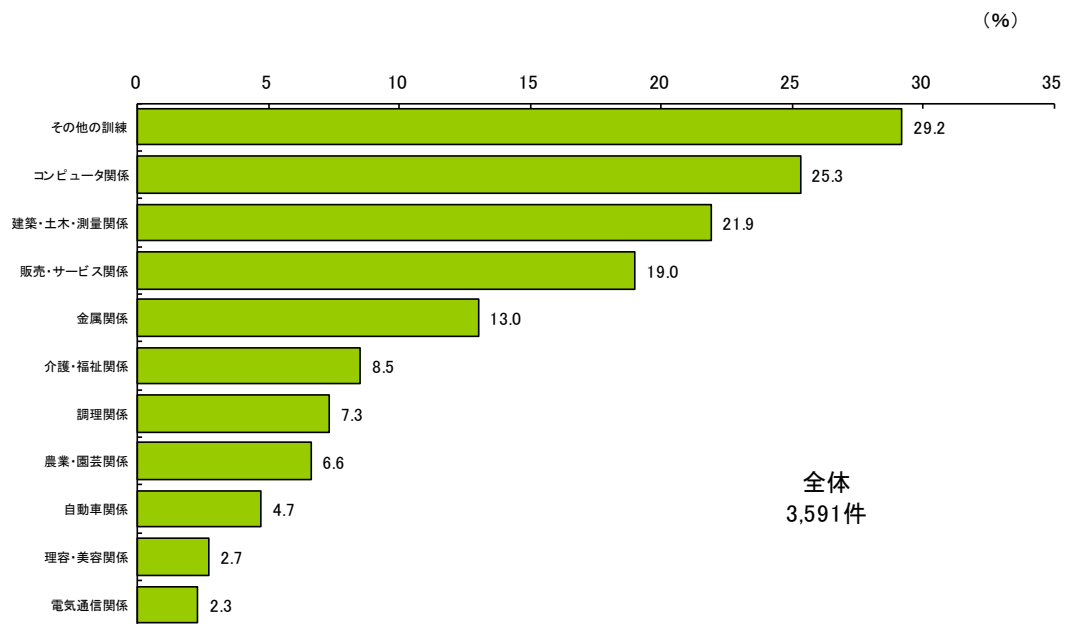
(1) 職業訓練を受けましたか。【1つ選択】



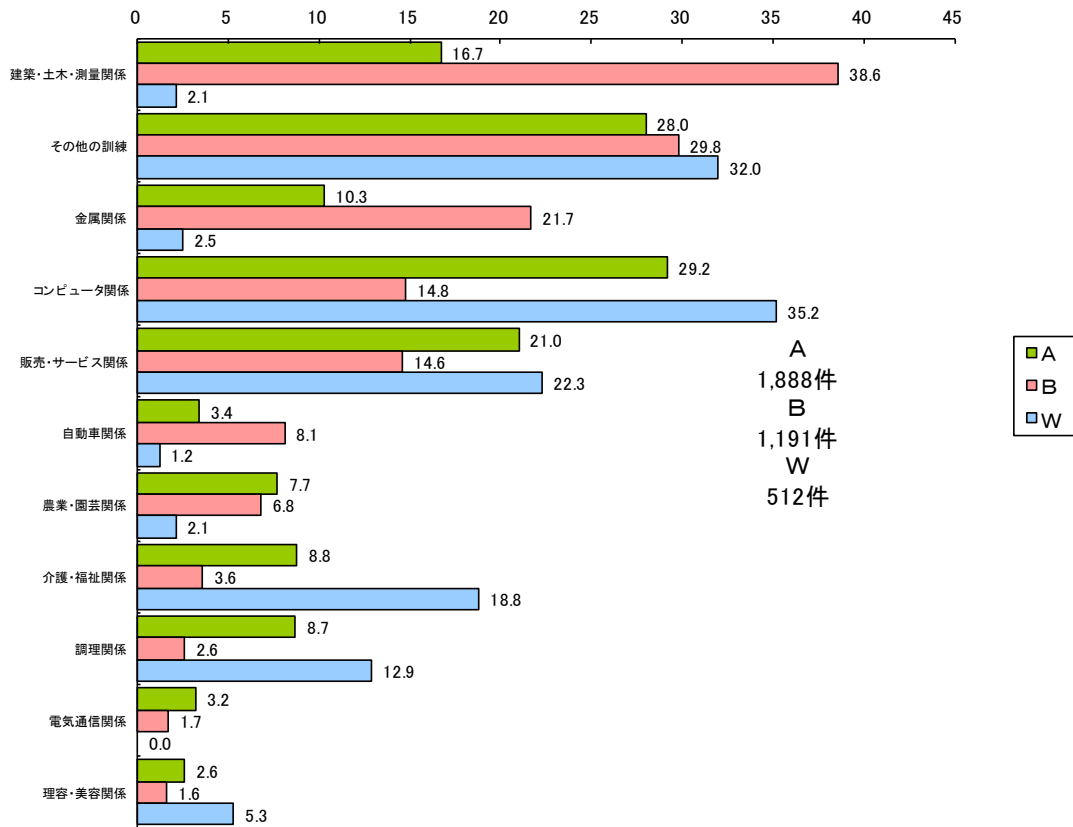
職業訓練について、経験を聞いたところ、各指標とも「受けていない」という回答が80%前後を占めた。

(2) (1)で職業訓練を「受けた」と答えた人に聞きます。何の職業訓練を受けましたか。

【3つ選択】

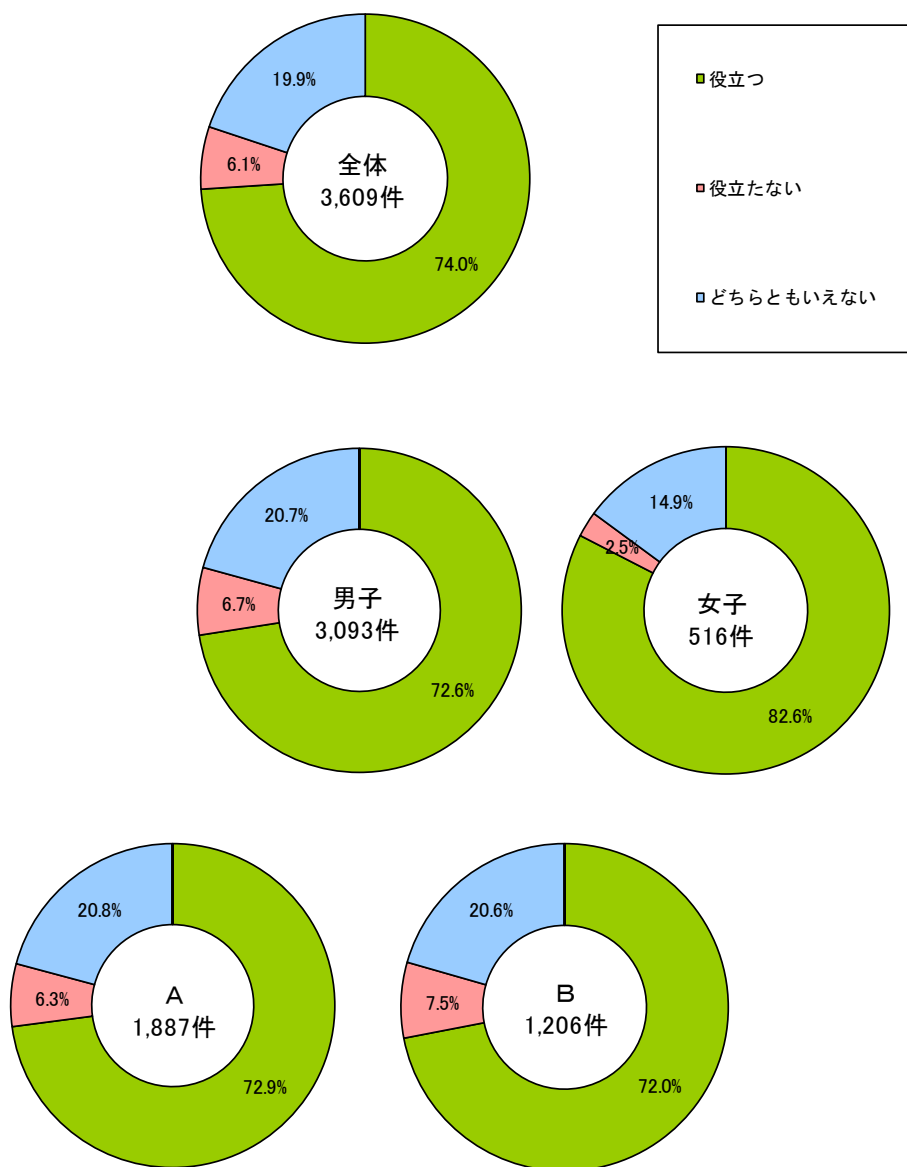


(%)



職業訓練について、「受けた」人に何の職業訓練を受けたかと質問したところ、各指標によりばらつきが大きい結果となった。

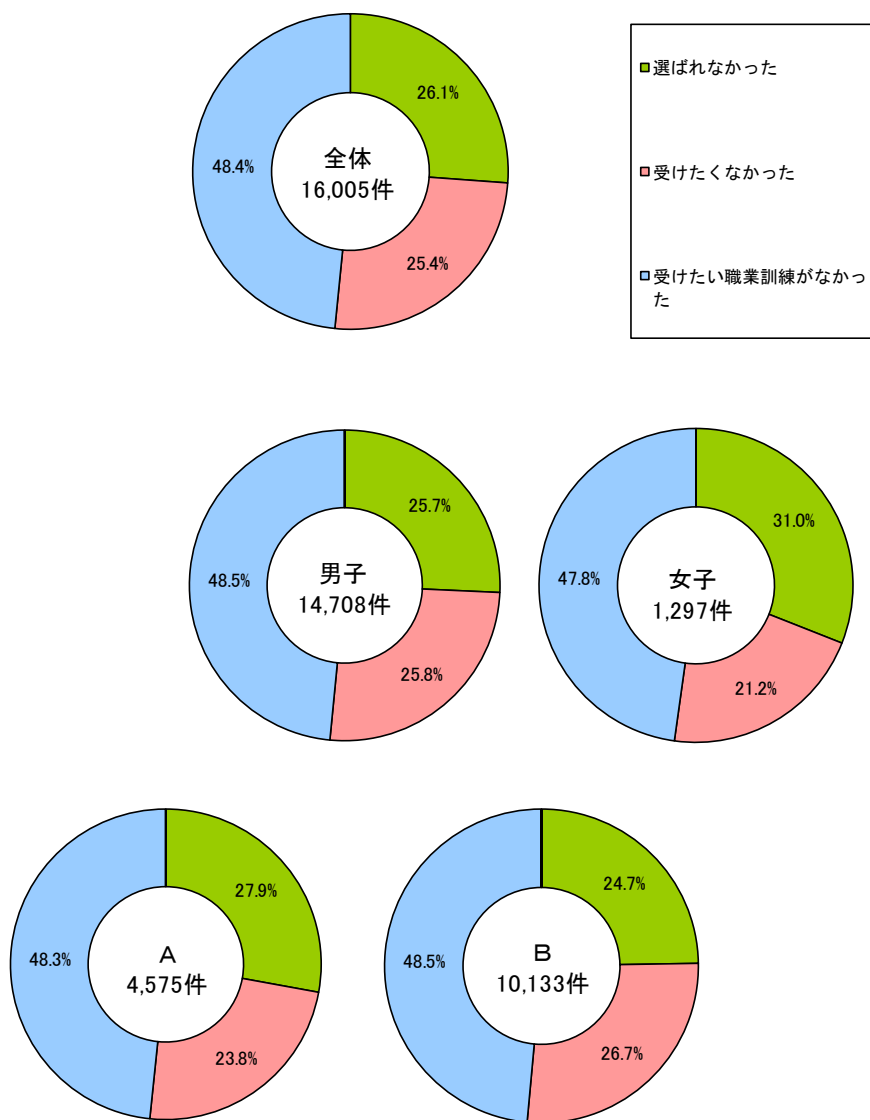
(3) (1)で職業訓練を「受けた」と答えた人に聞きます。社会復帰に役立つと思いますか。【1つ選択】



職業訓練について、「受けた」人に「社会復帰に役立つか」と質問したところ、受けた回答者は少数ながら「役立つ」と答えた比率は高い。

(4) 職業訓練を受けなかった人に聞きます。職業訓練を受けなかった理由。

【1つ選択】

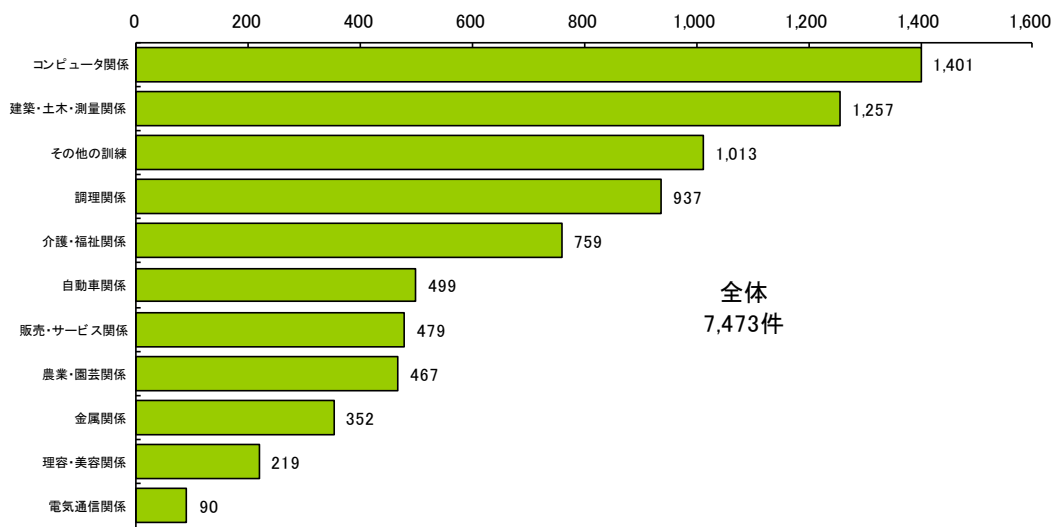


職業訓練について、「受けなかった」人に理由を質問したところ、「受けたい職業訓練がなかった」という回答がほぼ半数を占める。

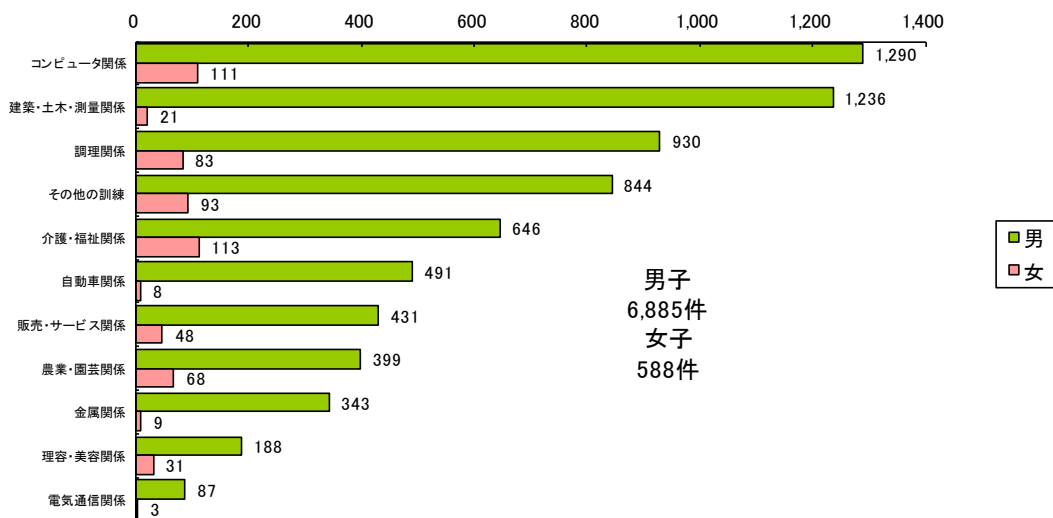
(5) (4)で「③受けたい職業訓練がなかった。」と答えた人に聞きます。

どのような訓練があれば、受けたいと思いましたか。【1つ選択】

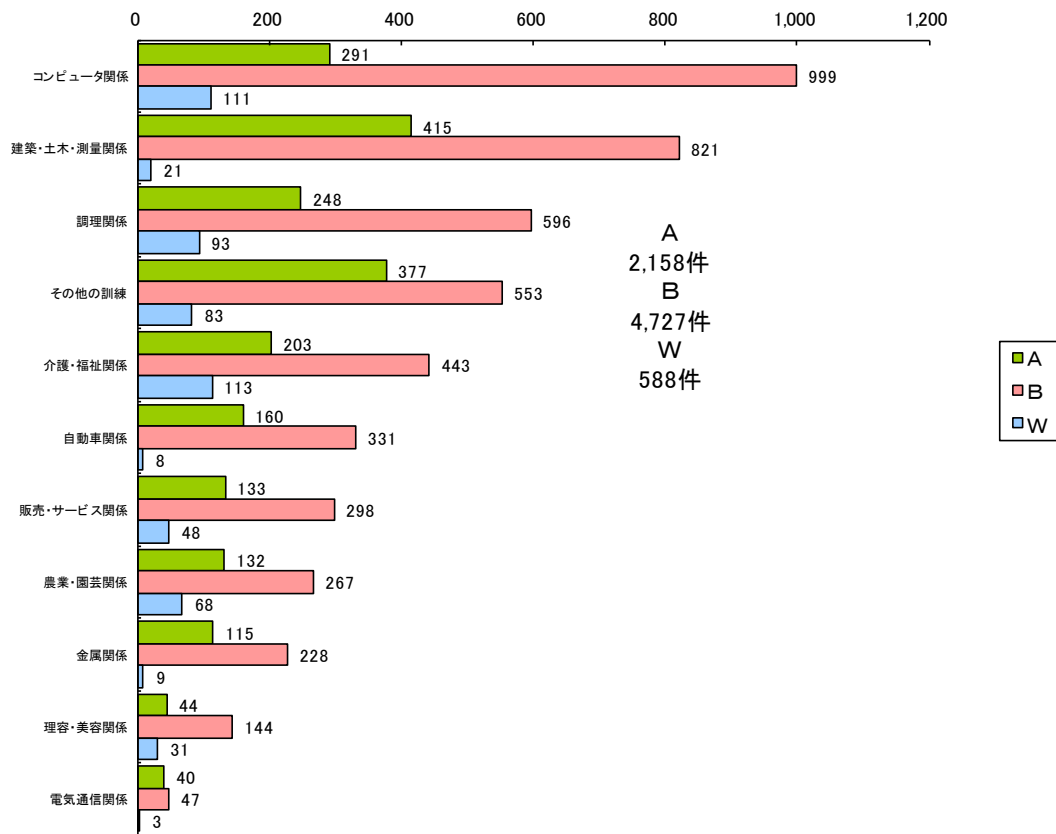
(件)



(件)



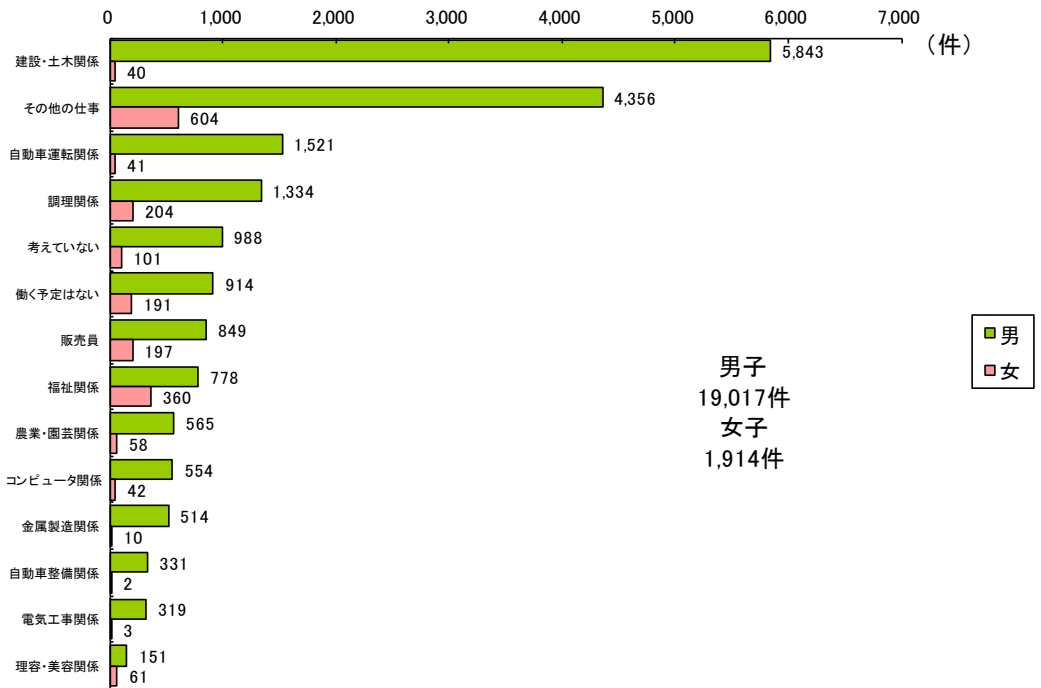
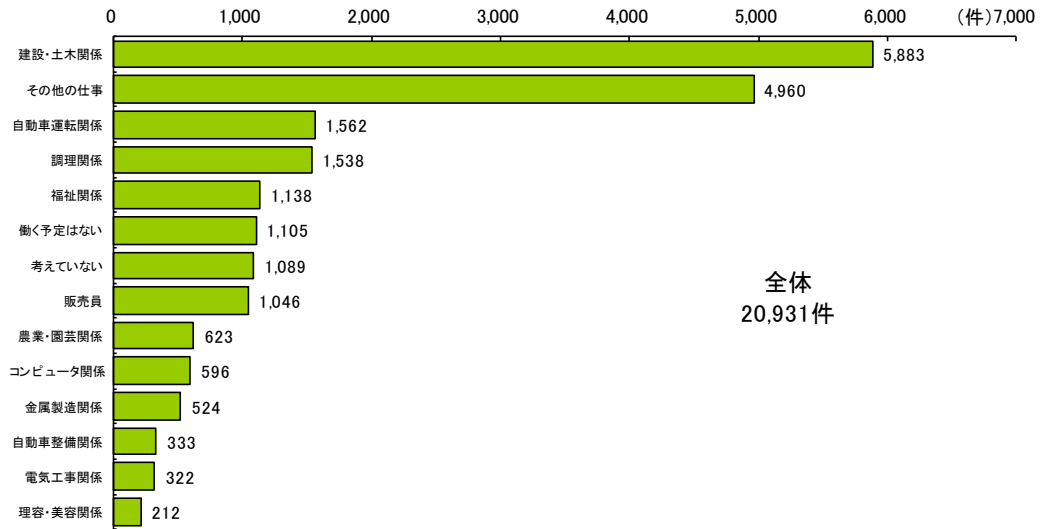
(件)



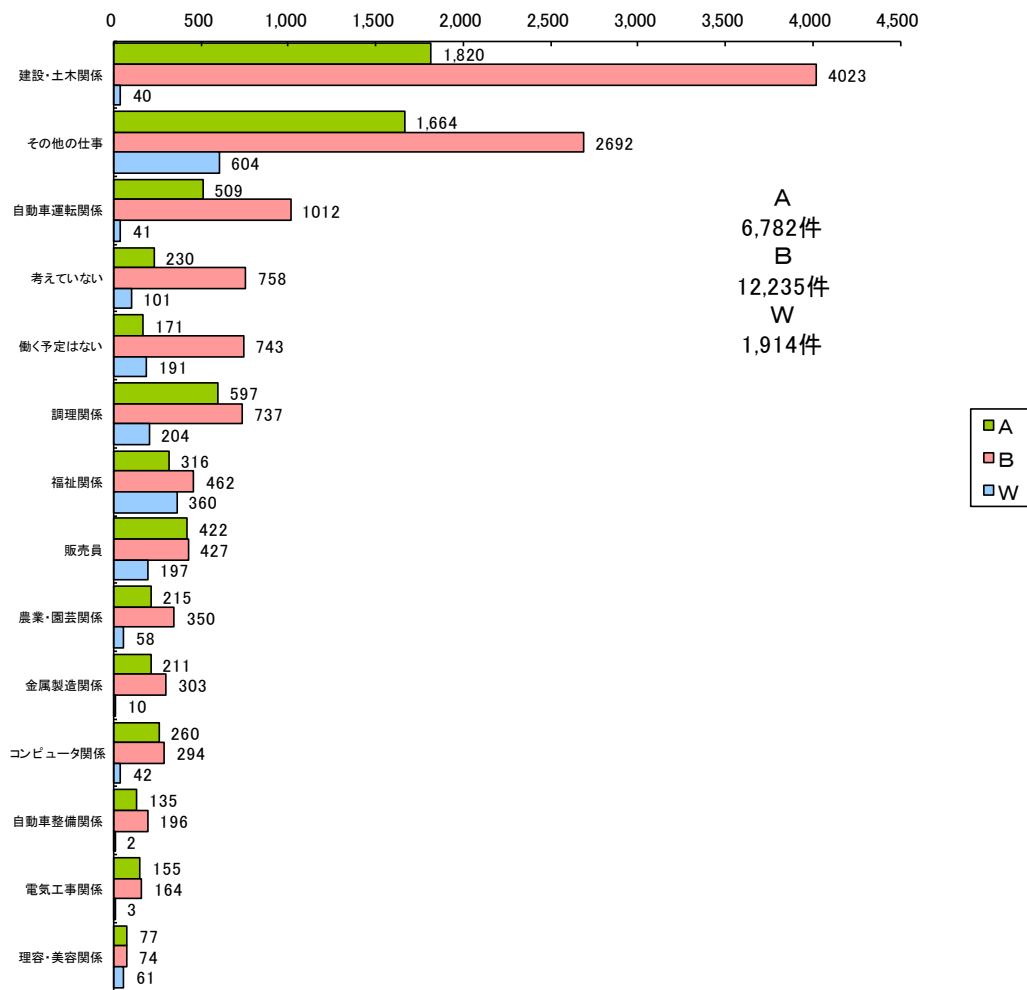
職業訓練について、「受きたい職業訓練がなかった」と回答した人に希望する訓練を質問したところ、各指標でバラつきがある。
※上記グラフは比率ではなく件数である。

8. 出所後の就労

出所後に就きたい（就くつもり）の仕事はどれですか。【1つ選択】



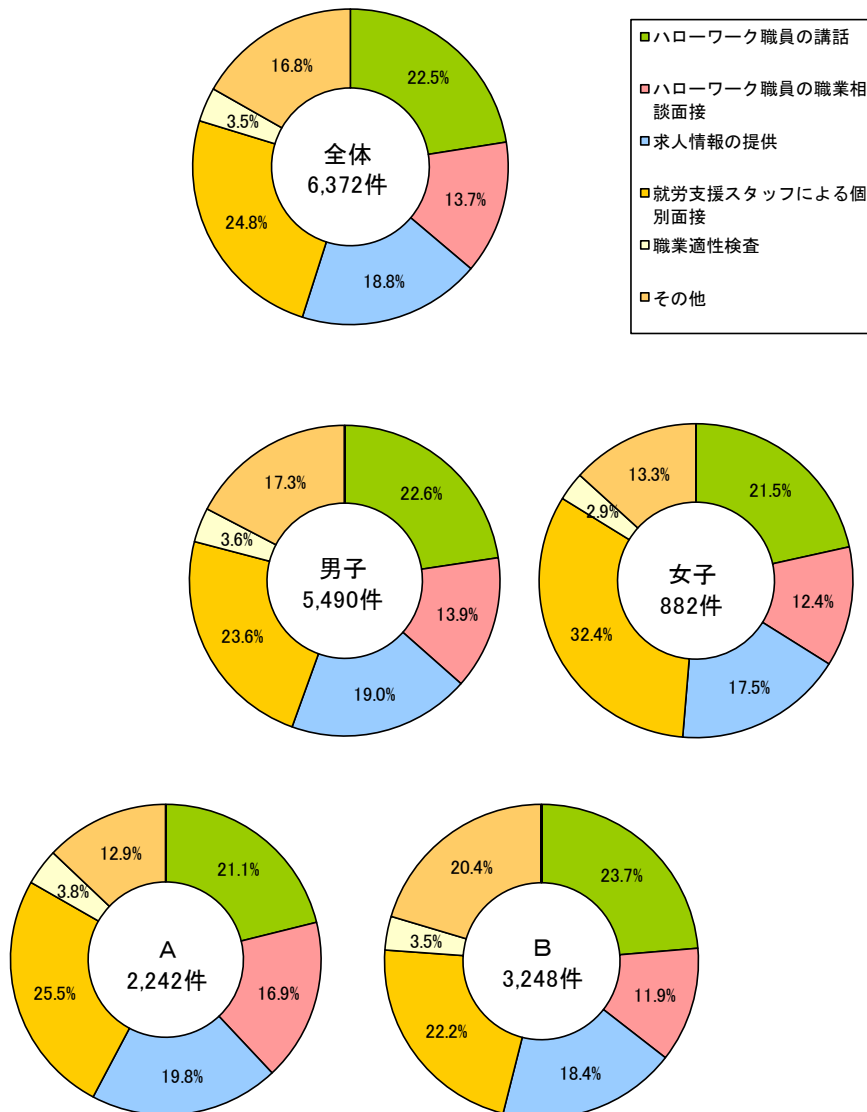
(件)



出所後に就きたい（就くつもり）の仕事について質問したところ、「建設・土木関係」が多数ではあるものの、各指標でバラつきがある。
※上記グラフは比率ではなく件数である。

9. 就労支援

就労支援を受けた人に聞きます。受けた就労支援のうち、あなたが一番役に立ったと思ったものはどれですか。【1つ選択】

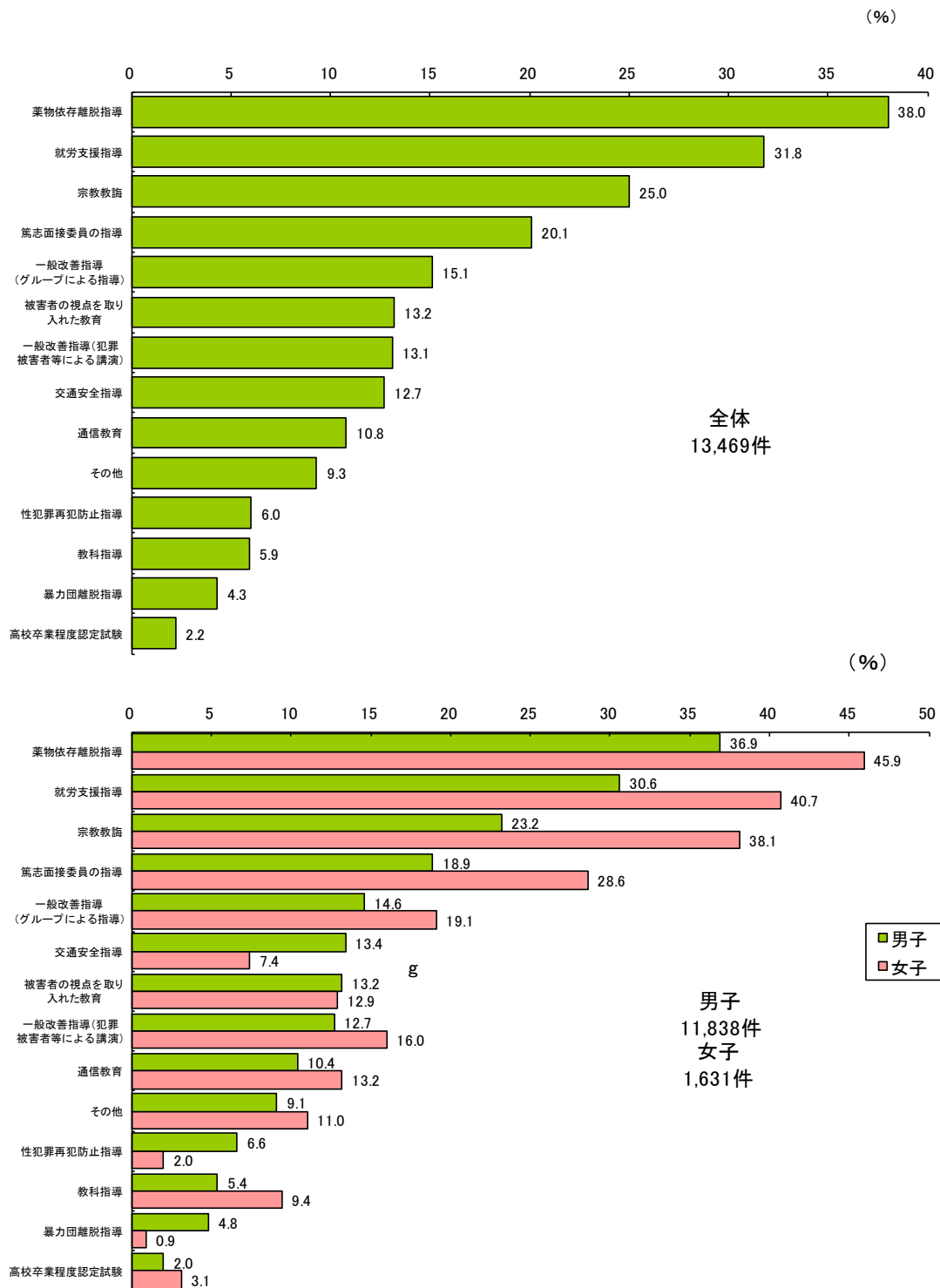


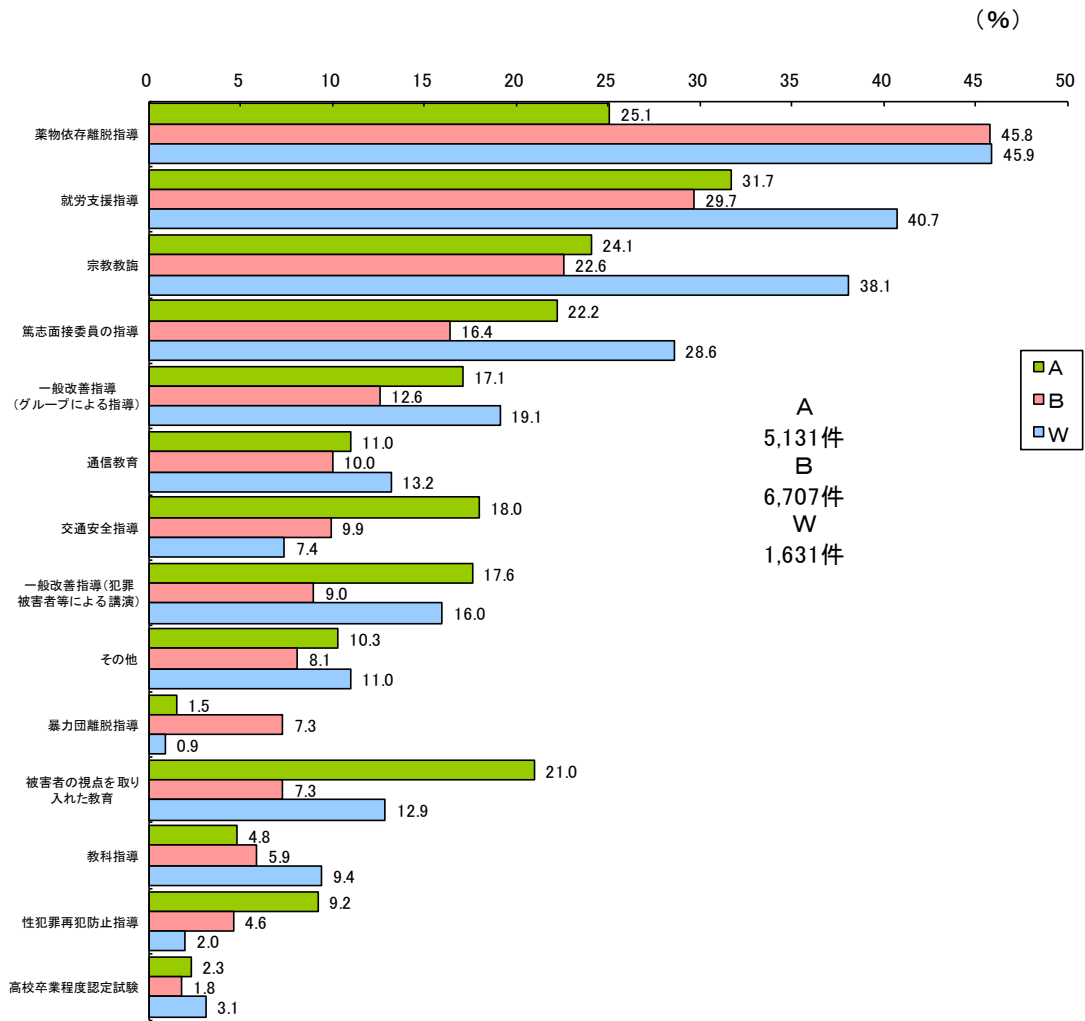
受けた就労支援のうち、一番に役に立ったものについて質問したところ、各指標とも特に突出した回答はなかった。

10. 教育関係

(1) 各種の教育（改善指導等）のうち、あなたが受けたものはどれですか。

【すべて選択】

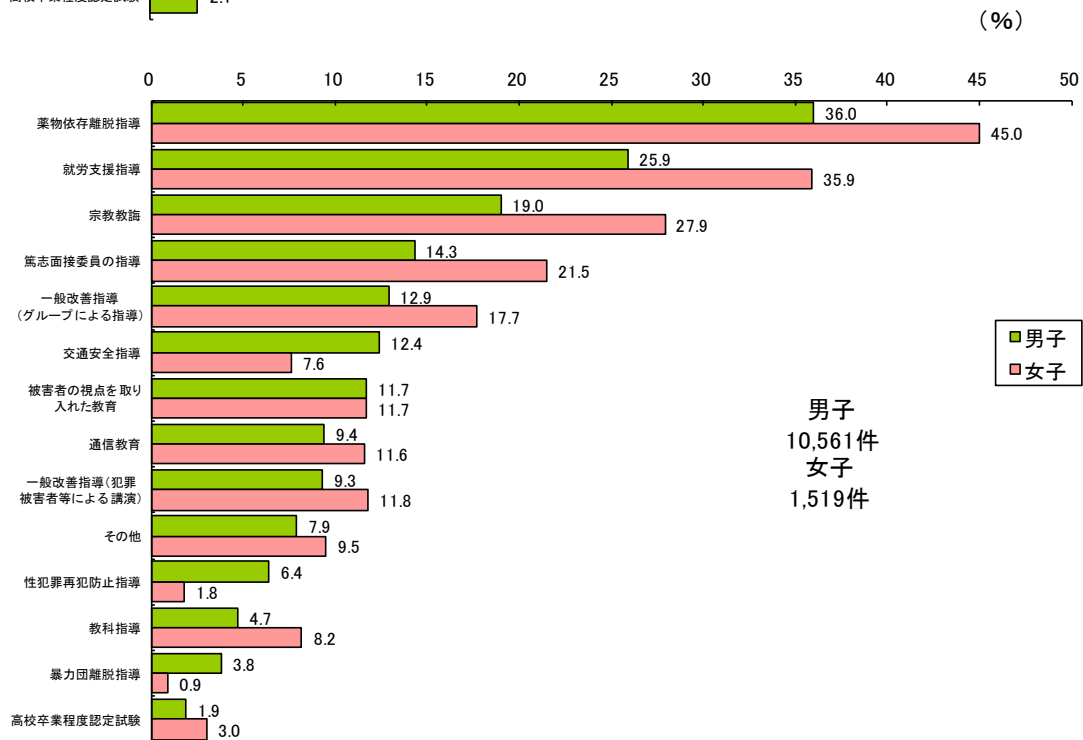
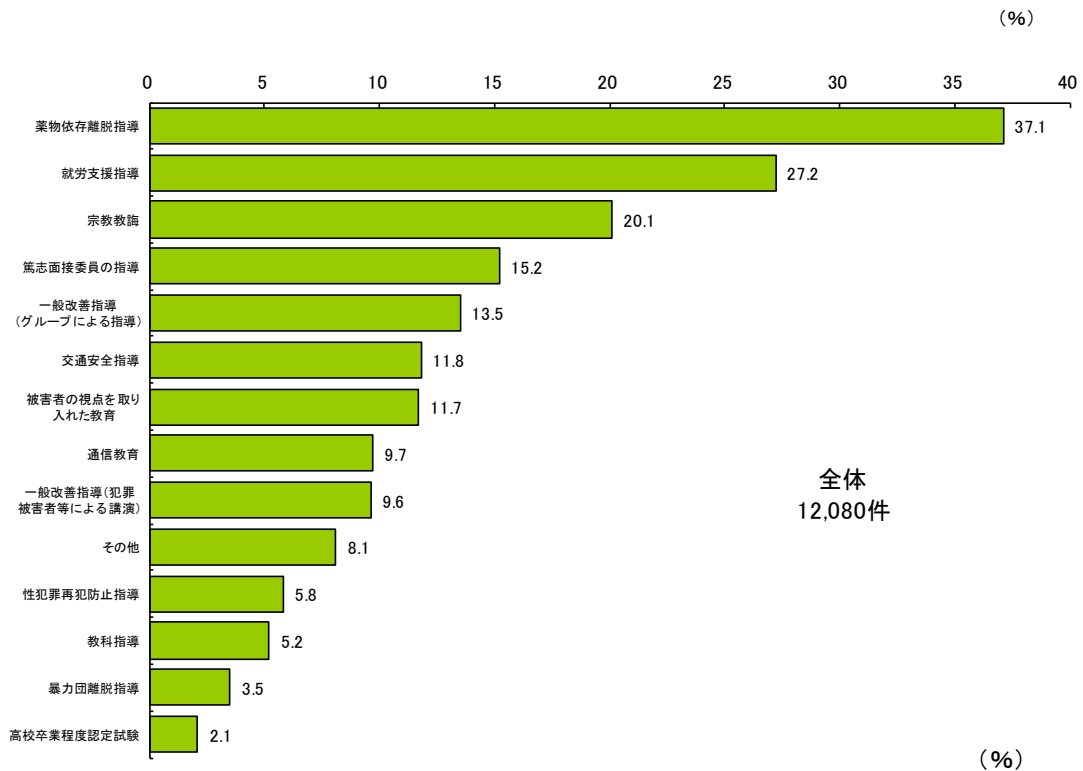


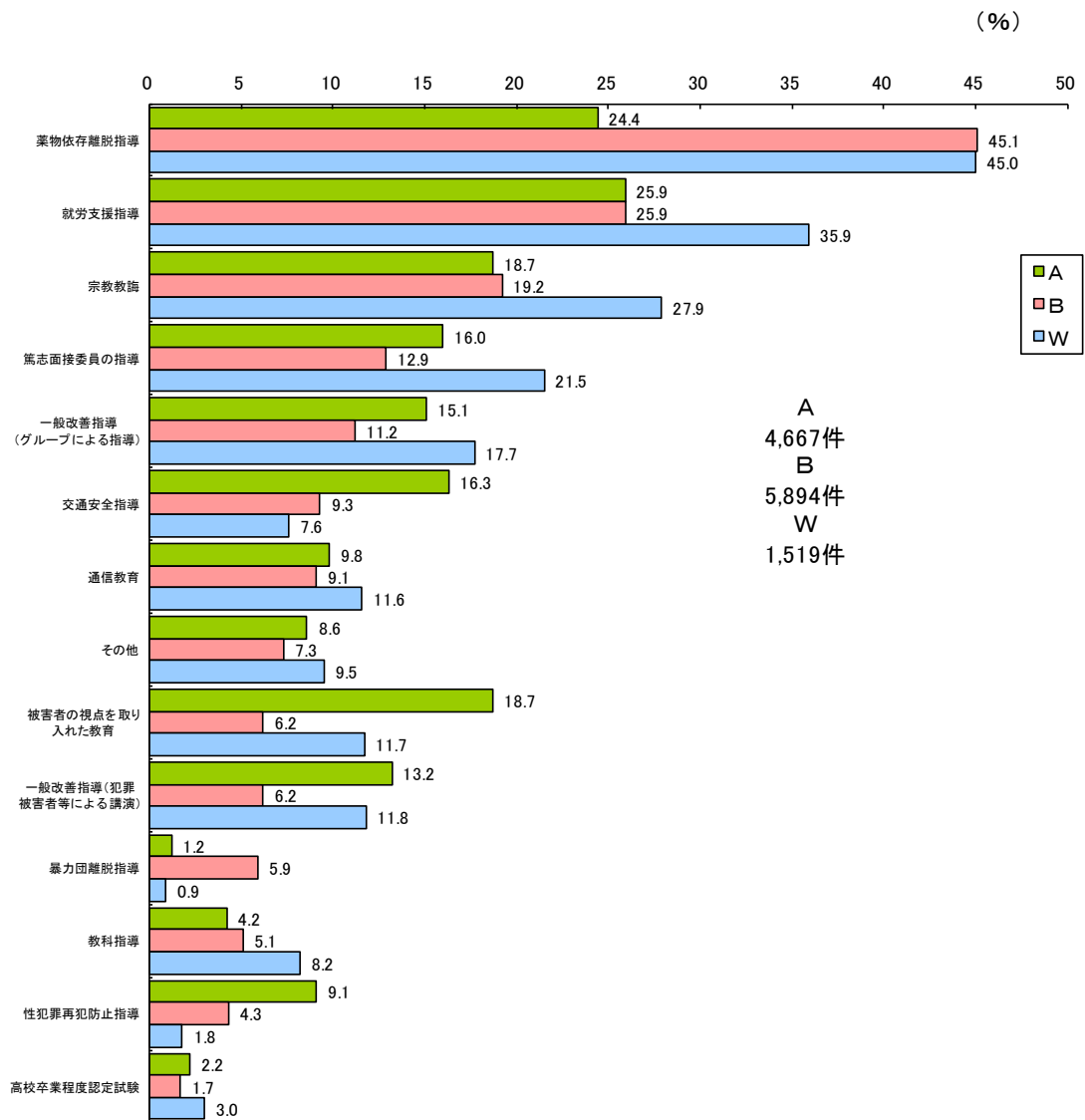


各種の教育(改善指導等)のうち、受けたものを質問したところ、「薬物依存離脱指導」が最も多いが、男女別で見た場合、男子が36.9%、女子が45.9%と女子が高い。ついで「就労支援指導」、「宗教教誨」と続く。

※性犯罪再犯防止指導及び暴力団離脱指導を受けたと回答している女子が若干いるが、同指導については、女子には実施していない。

(2) (1)で「受けた」と答えた教育（改善指導等）のうち、あなたが役に立ったと思ったものはどれですか。【すべて選択】

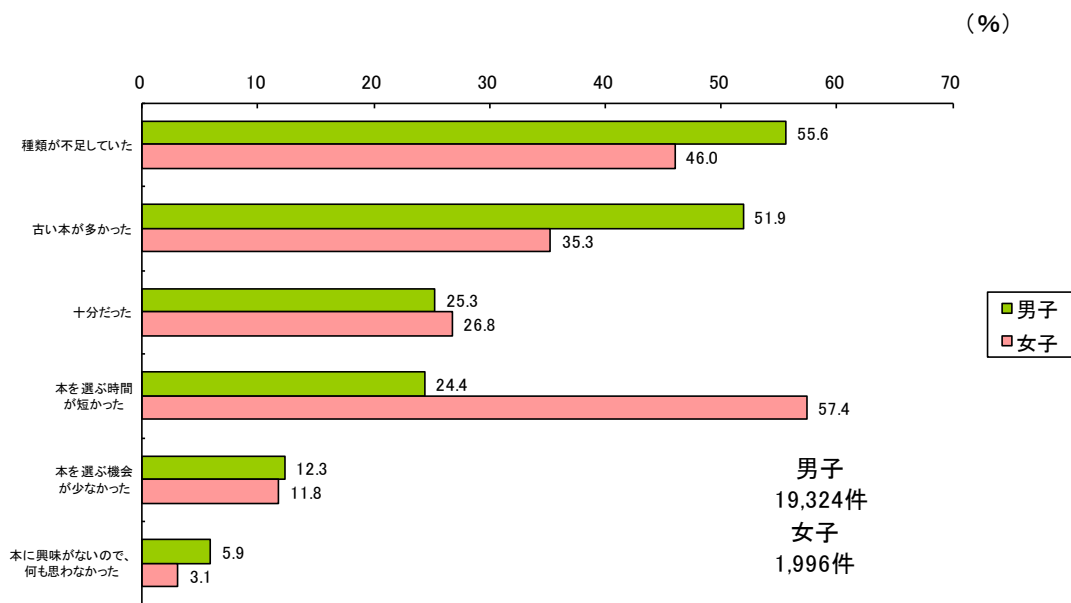
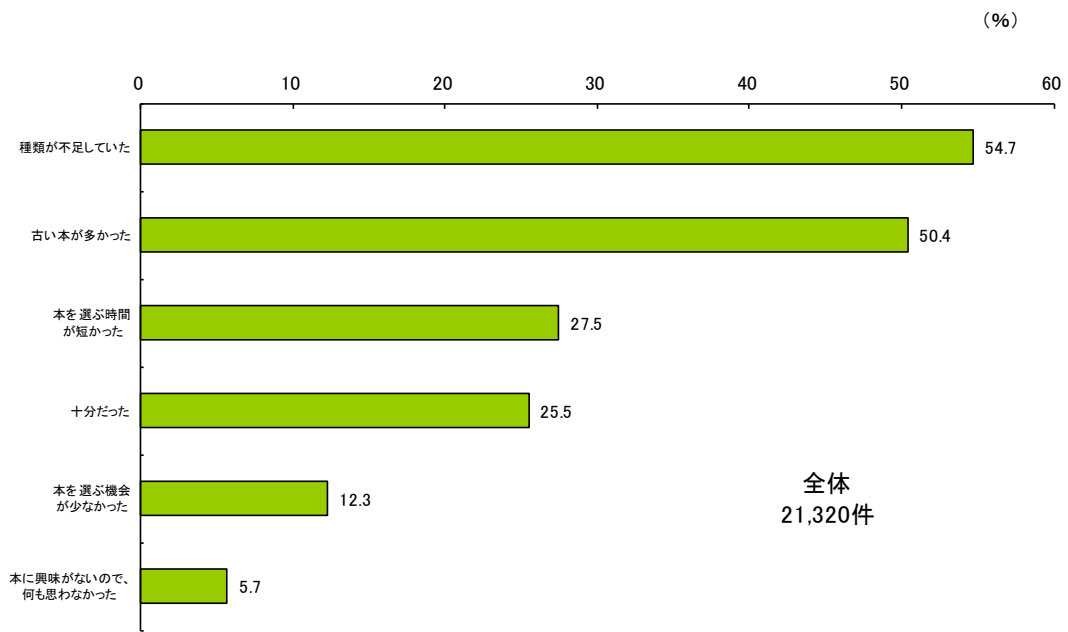




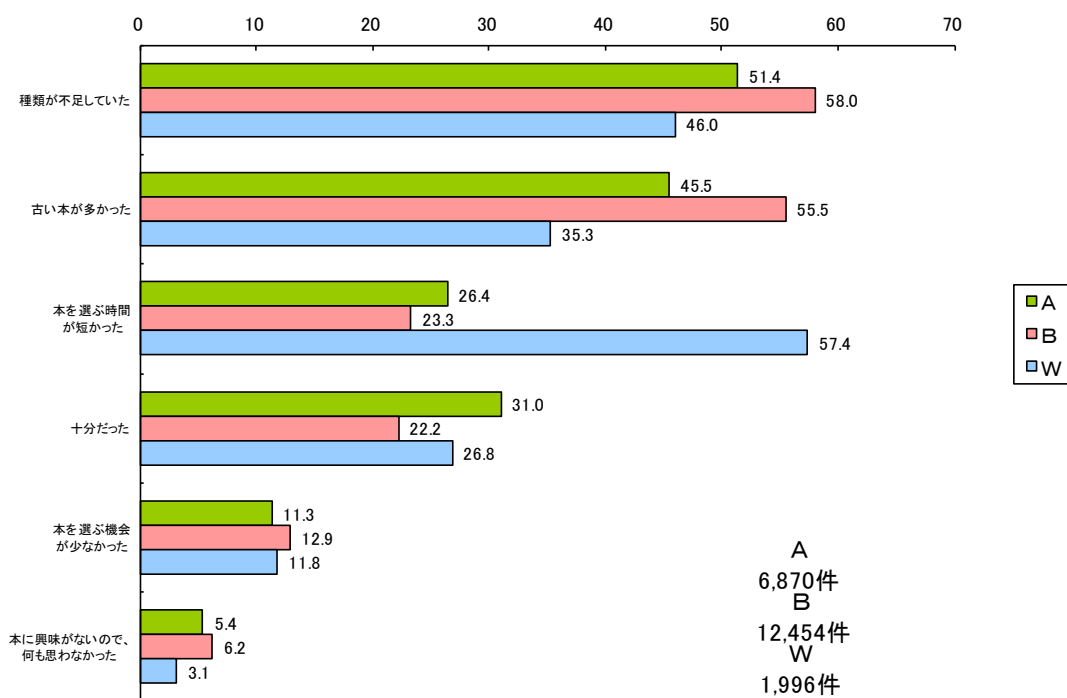
各種の教育（改善指導等）のうち、役に立ったと思ったものを質問したところ、「薬物依存離脱指導」が最も多いが、男女別で見た場合、男子が36.0%、女子が45.0%と女子が高い。ついで「就労支援指導」、「宗教教誨」と続く。ほぼ「受けた」教育の結果と近似している。

※性犯罪再犯防止指導及び暴力団離脱指導を役に立ったと回答している女子が若干いるが、同指導については、女子には実施していない。

(3)図書（官本）について,どのように感じましたか。【2つ選択】



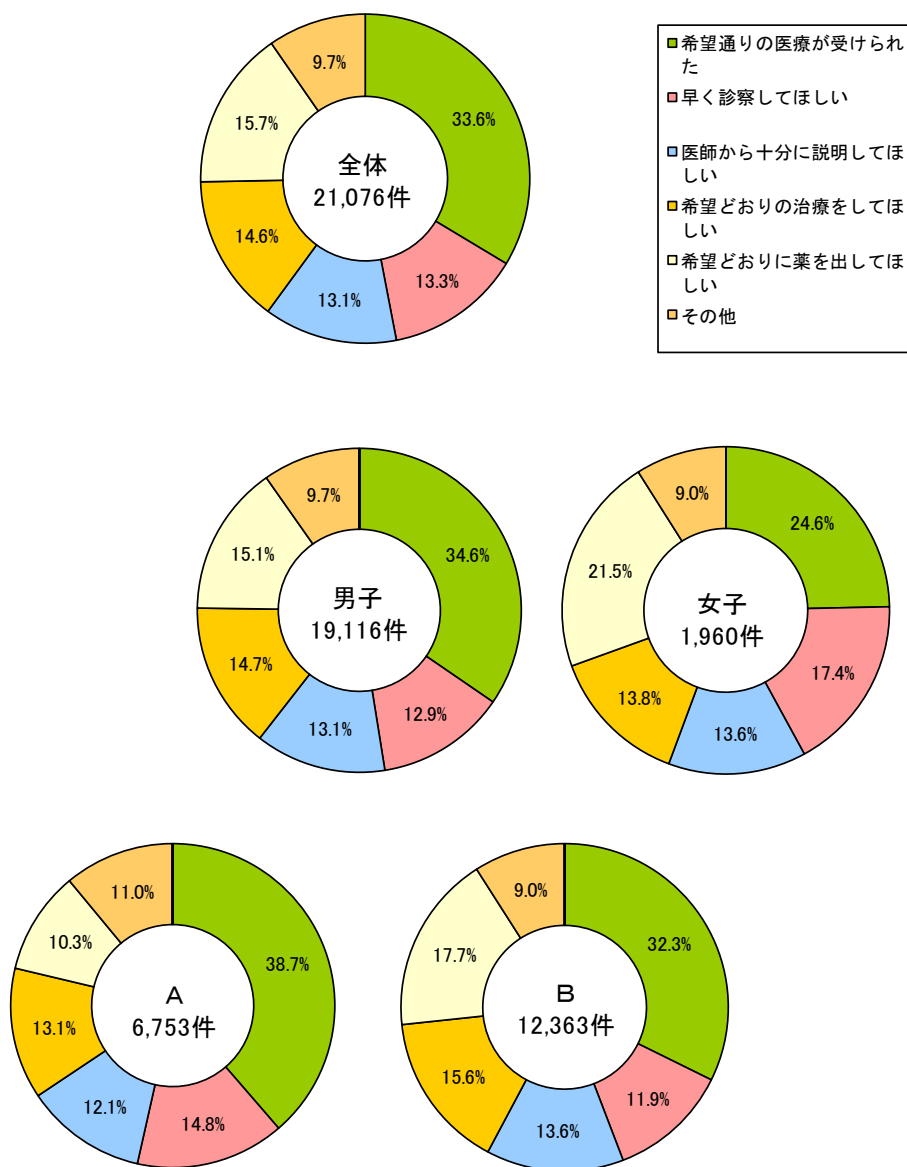
(%)



各種の教育（改善指導等）のうち、図書（官本）について質問したところ、「種類の不足」が各指標とも 50%前後を占めたが、女子の「本を選ぶ時間が短かった」の比率が高い。

1 1. 医療関係

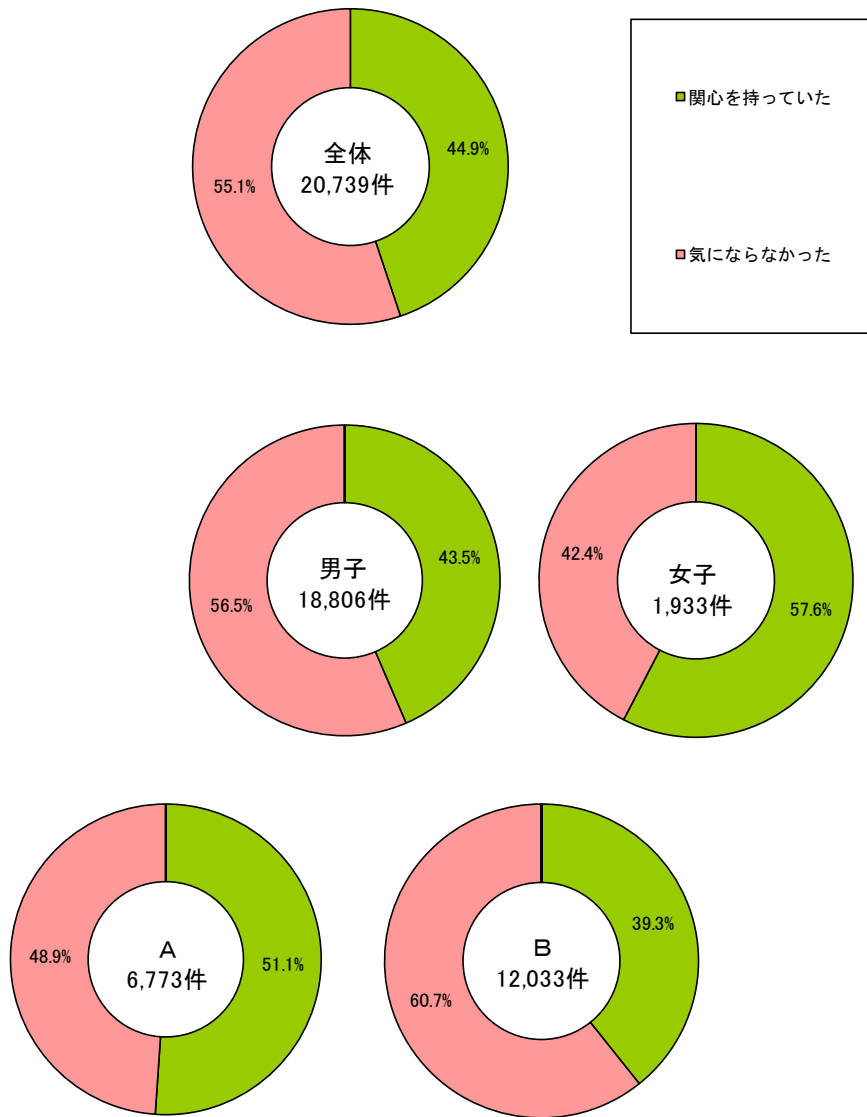
施設内の医療（診察）について、どのように思いますか。【1つ選択】



施設内の医療（診察）について質問したところ、「希望どおりの医療が受けられた」との回答が、男子は34.6%に対し、女子は24.6%である。

1 2. 制限区分

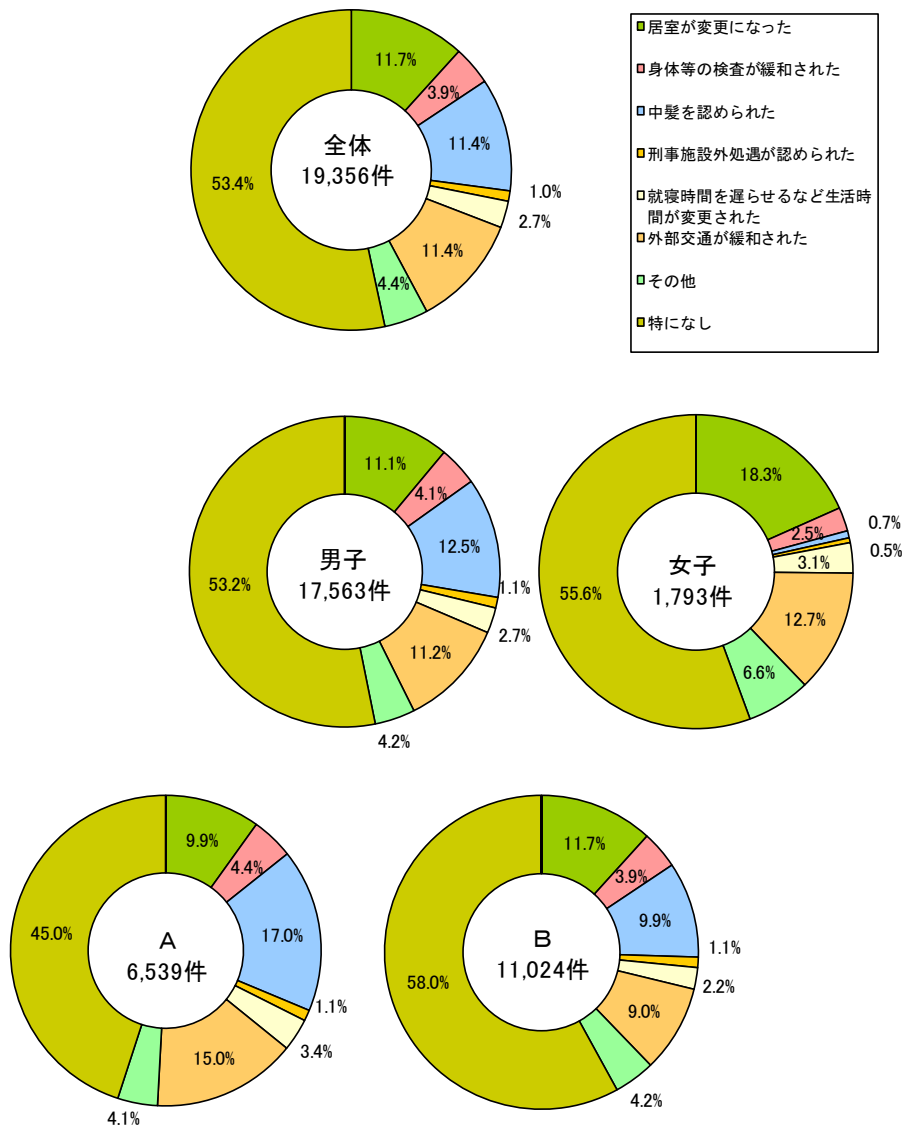
(1) 制限区分（第〇種）について、関心を持っていましたか。【1つ選択】



制限区分（第〇種）についての関心度合いを質問したところ、「関心を持っていた」との回答は、女子が男子を上回った。

(2) あなたの制限区分に応じて変更となった処遇の中で一番良かったと思うもの。

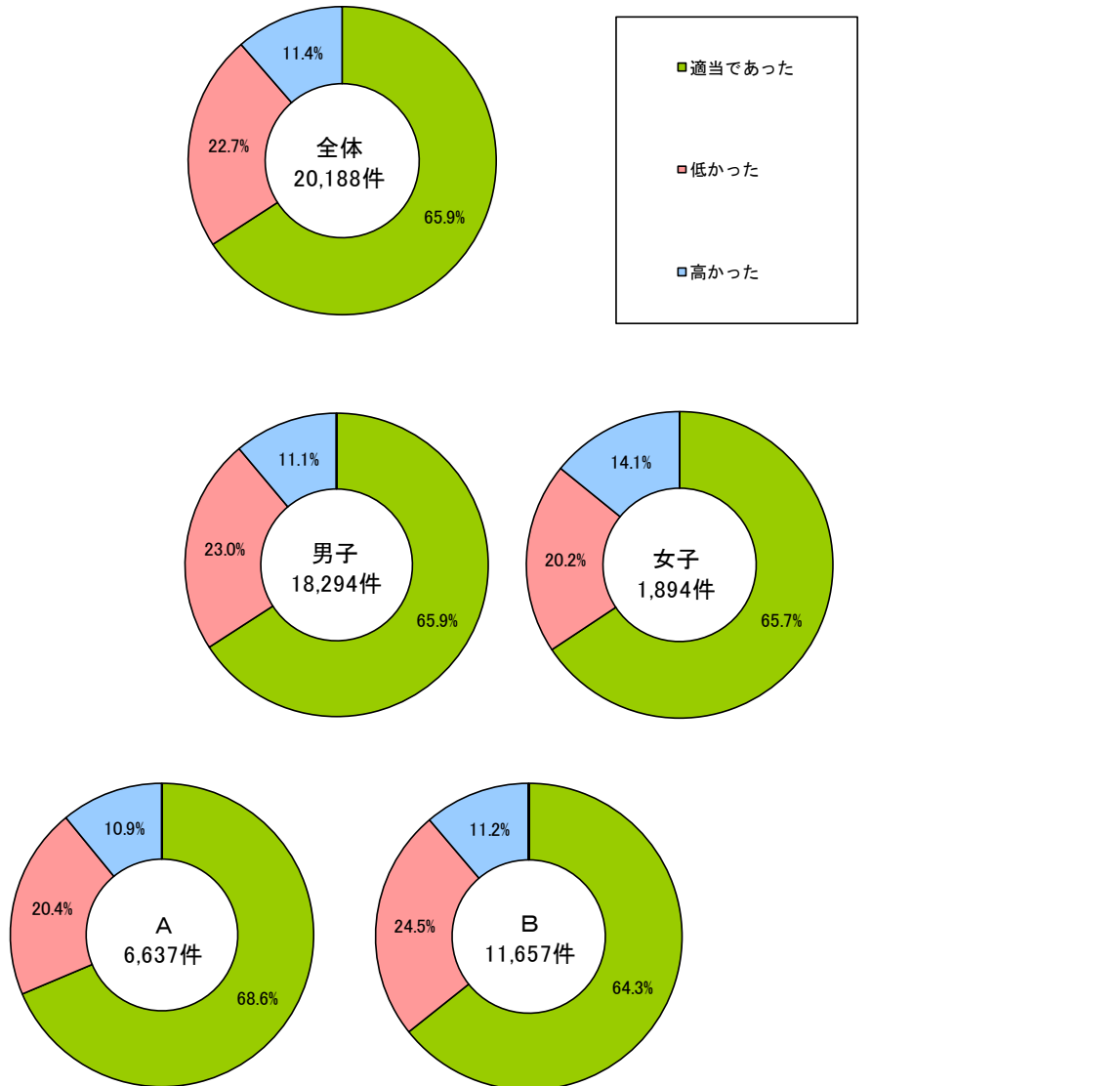
【1つ選択】



制限区分に応じて変更になった処遇で一番良かったものを質問したところ、各指標とも「特になし」が半数以上を占めているが、「居室が変更になった」と「外部交通が緩和された」の回答が多かった。また、男子では「中髪が認められた」も比較的多かった。

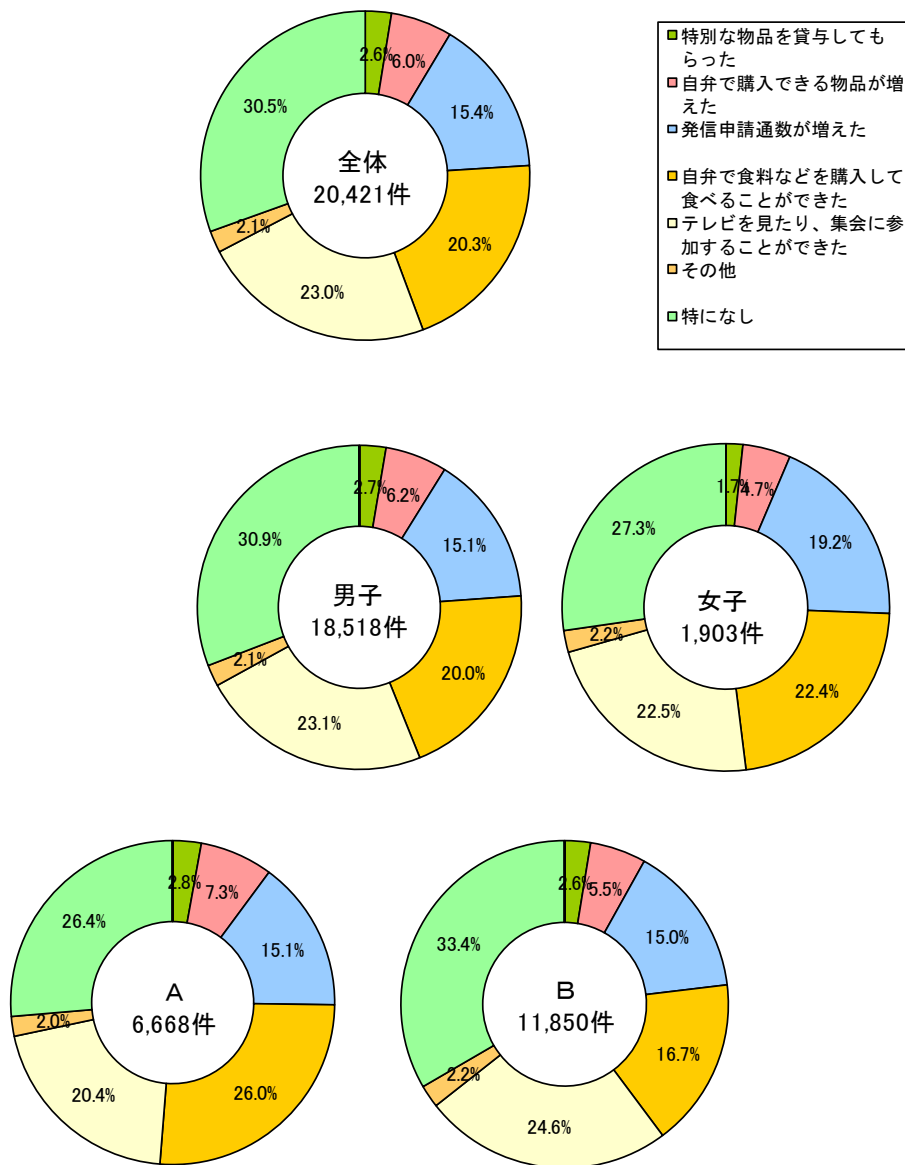
1.3. 優遇区分

(1) 受刑態度によって指定されていた優遇区分（第○類）について、どのように感じましたか。【1つ選択】



優遇区分（第○種）への感じ方を質問したところ、各指標とも65%前後が「適当であった」であるが、「低かった」の回答も各指標とも20%前後でほぼ同程度。

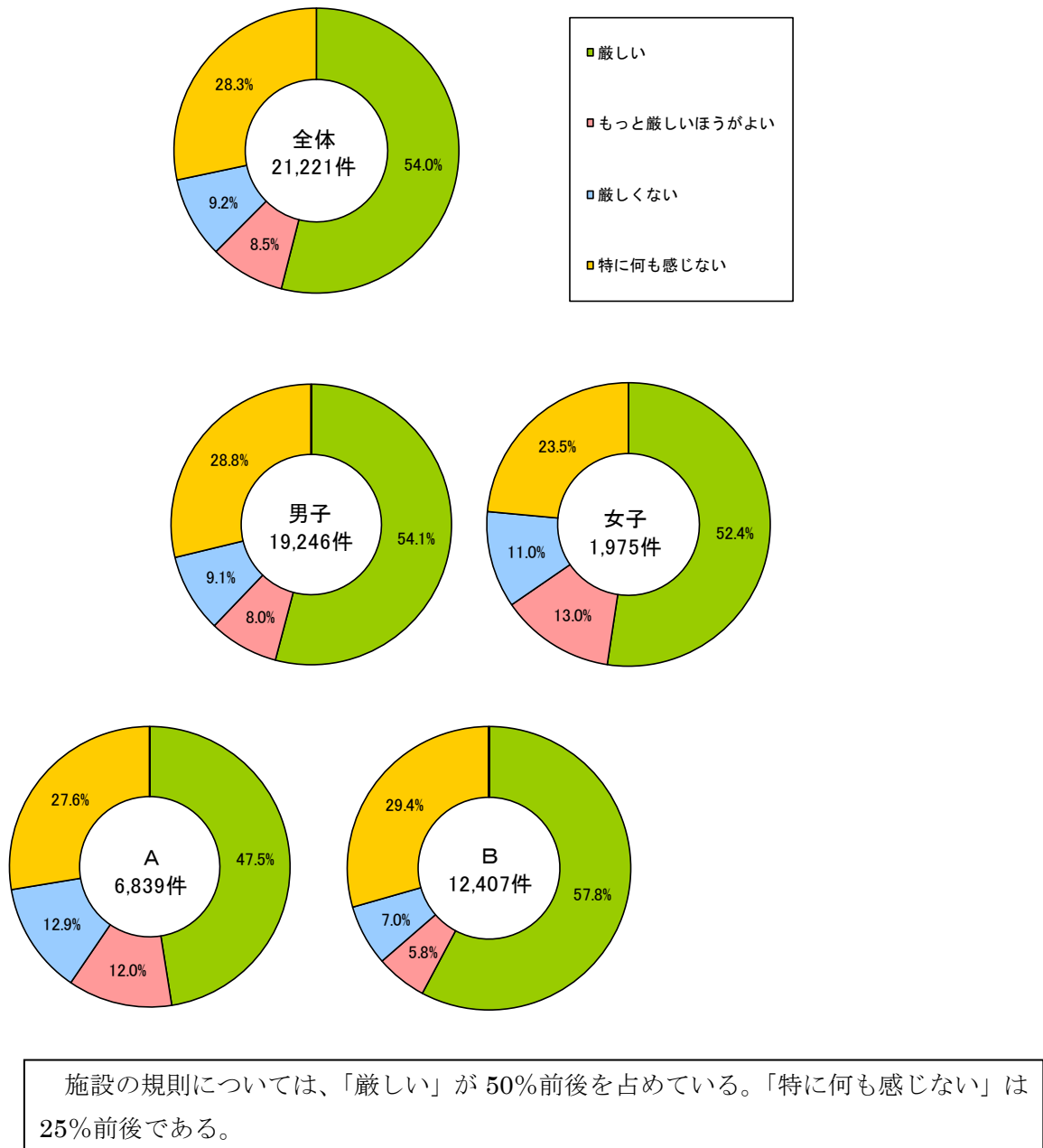
(2) 優遇措置として一番良かったと思うもの。【1つ選択】



優遇措置として一番良かったものについて質問したところ、「特になし」の比率は高いものの、各指標とも「発信申請通数が増えた」「自弁で食料などを購入して食べる事ができた」「テレビを見たり、集会に参加することができた」の回答が多かった。

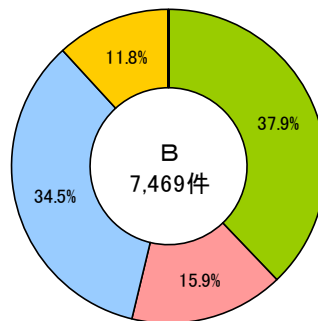
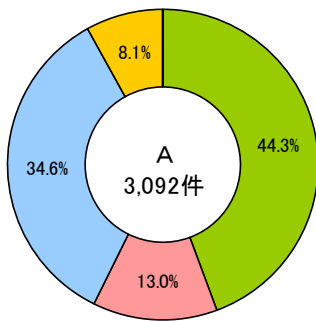
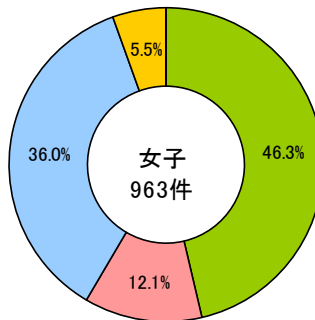
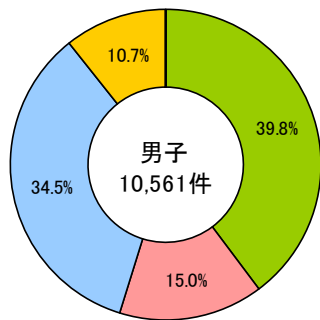
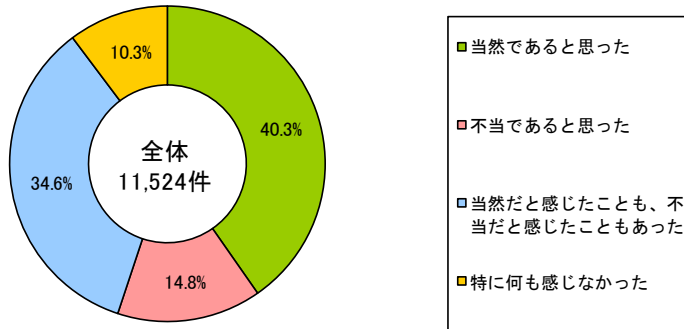
1 4. 施設の規則

【1つ選択】



15. 懲罰関係

(1)懲罰についてどう感じましたか。【1つ選択】

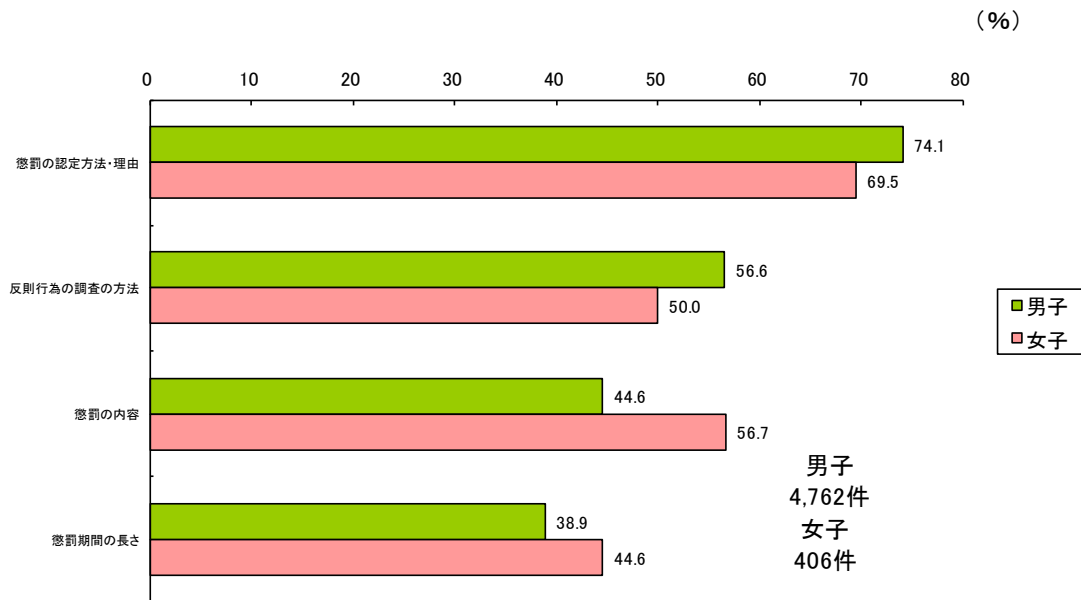
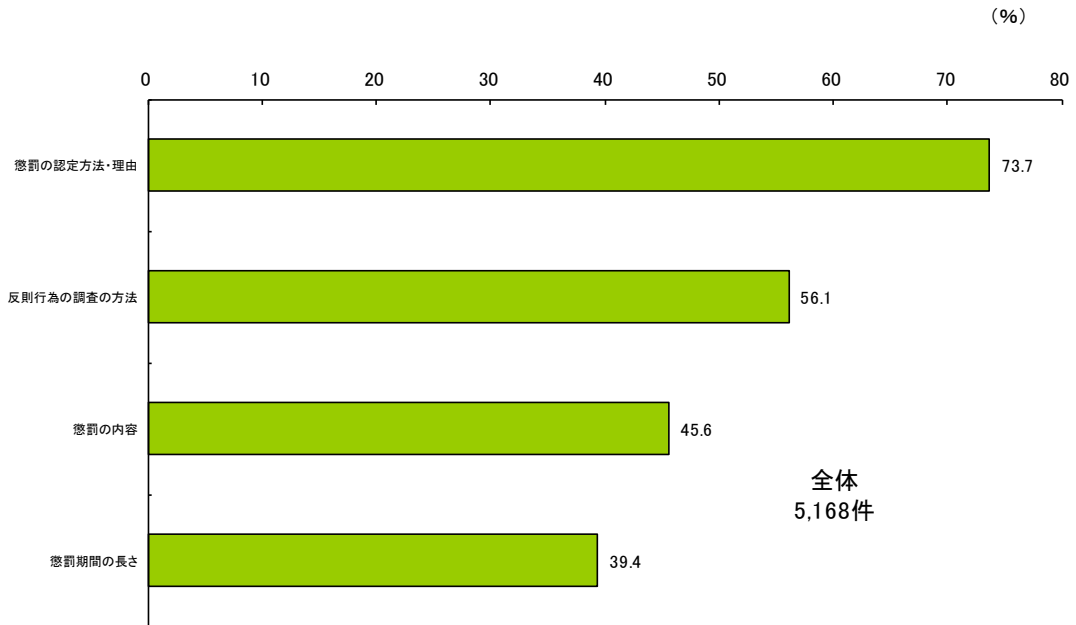


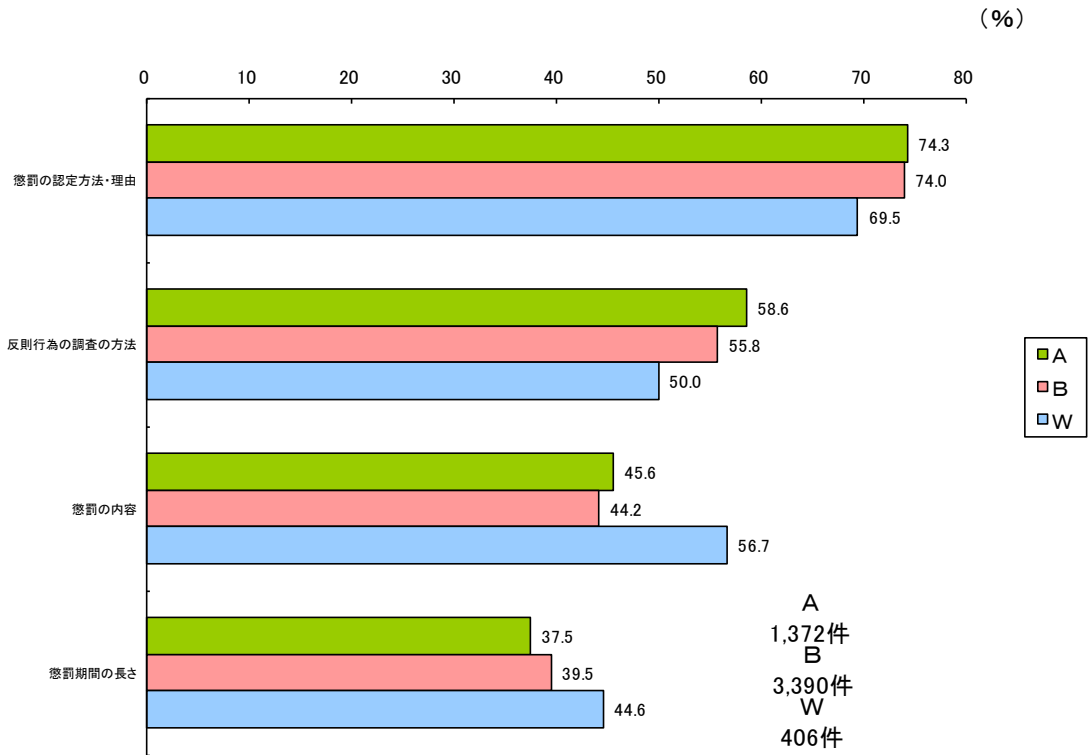
懲罰については、女子と比較して男子のほうが、「当然であると思った」の回答が少なく、「不当であると思った」の回答が若干多い。

15. 懲罰関係

(2)(1)で「②不当であると思った。」又は「③当然だと感じたことも、不当だと感じたこともあった。」と答えた人に聞きます。不当だと思っている内容。

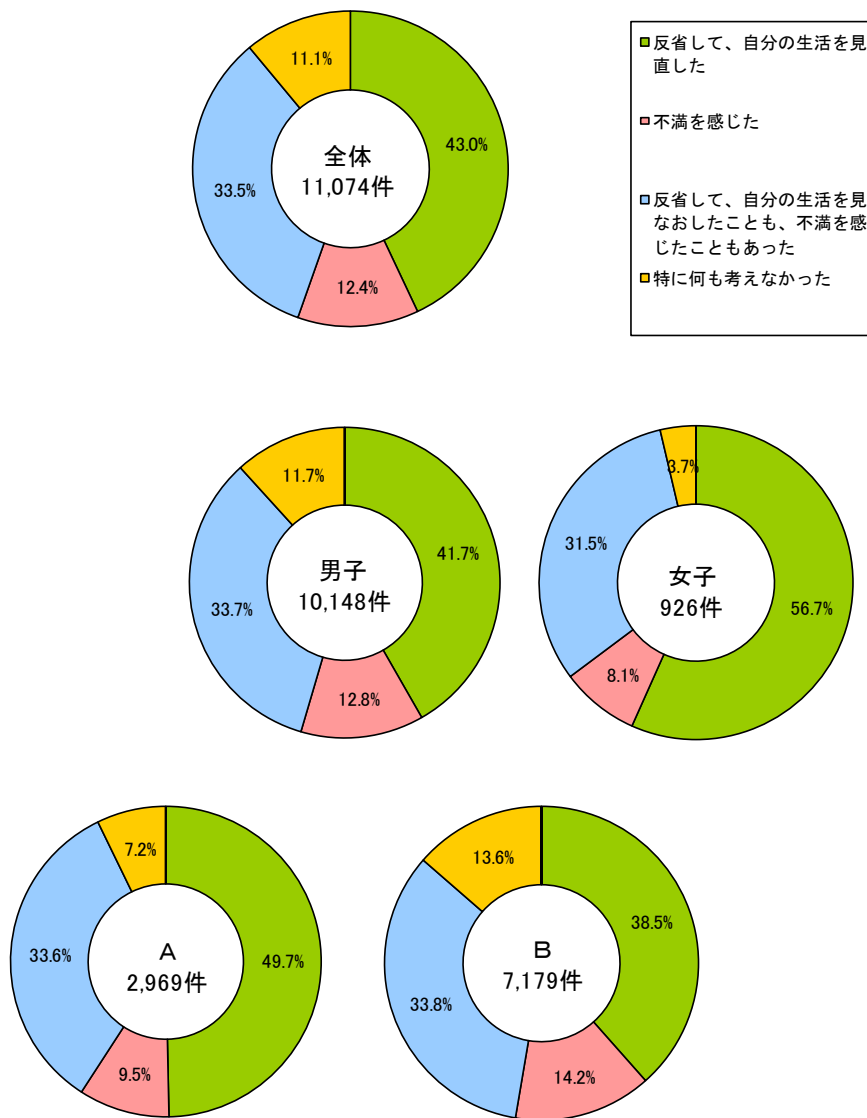
【すべて選択】





懲罰について不当に思った点は、「懲罰の内容」よりも「懲罰の認定方法・理由」と「反則行為の調査方法」の回答が多い。

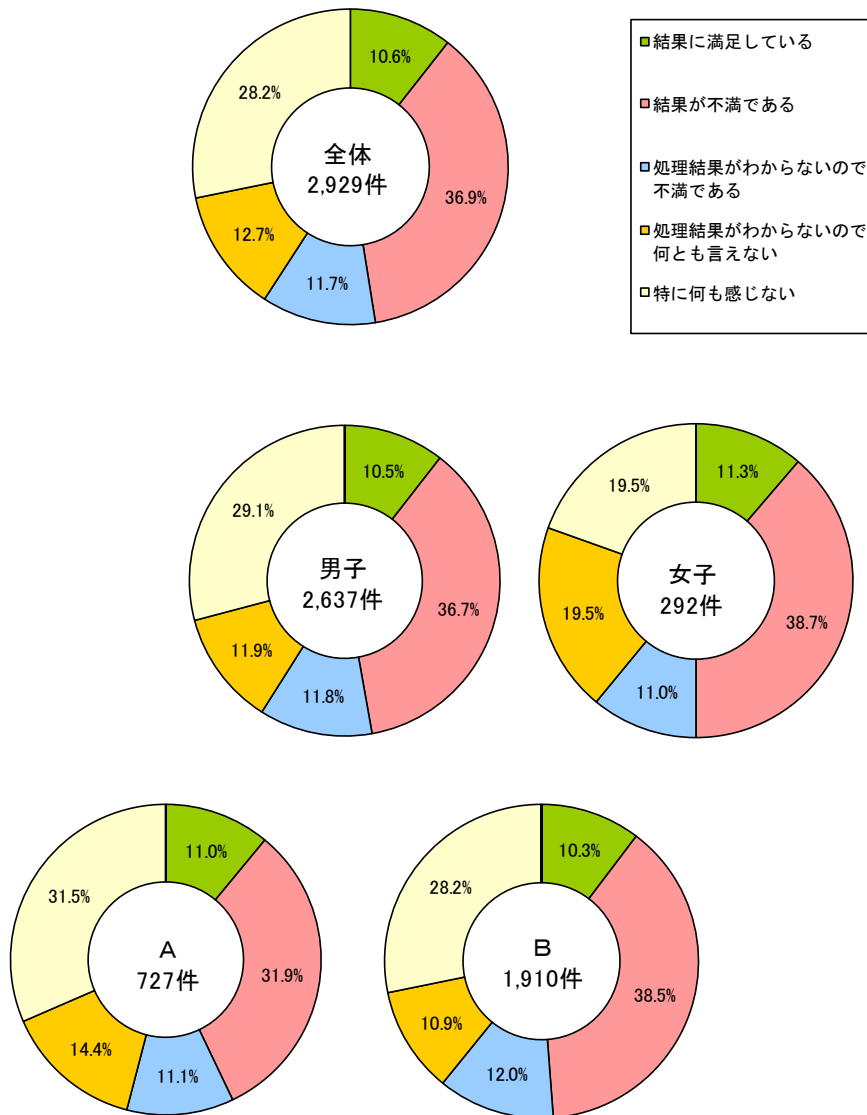
(3) 懲罰を受けて、どのように考えましたか。【1つ選択】



懲罰を受けて考えたことについては、男子と比較して女子のほうが「反省して、自分の生活を見直した」の回答が多い。

16. 不服申立関係

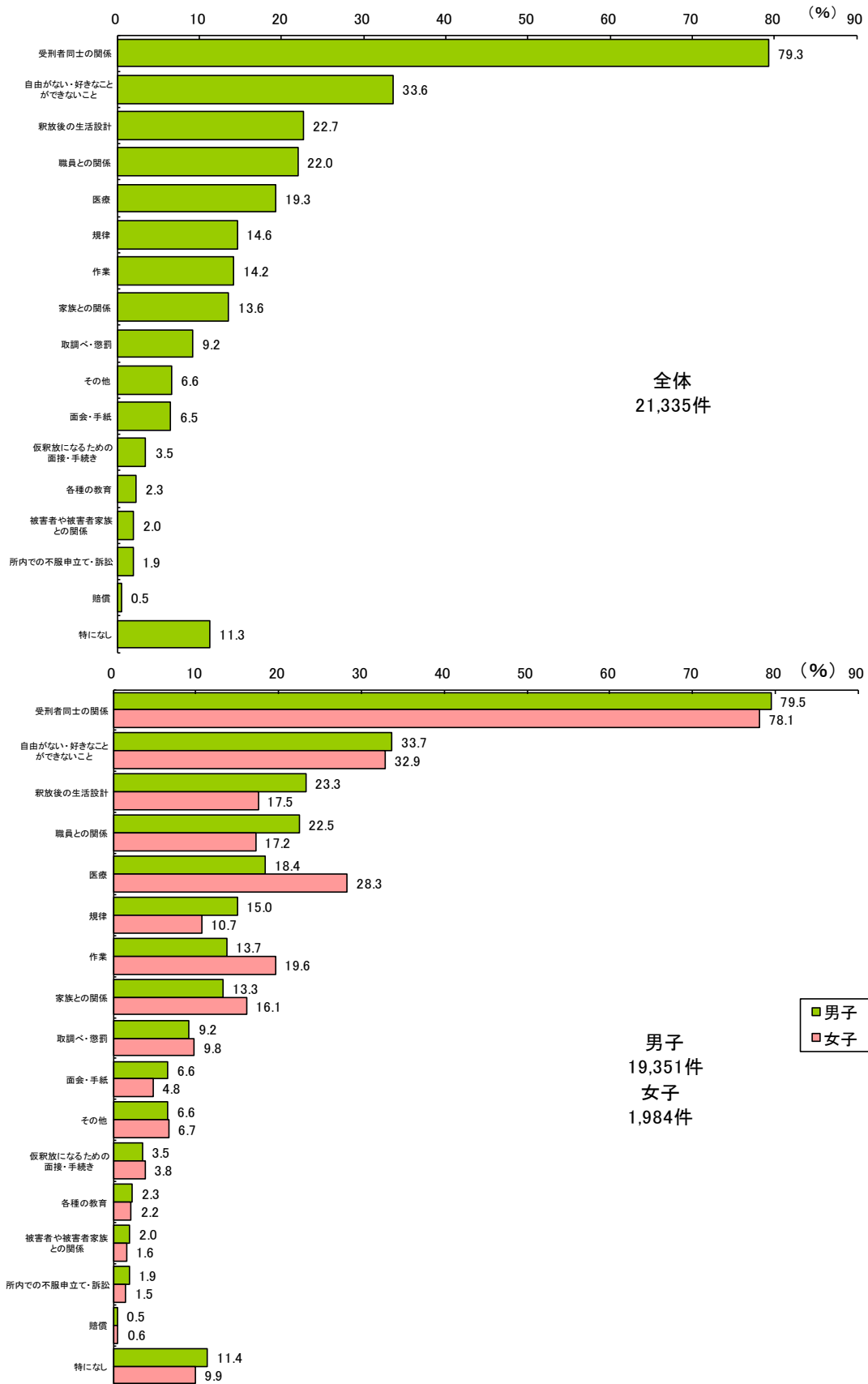
不服申立ての結果についてどう思っていますか。【1つ選択】



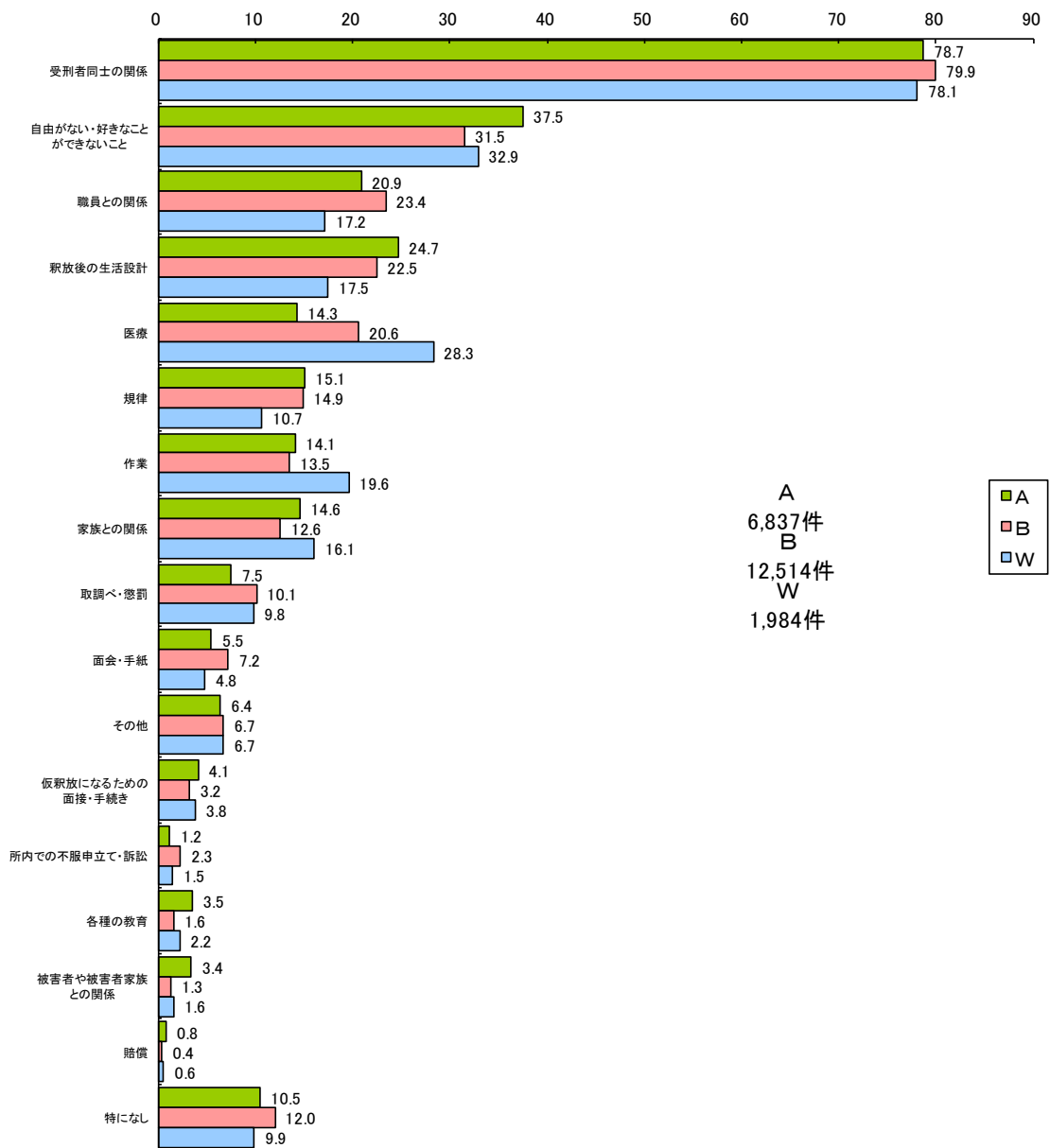
不服申立ての結果については、各指標とも、ほぼ半数が「結果が不満である」「処理結果がわからないので不満である」と不満に思っている。「特に何も感じない」の回答も多い。

17. 受刑生活関係

(1) 受刑生活で苦勞したと思うことはどれですか。【3つ選択】



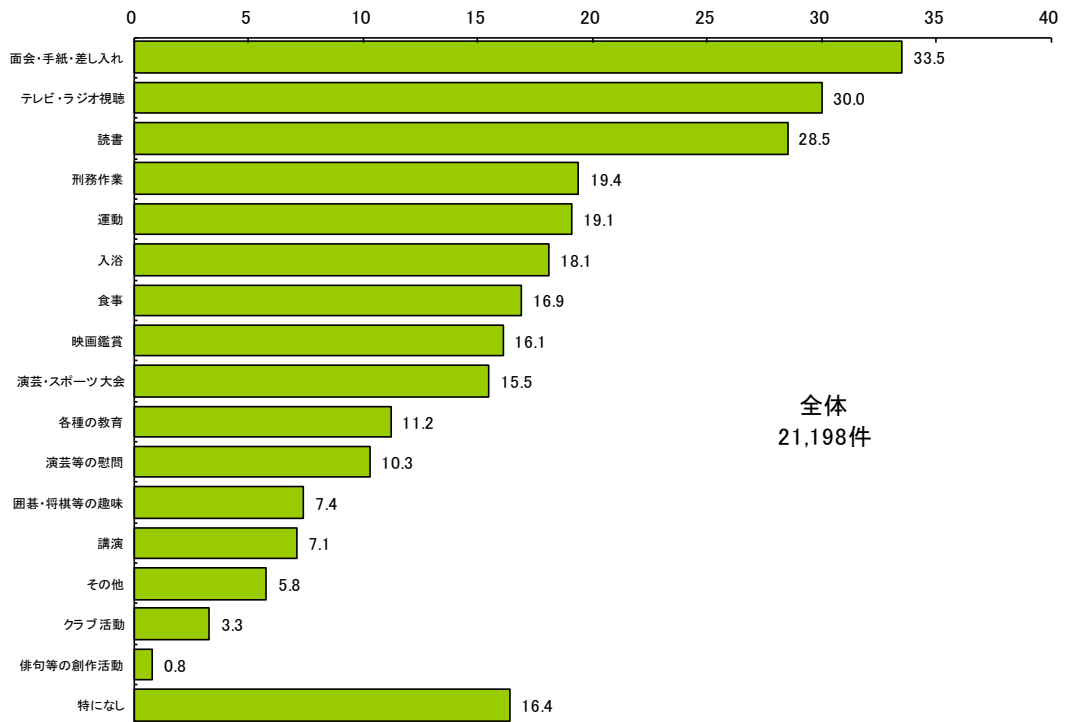
(%)



受刑生活で苦勞したと思うことについては、男女ともに「受刑者同士の関係」であり、次いで「自由がない・好きなことができない」であるが、次に多いのは、男子は「釈放後の生活設計」であるのに対し、女子は「医療」である。

(2) 受刑生活で良かったことはどれですか。【3つ選択】

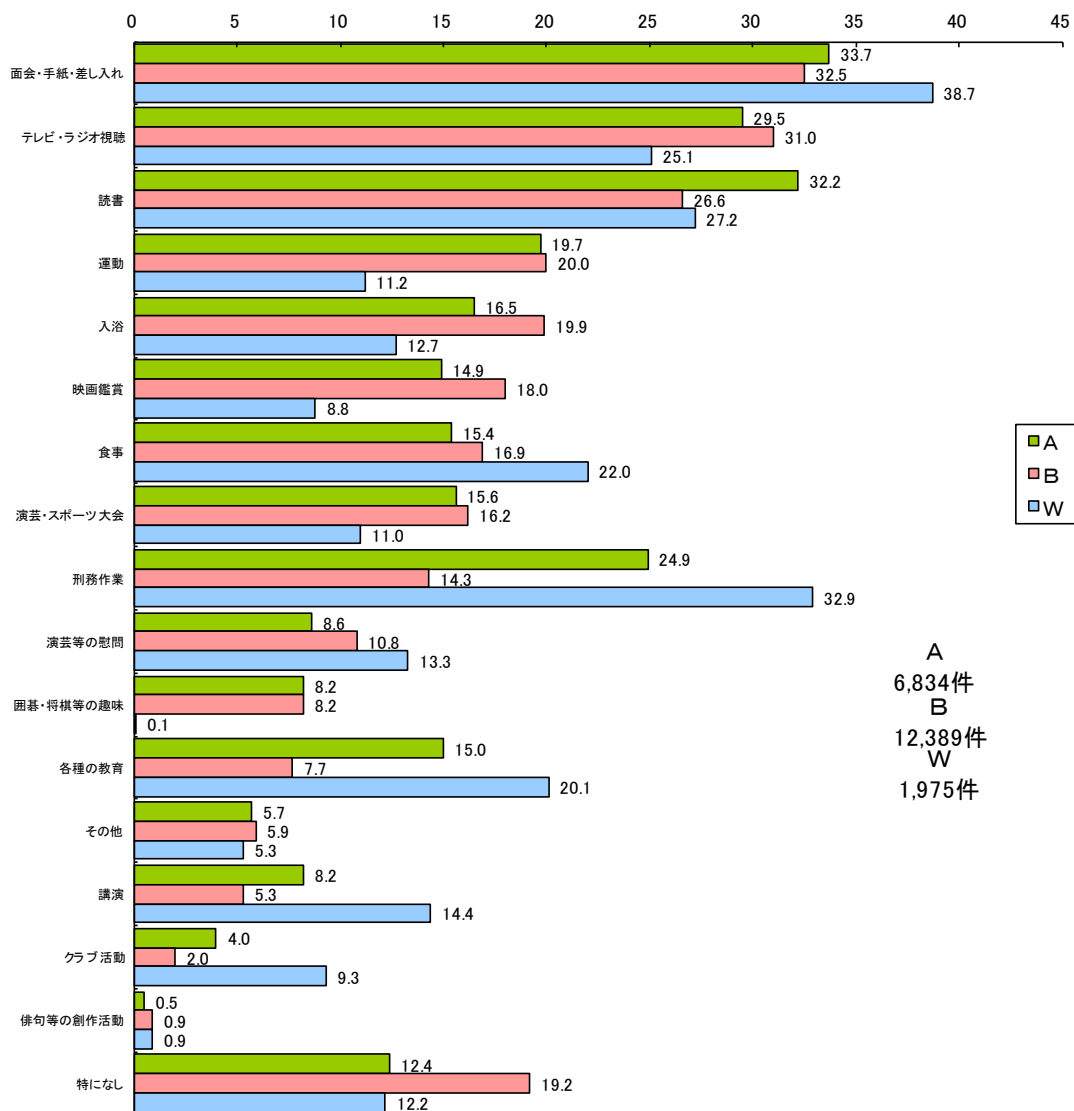
(%)



(%)

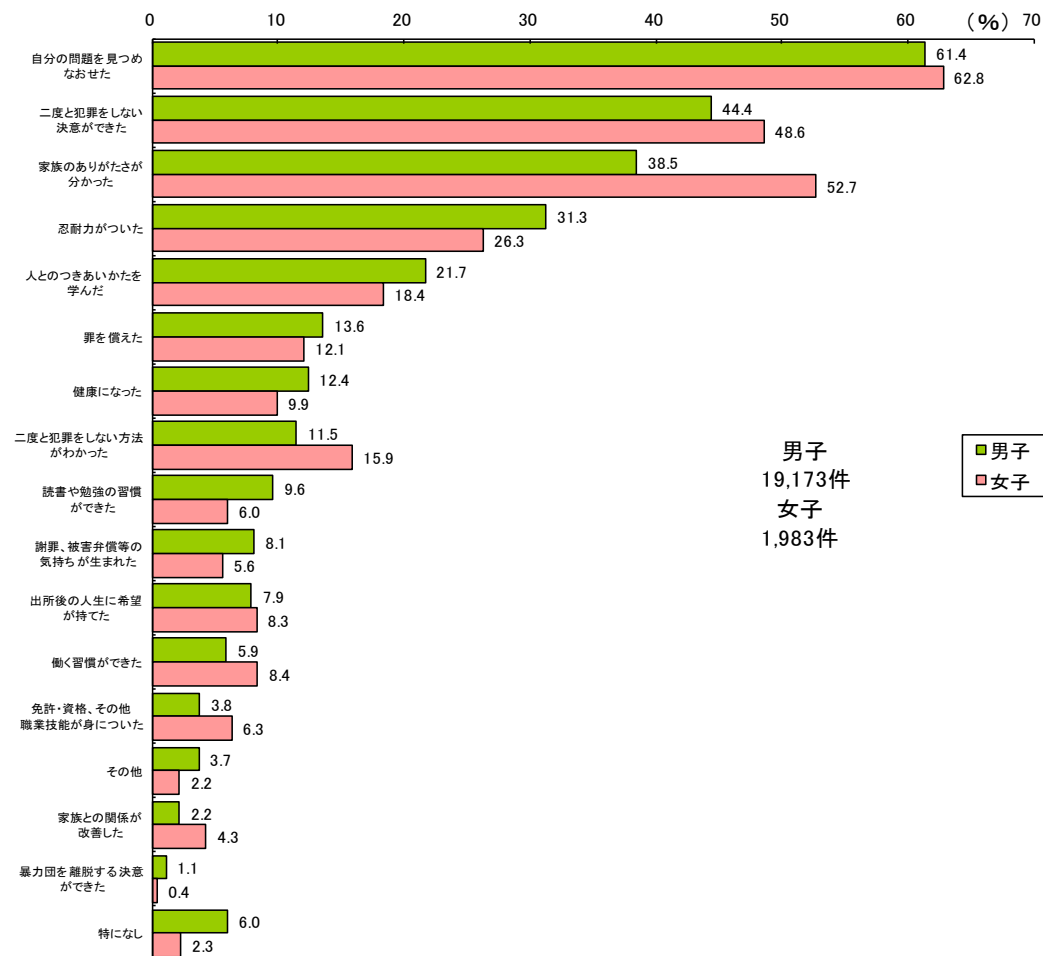
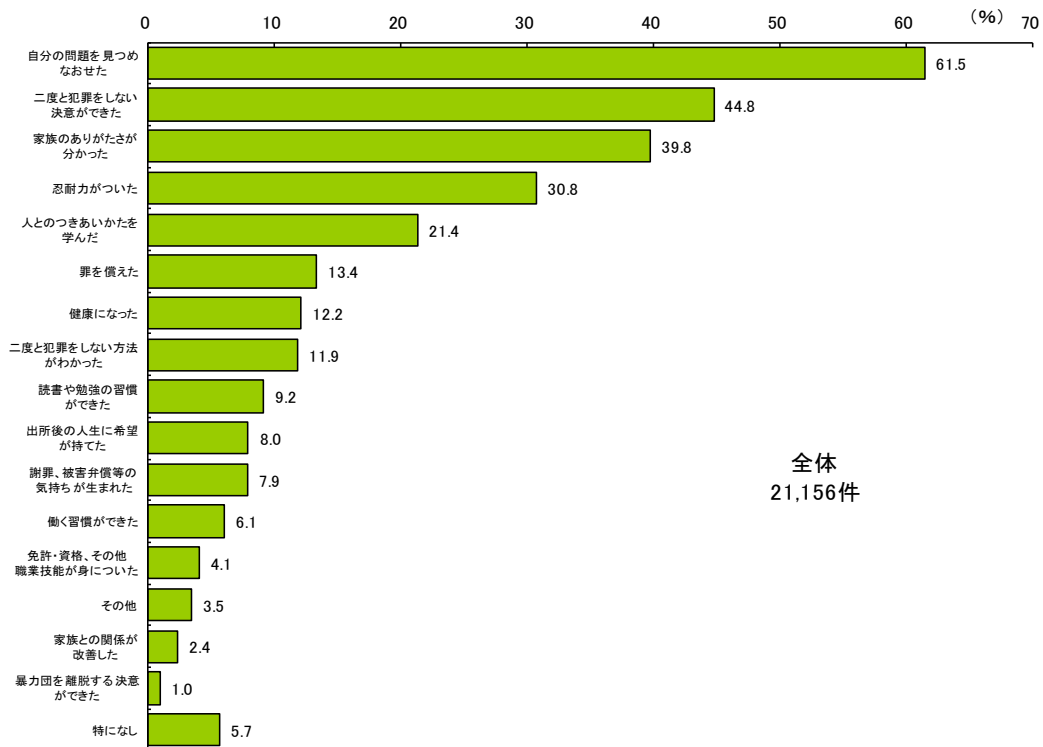


(%)

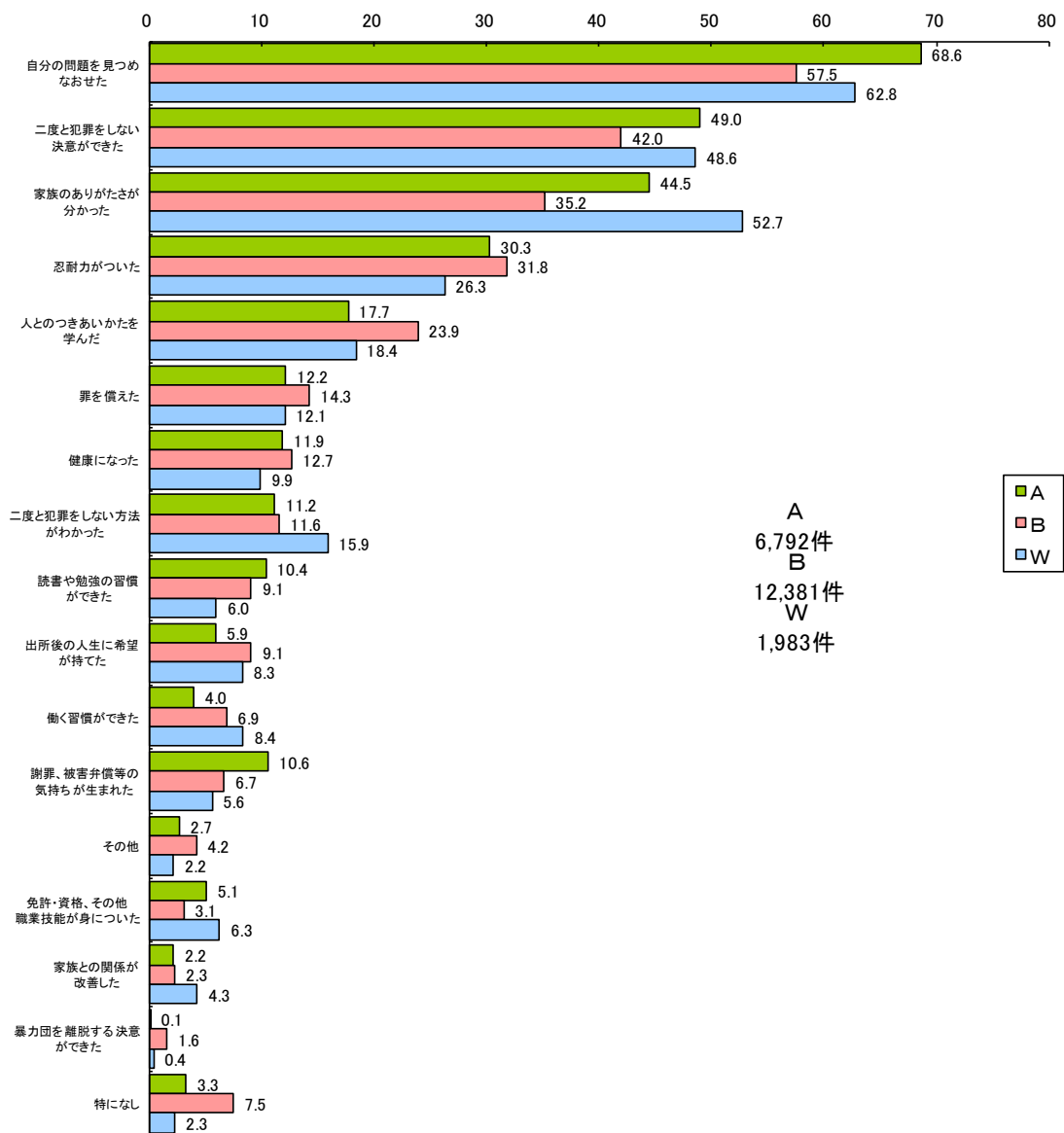


受刑生活で良かったと思うことについては、男女ともに「面会・手紙・差し入れ」であり、次いで男子は「テレビ・ラジオ視聴」、女子は「刑務作業」である。

(3) 今回の受刑生活で得られたものはどれですか。【3つ選択】



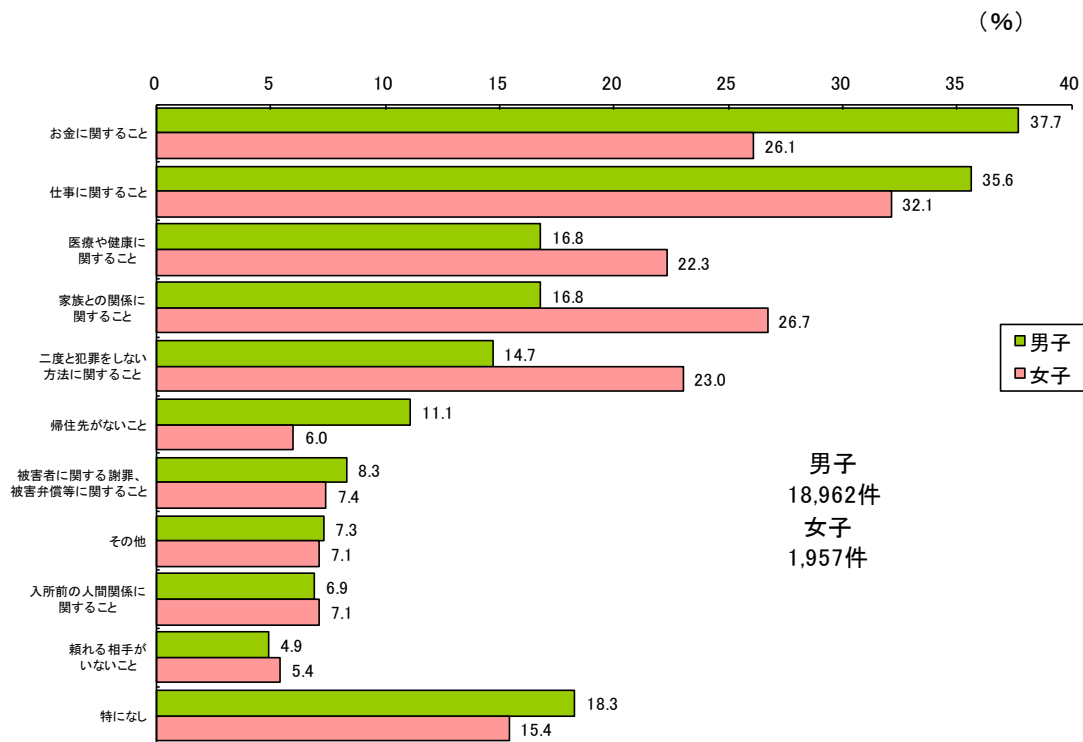
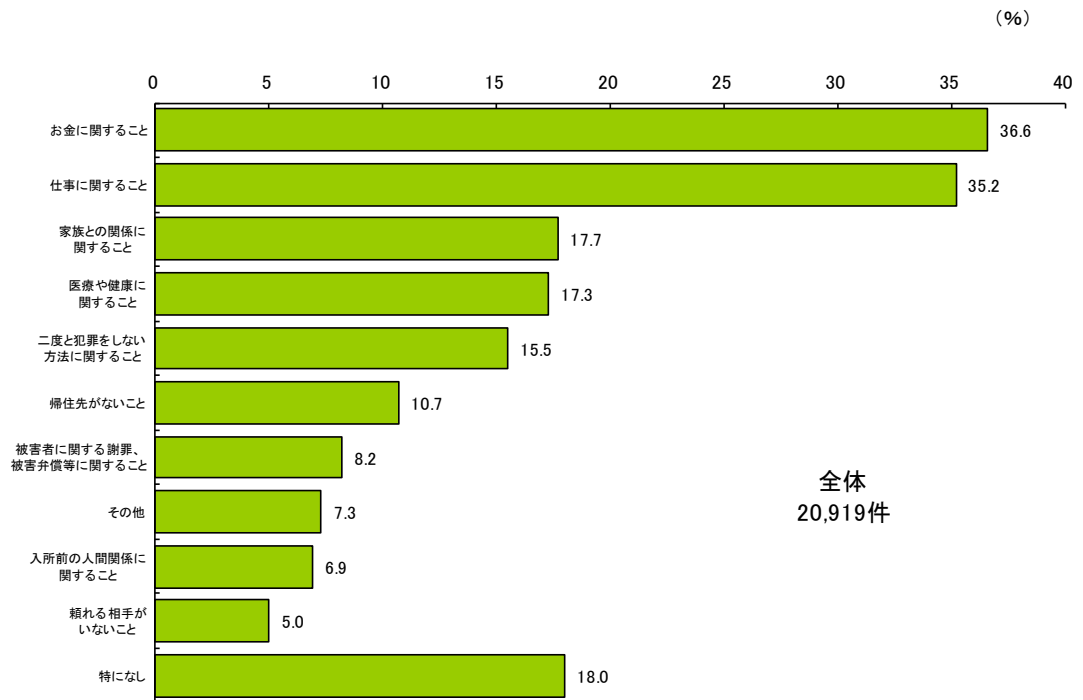
(%)



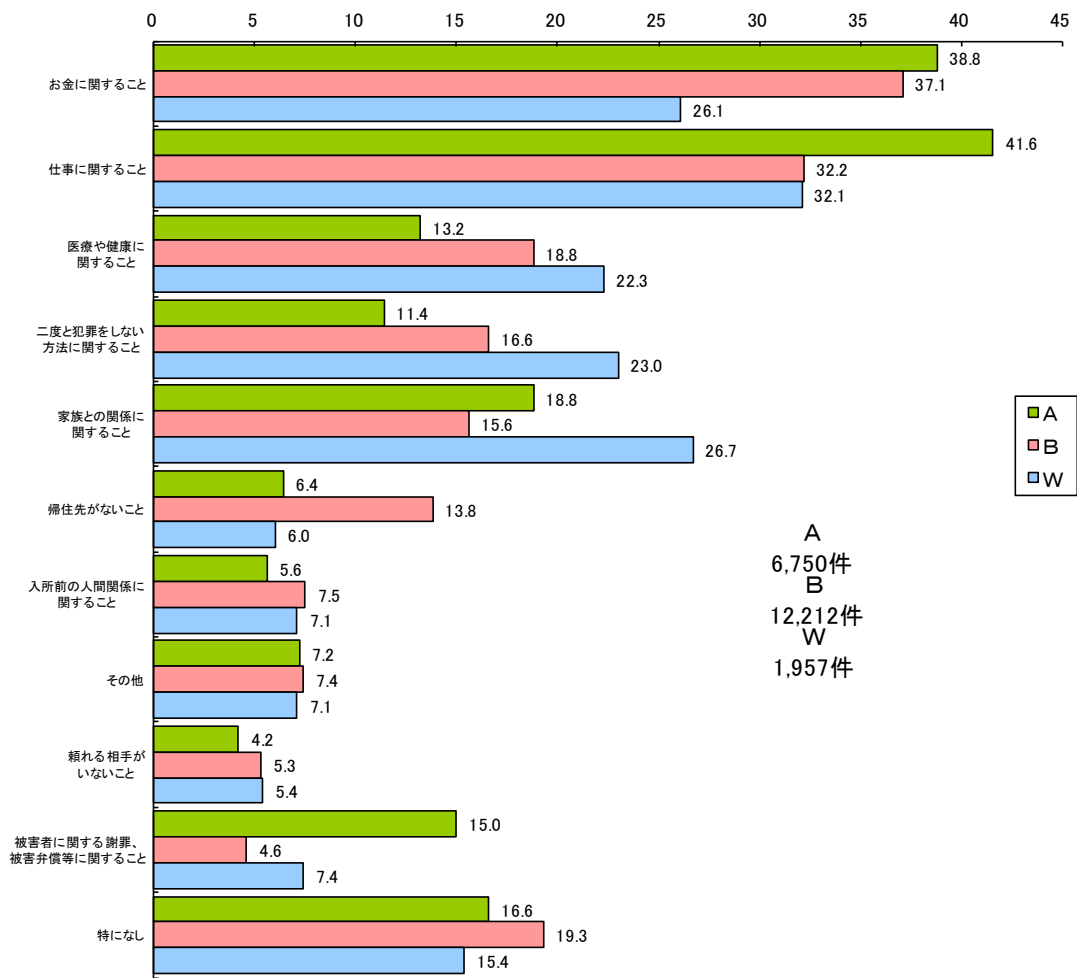
今回の受刑生活で得られたものは、男女とも「自分の問題を見つめなおせた」が最も多い。ついで男子は「二度と犯罪をしない決意ができた」であるが、女子は「家族のありがたさが分かった」である。

18. 出所後の生活

不安に感じていることはありますか。【2つ選択】



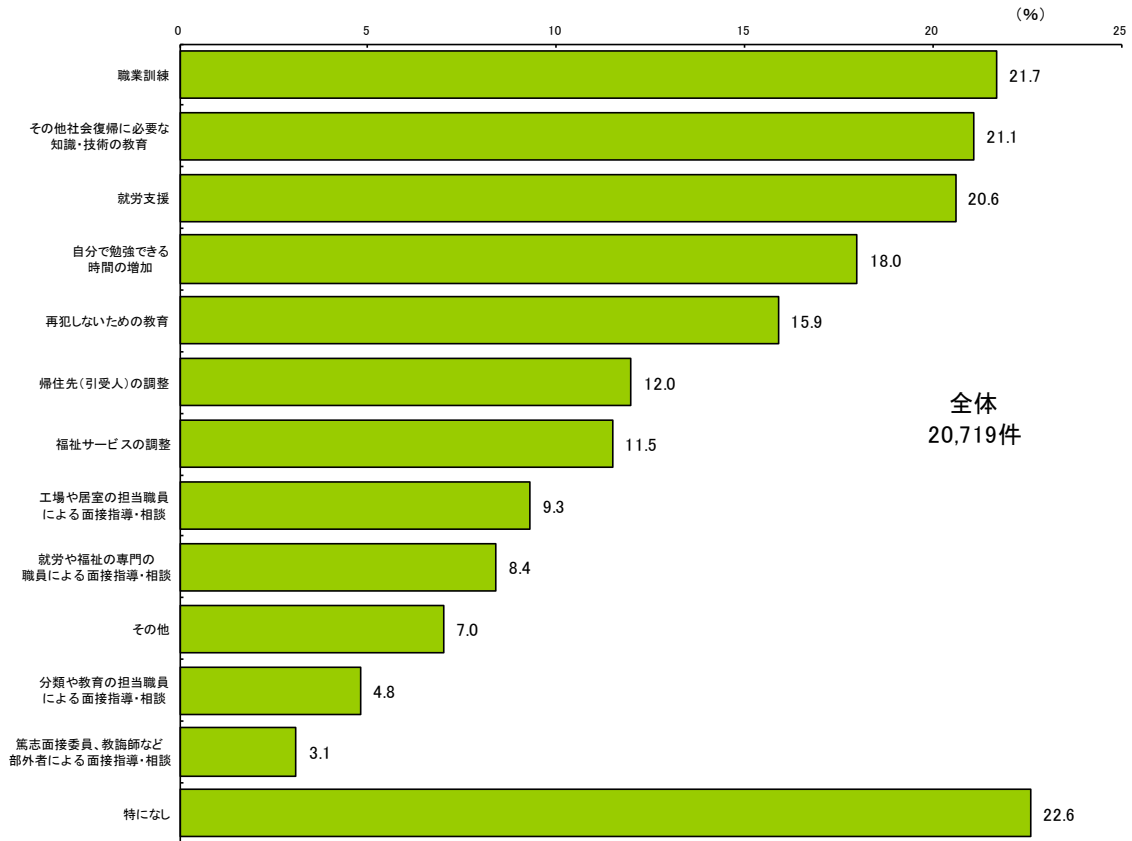
(%)

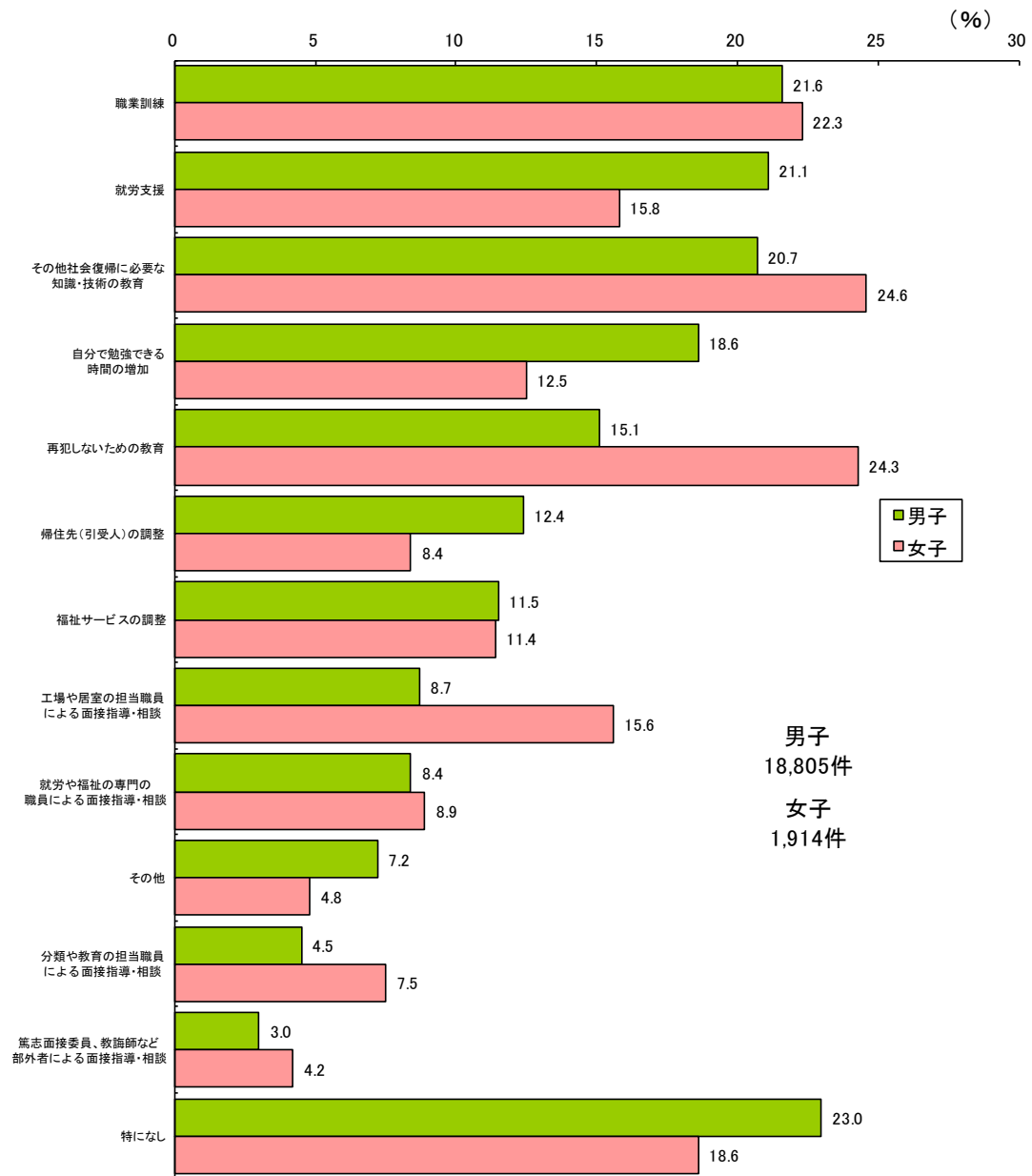


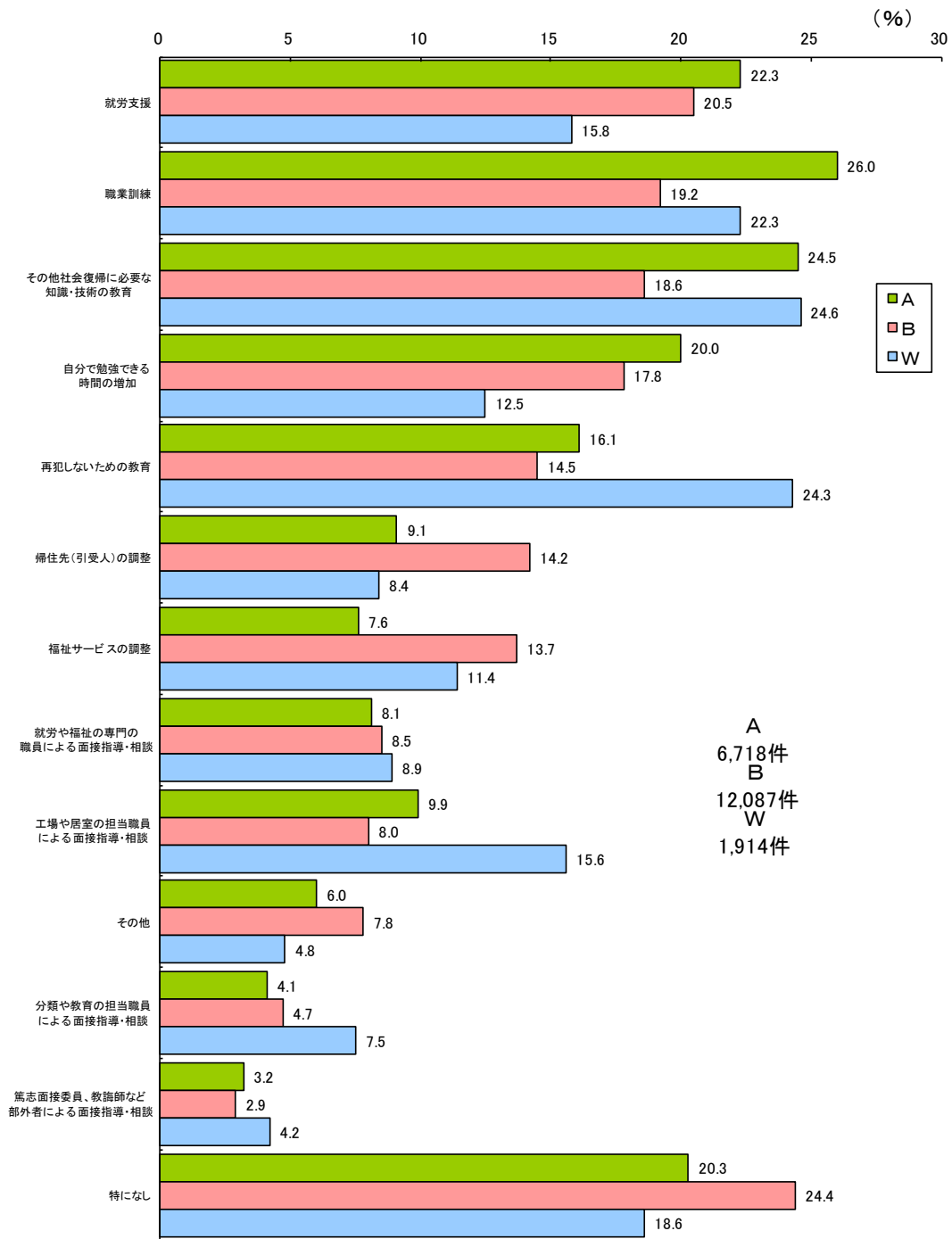
出所後の生活で不安に感じることは、男子は「お金に関すること」女子は「仕事に関すること」が最も多い。女子は次いで「家族との関係に関すること」である。

19. 刑務所でしてほしいこと

出所後の生活のために刑務所でしてほしいことは何ですか。【2つ選択】







出所後の生活のために刑務所ですてほしいことは、「職業訓練」「その他社会復帰に必要な知識・技術の教育」「就業支援」が上位である。